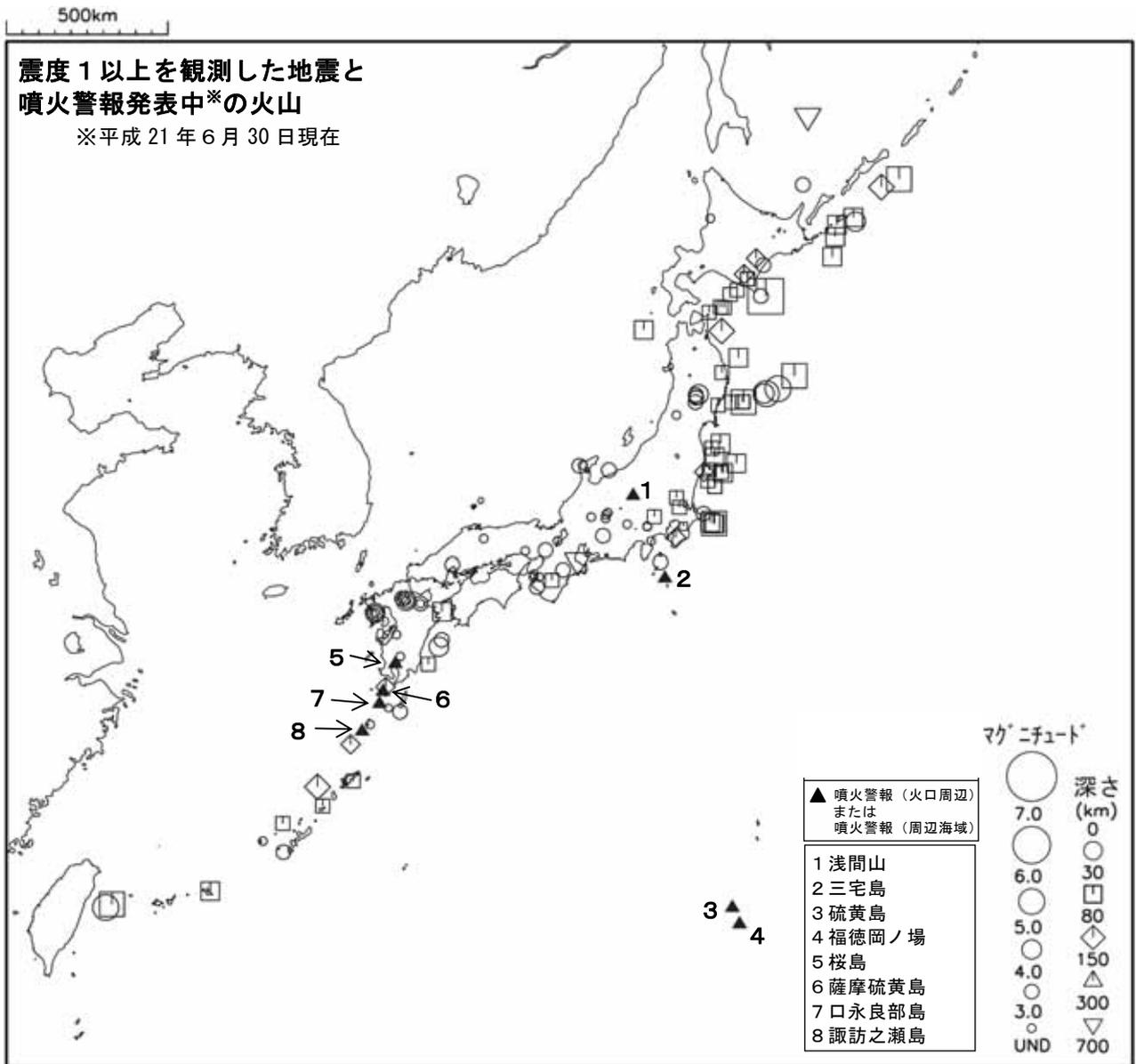


平成 21 年 6 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

June 2009



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県、1 政令指定都市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県、1 政令指定都市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県、1 政令指定都市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）（以上 4 県、1 政令指定都市は平成 14 年 3 月 20 日から発表）北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県、4 政令指定都市と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注**平成 21 年 6 月末現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、東北大学の臨時観測点（夏油、岩入、鶯沢、石淵ダム）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード Depth：深さ（km）
 UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。
 N=XX：図中表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。

・発震機構解の図中の語句について

NP1：節面 1 NP2：節面 2
 STR：走向（°：北から時計周り） DIP：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）
 SLIP：すべり角（°：断層の走向から断層面に沿って反時計周り）
 P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）
 N：N 軸（中立軸）
 AZM：方位角（°：北から時計周り） PLG：傾斜角（°：水平 0°、垂直 90°）
 Mw：モーメントマグニチュード Mo：地震モーメント（単位：Nm[ニュートン・メートル]）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震のCMT解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いる。情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合は「異なる震央地名〔情報発表時に使用した震央地名〕」と併記する。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）」で用いる震央地名を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「地震年報（CD-ROM）」に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）（CD-ROM）」「火山報告（CD-ROM）」に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』、『数値地図 25000（地図画像）』、『数値地図 50000（地図画像）』、『数値地図 10m メッシュ（火山標高）』、『数値地図 50m メッシュ（標高）』、『数値地図 250m メッシュ（標高）』を使用したものである（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT(Generic Mapping Tool[Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目 次

●日本及びその周辺で発生した主な地震	1
●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	16
●日本の主な火山活動	24
●世界の主な地震	38
●世界の主な火山活動	39
●付表	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	40
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	56
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	57
4. 緊急地震速報の提供状況	58

日本及びその周辺で発生した主な地震

平成 21 年（2009 年）6 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 129 回（5 月は 111 回）日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 91 回（5 月は 53 回）であった。

6 月中に発生した主な地震を表 1 に示す。震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（5 月もなし）。

表 1 平成 21 年 6 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名 (注 3)	M	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等 (注 5)	掲載 ページ
1	6 5 12 30	十勝沖	6.4	M・S・	4：北海道 えりも町えりも岬* など 1 道 5 地点	5
2	6 6 14 52	千葉県東方沖	5.9	・ ・ ・ ・	3：千葉県 銚子市若宮町* など 2 県 20 地点	10
3	6 23 16 37	宮城県沖	5.6	・ ・ S ・	4：宮城県 気仙沼市赤岩 など 2 県 3 地点	8
4	6 25 23 03	大分県西部	4.7	・ H S ・	4：大分県 中津市三光* など 2 県 5 地点 被害：民家の石垣が崩落し、家屋 1 棟が一部破損。	13
5	6 28 09 35	長崎県南西部 〔長崎県北部〕	4.0	・ ・ ・ ・	3：長崎県 東彼杵町蔵本* など 2 県 6 地点	14

注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

注 3) 注 3 () は地震情報で用いた震央地名である。

注 4) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

注 5) 最大震度の観測点名にある * 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。

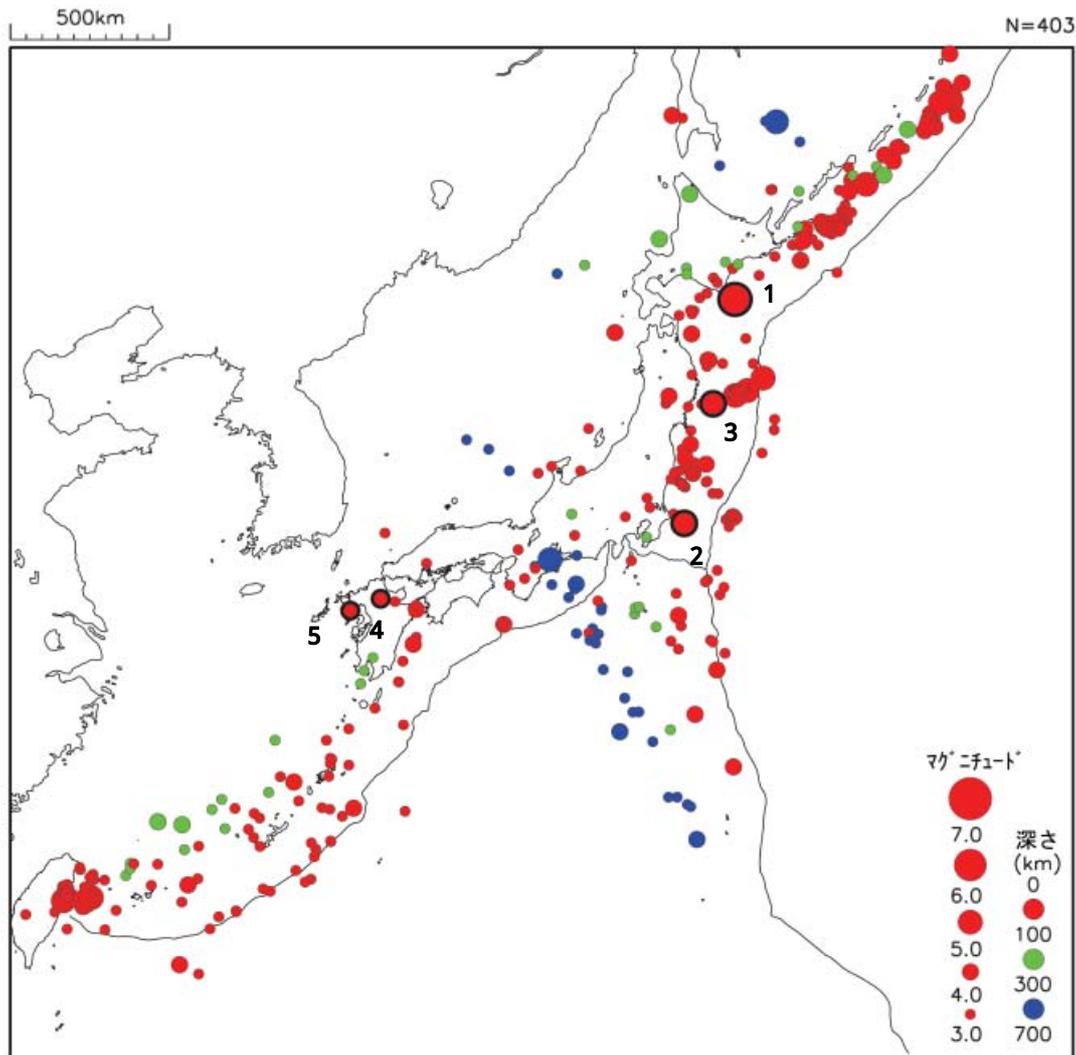
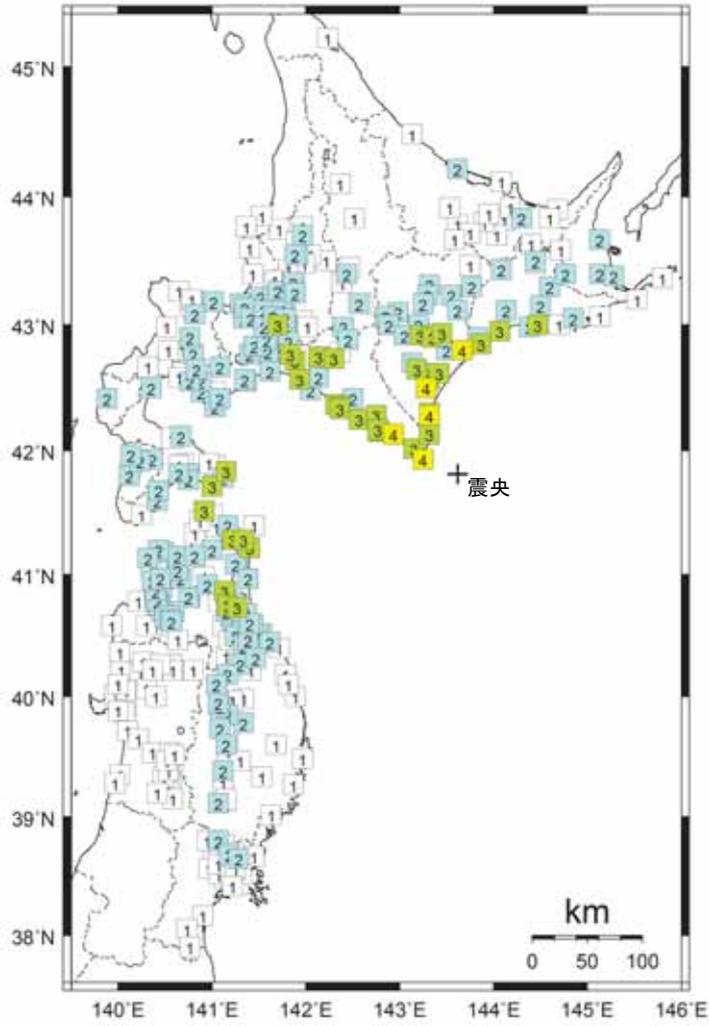


図 1 平成 21 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図（図中の数字は表 1 の番号に対応）

図 2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1，図 1 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

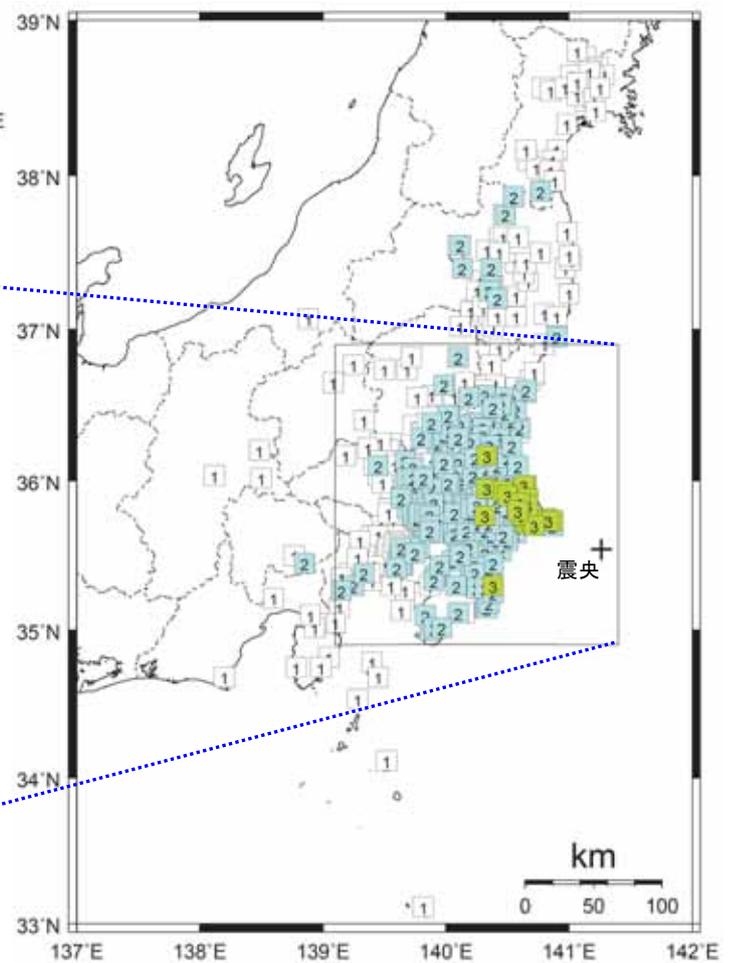
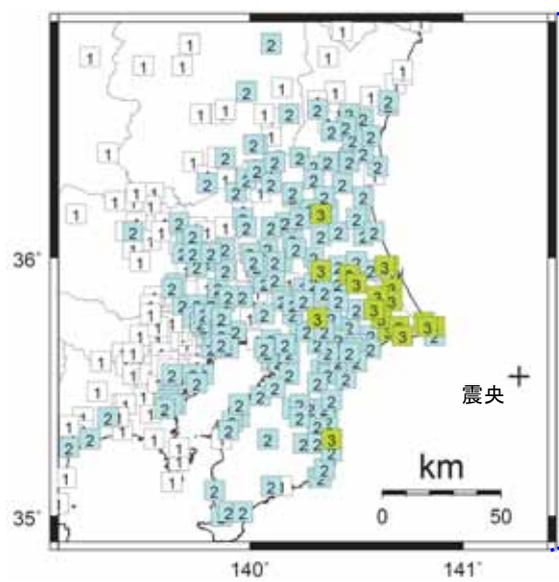
1

6 月 5 日 12 時 30 分 十勝沖
(M6.4, 深さ 31km, 最大震度 4)

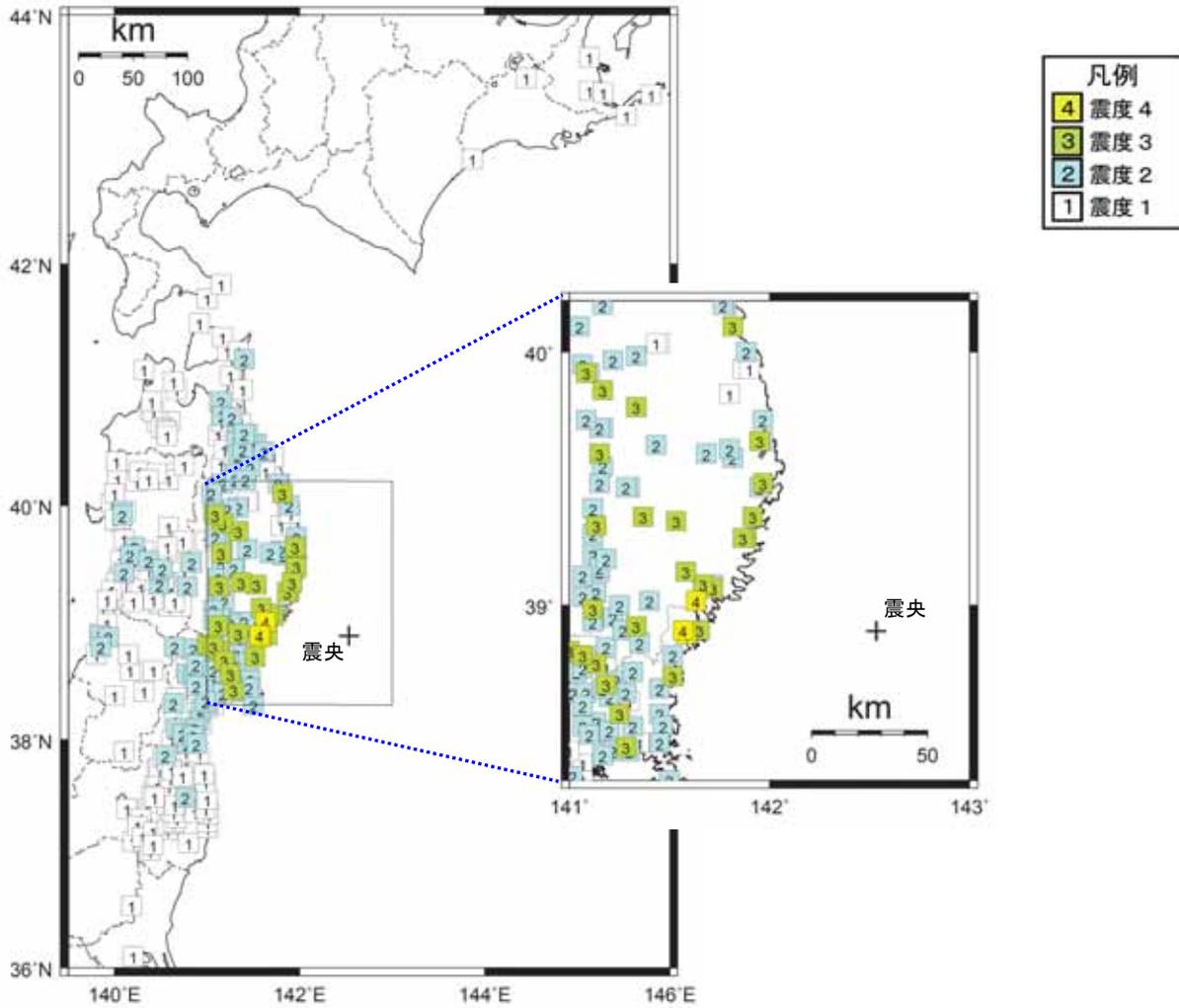


2

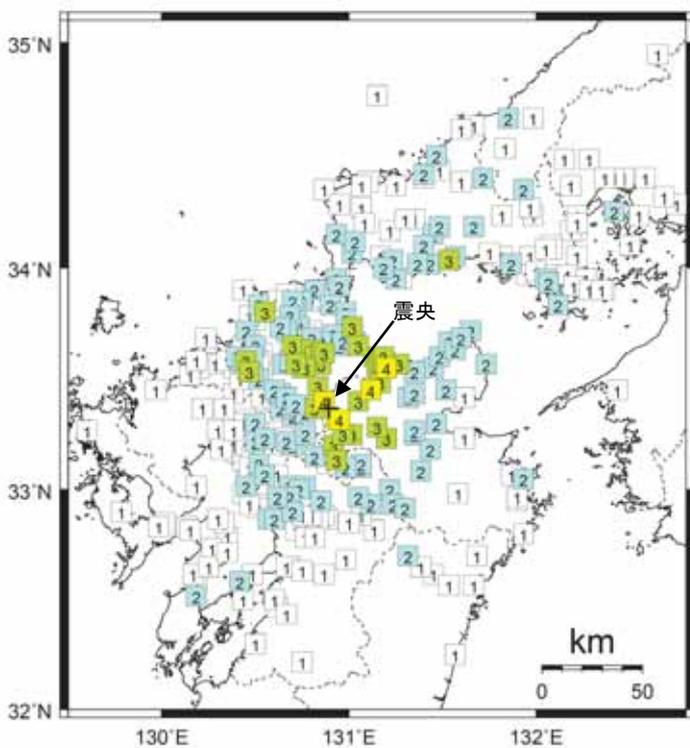
6 月 6 日 14 時 52 分 千葉県東方沖
(M5.9, 深さ 42km, 最大震度 3)



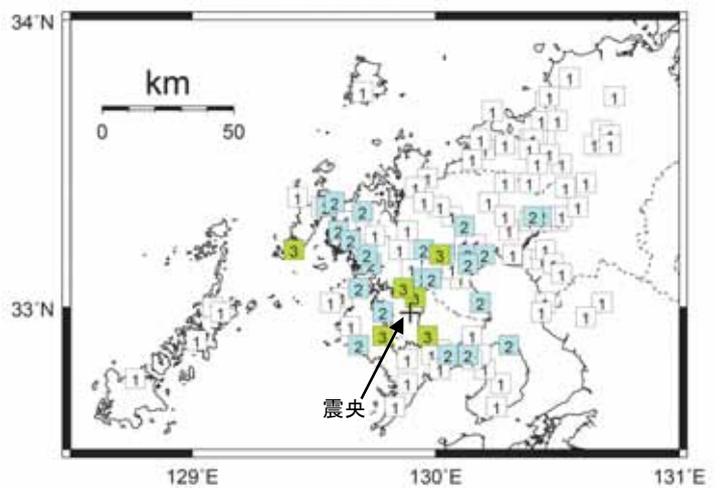
3 6月23日16時37分 宮城県沖
(M5.6, 深さ39km, 最大震度4)



4 6月25日23時03分 大分県西部
(M4.7, 深さ12km, 最大震度4)



5 6月28日09時35分 長崎県南西部
〔長崎県北部〕
(M4.0, 深さ12km, 最大震度3)



○北海道地方の地震活動

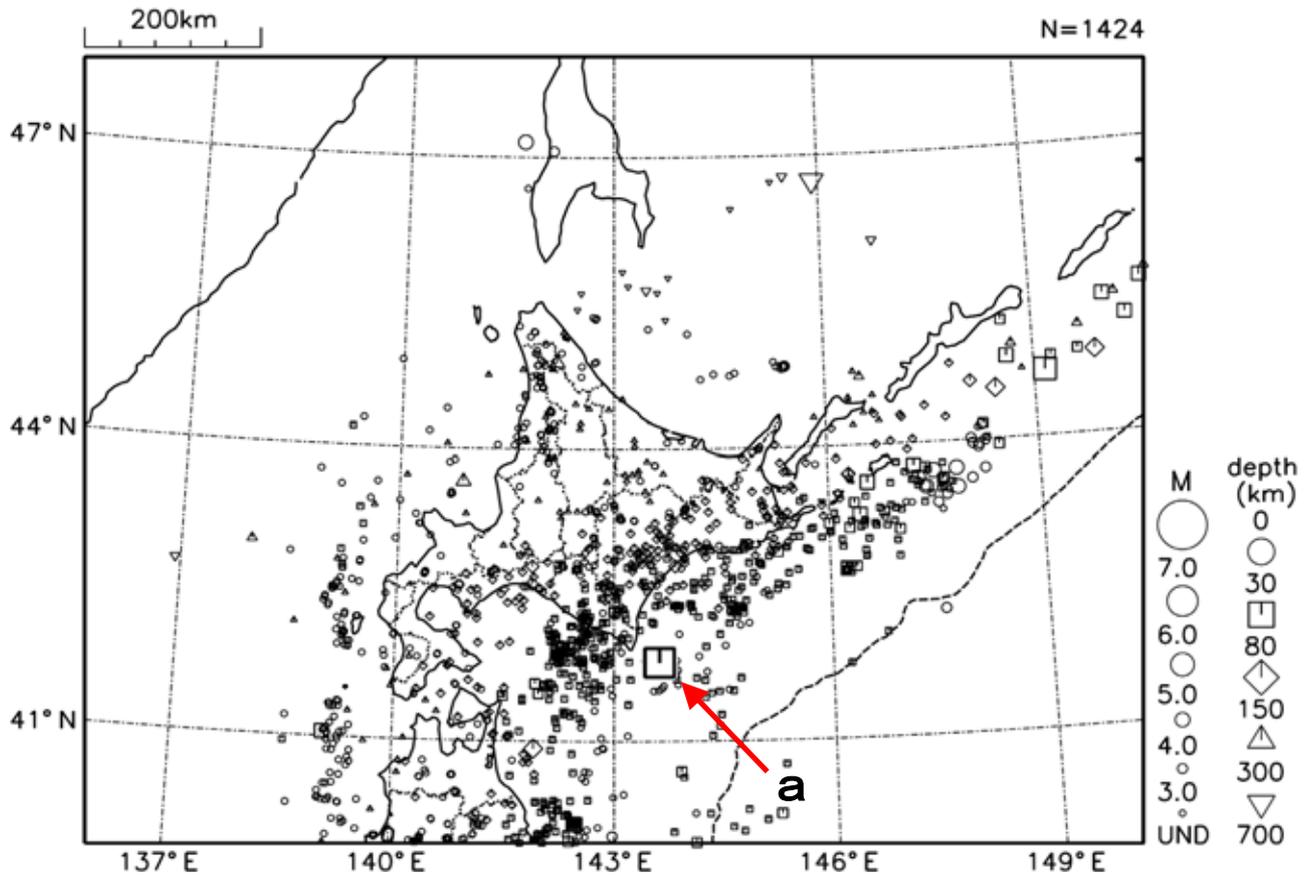


図3 北海道地方の震央分布図（2009年6月1日～6月30日）

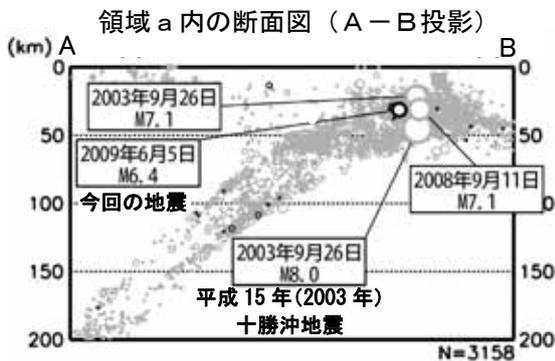
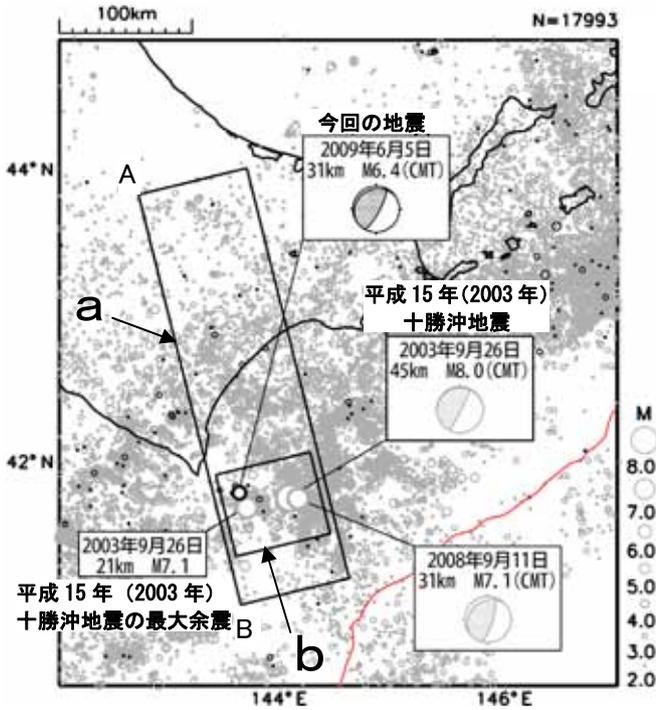
[概況]

6月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は24回（5月は18回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

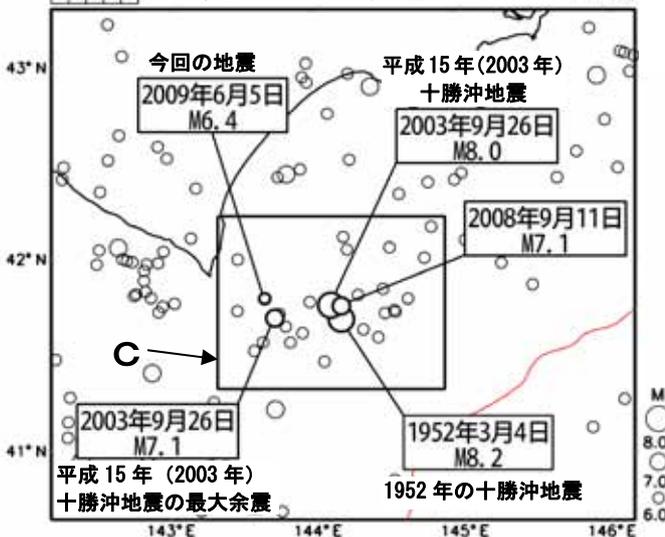
5日12時30分に十勝沖の深さ31kmでM6.4の地震（図3中のa）が発生し、北海道の様似町、えりも町、浦幌町、大樹町、広尾町で震度4を観測したほか、北海道から宮城県にかけて震度3～1を観測した（p. 5参照）。

6 月 5 日 十勝沖の地震

震央分布図(2001 年 10 月 1 日~2009 年 6 月 30 日、
深さ 0~200km、 $M \geq 2.0$)
2009 年 6 月以降の地震を濃く表示



震央分布図(1923 年 8 月 1 日~2009 年 6 月 30 日、
深さ 0~200km、 $M \geq 6.0$)

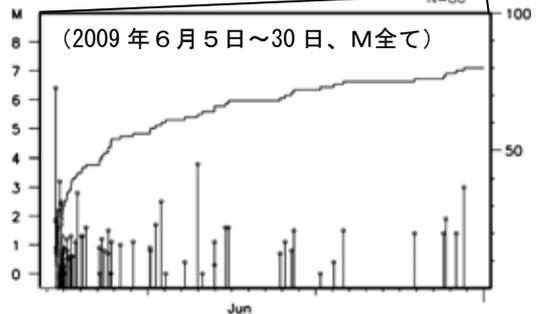
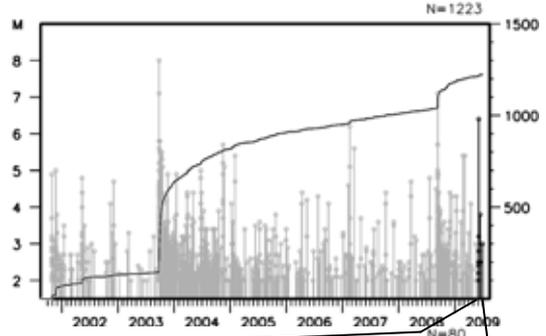


2009 年 6 月 5 日 12 時 30 分に十勝沖の深さ 31km で $M 6.4$ の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT 解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震活動は順調に減衰した。震度 1 以上を観測した余震は 1 回であった。

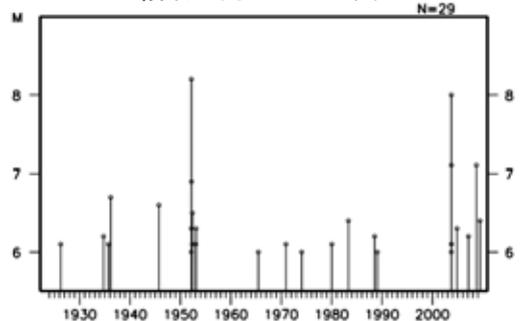
今回の地震の震源付近では、「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」の最大余震 ($M 7.1$) が発生している。

今回の地震の震央付近 (領域 c) は、海溝型の巨大地震が繰り返し発生している場所で、1923 年 8 月以降では 1952 年の十勝沖地震 ($M 8.2$ 、最大震度 5) により、死者 28 名、行方不明者 5 名、負傷者 287 名の被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。また、「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」 ($M 8.0$ 、最大震度 6 弱) では死者 1 名、行方不明者 1 名、負傷者 849 名の被害が生じた (総務省消防庁による)。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



領域 c 内の M-T 図



○東北地方の地震活動

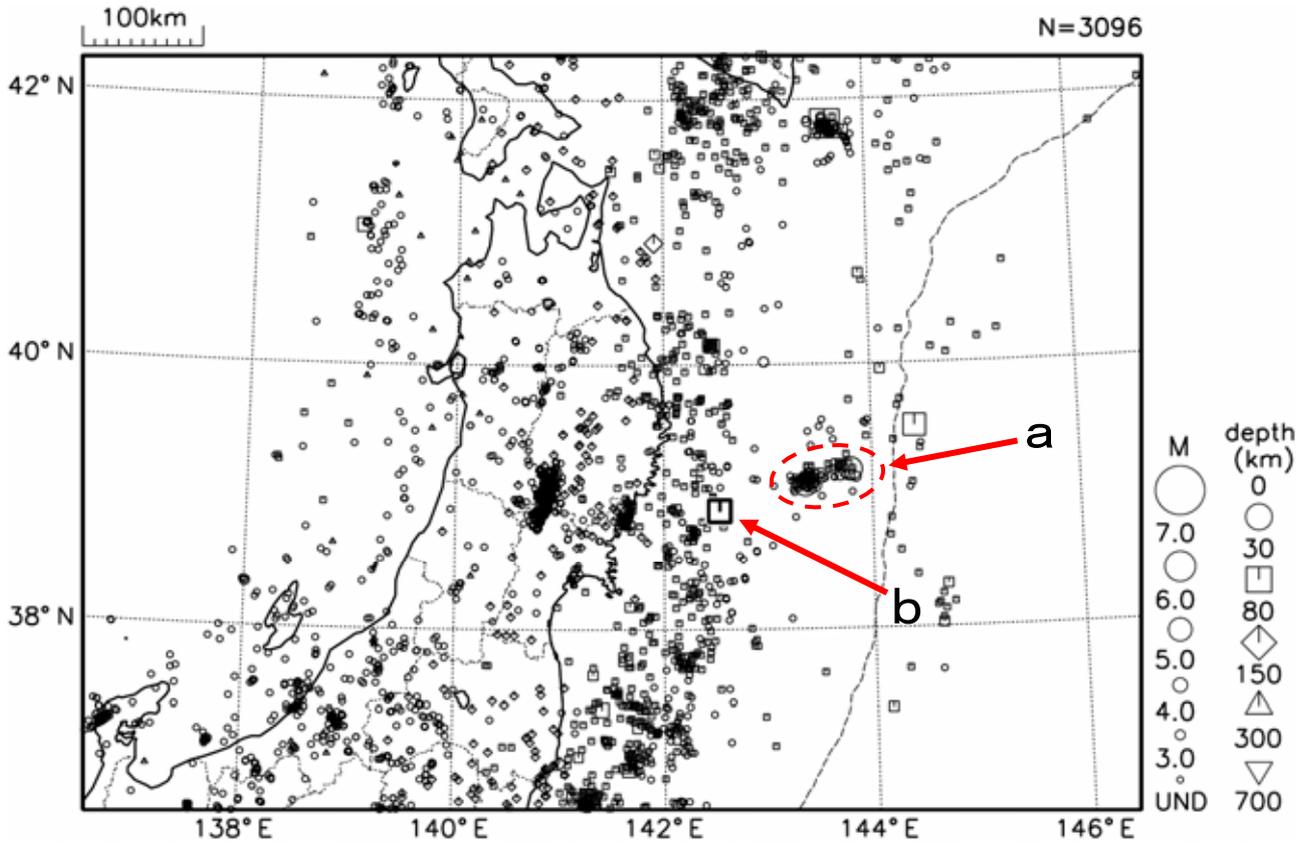


図4 東北地方の震央分布図（2009年6月1日～6月30日）

【概況】

6月に東北地方で震度1以上を観測した地震は37回（5月は25回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

三陸沖（図4中のa）では、19日ころからM4.0を超える地震が発生するようになり、20日11時52分にM5.4、23日16時24分にM5.2の地震（いずれも最大震度2）が発生するなど、まとまった活動となった（p. 7参照）。

23日16時37分に宮城県沖の深さ39kmでM5.6の地震（図4中のb）が発生し、岩手県陸前高田市、宮城県気仙沼市で震度4を観測したほか、北海道から関東地方の一部にかけて震度3～1を観測した（p. 8参照）。

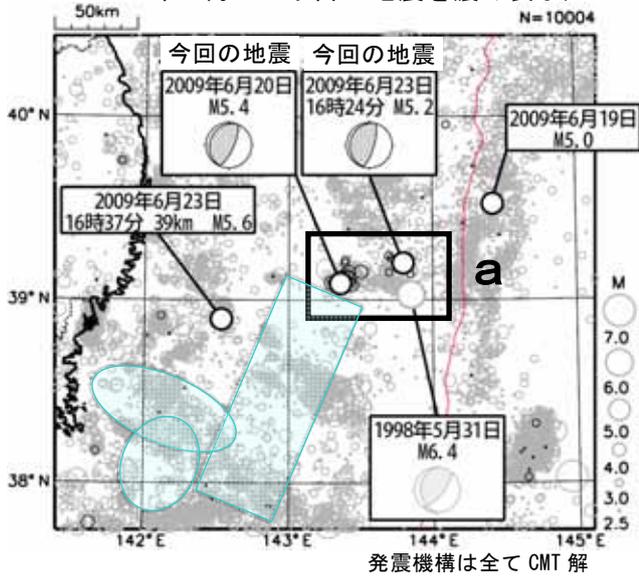
三陸沖の地震活動

三陸沖（領域 a）では、2009 年 6 月 19 日ころから M4.0 を超える地震が発生するようになり、20 日 11 時 52 分に M5.4 の地震（最大震度 2）、23 日 16 時 24 分に M5.2 の地震（最大震度 2）が発生するなど、まとまった地震活動となった。これらの地震の発震機構（CMT 解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

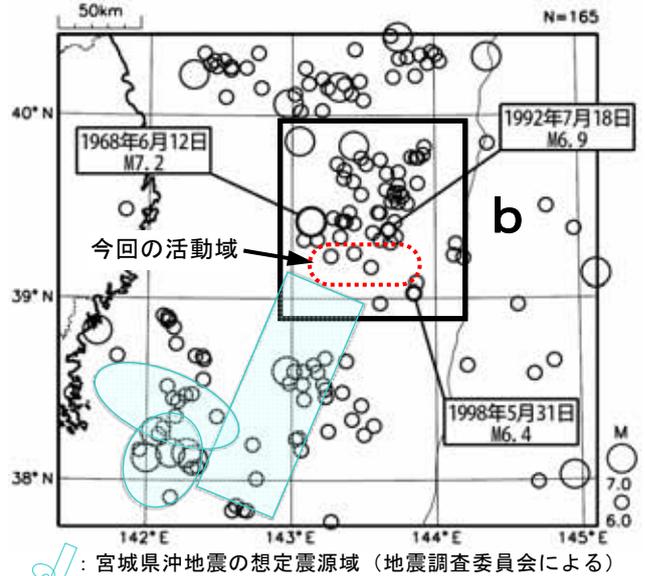
1997 年 10 月以降の活動を見ると、領域 a では 2～3 年おきに M5.0 程度の地震が発生している。また、1998 年 5 月 31 日には M6.4 の地震（最大震度 2）が発生している。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の活動域周辺（領域 b）では、1968 年 6 月 12 日に M7.2 の地震が発生している。また、時折 M6.0 を超える地震が発生し、群発する傾向が見られる領域である。1992 年 7 月には、M6.0 を超える地震が 6 回（最大 M6.9）発生するなど、1 ヶ月程度の活発な活動があった。なお、1968 年の M7.2、1992 年の M6.9 の地震では、共に津波を観測している。

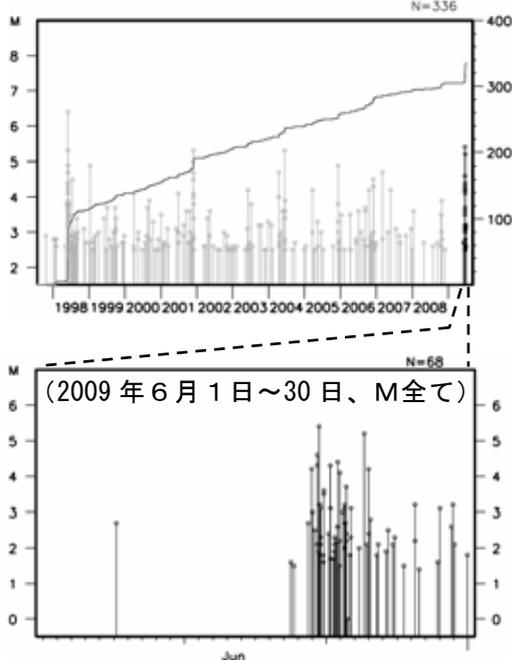
震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
深さ 0 km～100km、 $M \geq 2.5$ 、
2009 年 6 月 1 日以降の地震を濃く表示）



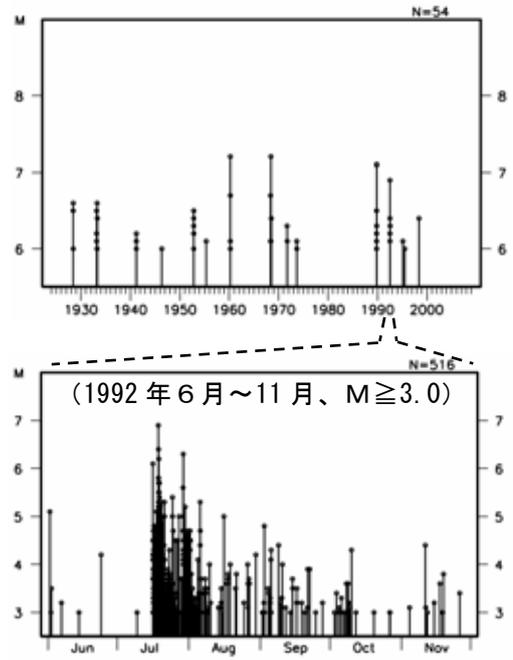
震央分布図
（1923 年 8 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
深さ 0 km～100km、 $M \geq 6.0$ ）



領域 a 内の M-T 図、回数積算図

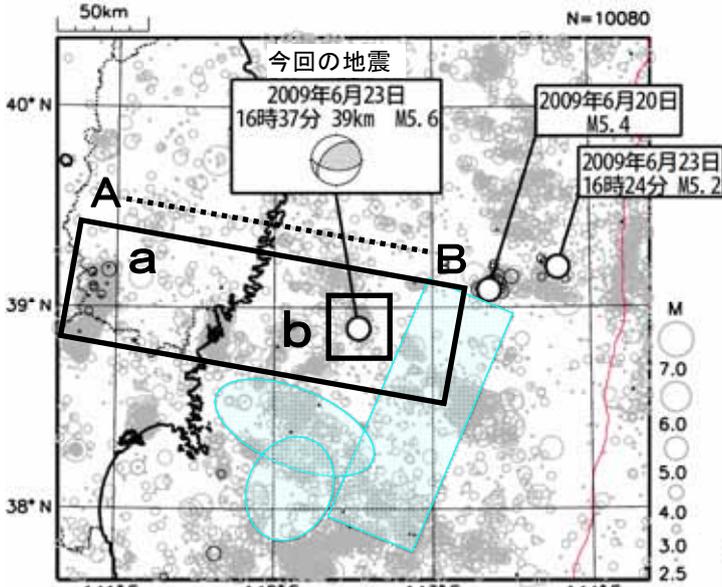


領域 b 内の M-T 図



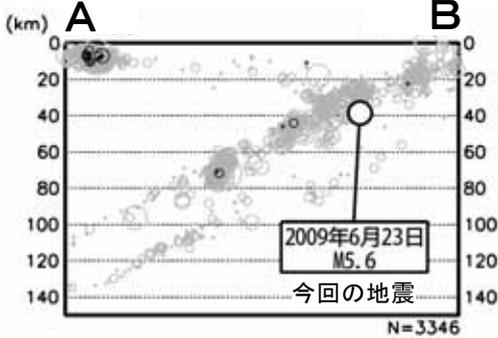
6 月 23 日 宮城県沖の地震

震央分布図
 (1997 年 10 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
 深さ 0 km～150 km、 $M \geq 2.5$ 、
 2009 年 6 月 1 日以降の地震を濃く表示)

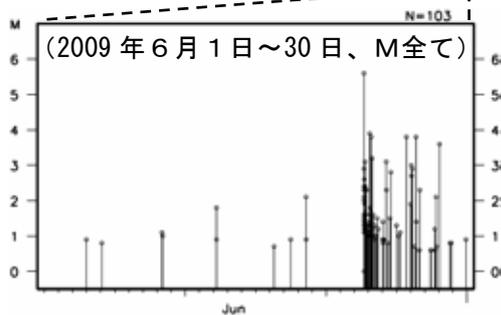
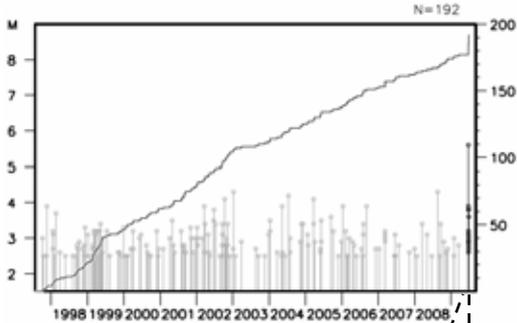


宮城県沖地震の想定震源域（地震調査委員会による）

領域 a 内の断面図（A－B 投影）



領域 b 内の M-T 図、回数積算図

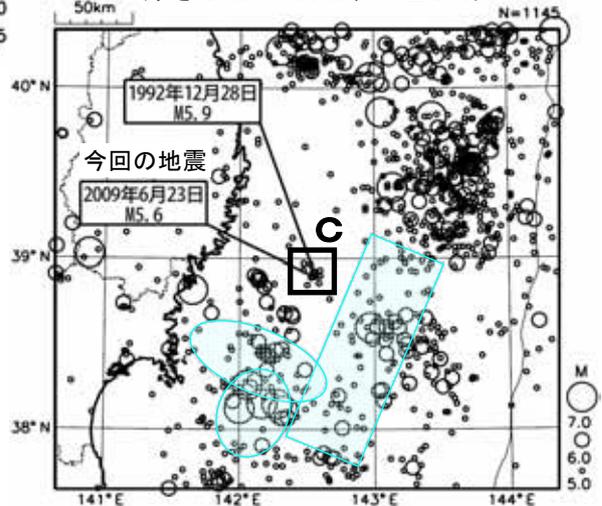


2009 年 6 月 23 日 16 時 37 分に宮城県沖の深さ 39 km で $M5.6$ の地震（最大震度 4）が発生した。この地震の発震機構は、北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込む太平洋プレートの内部で発生した地震と考えられる。

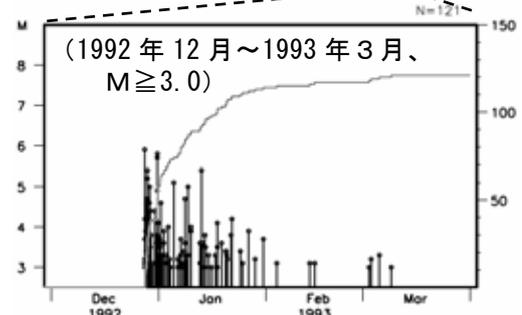
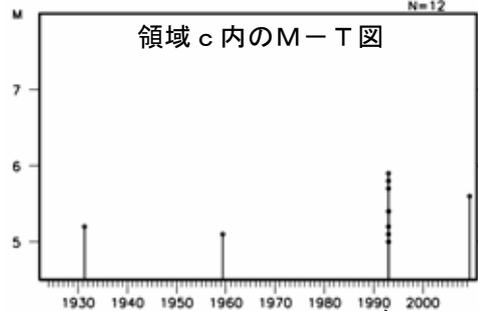
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域 b）では $M5.0$ を超える地震は発生していなかった。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 c）では、1992 年 12 月 28 日に $M5.9$ の地震（最大震度 4）が発生している。この際、1 ヶ月程度の余震活動が見られた。

震央分布図
 (1923 年 8 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
 深さ 0 km～100 km、 $M \geq 5.0$)



領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

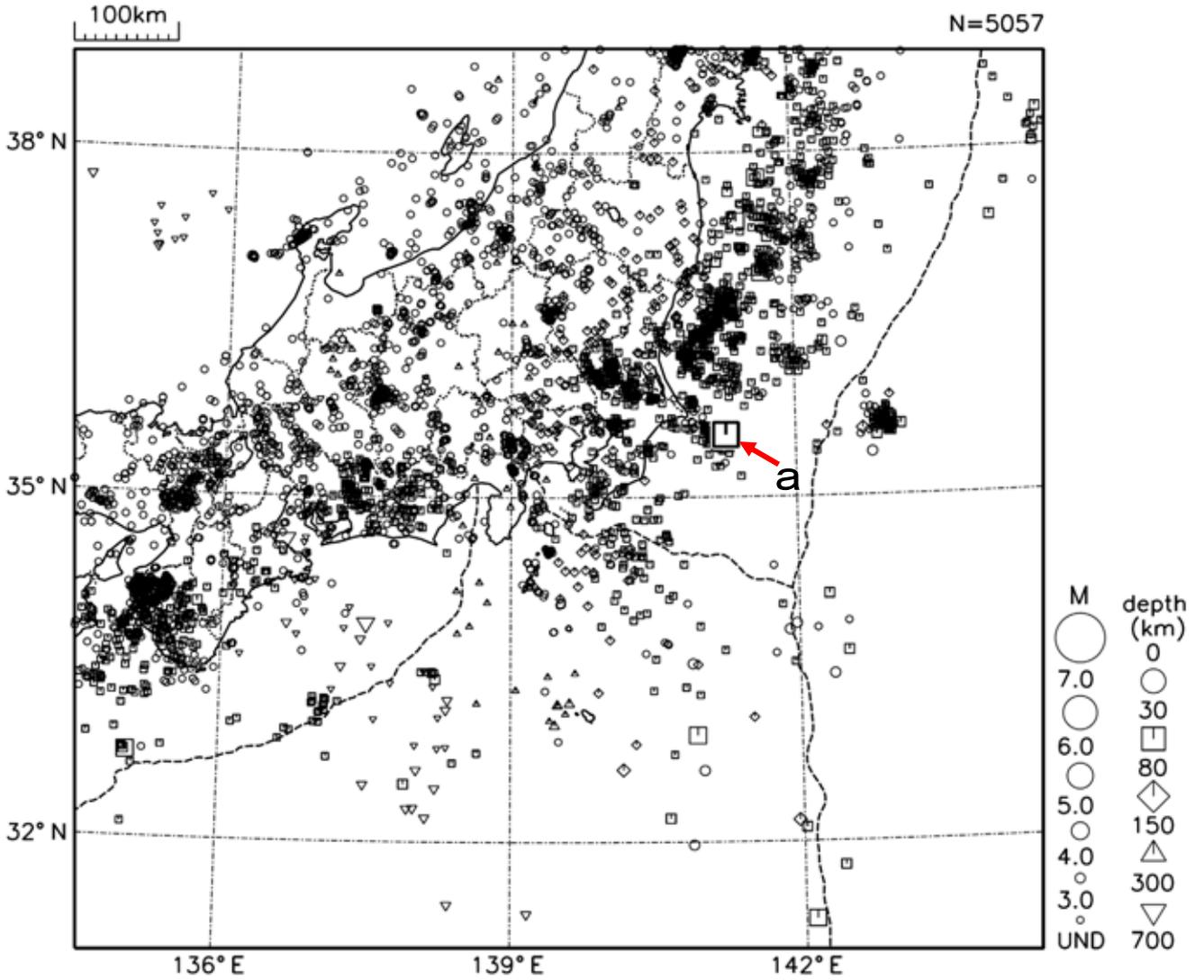


図5 関東・中部地方の震央分布図（2009年6月1日～6月30日）

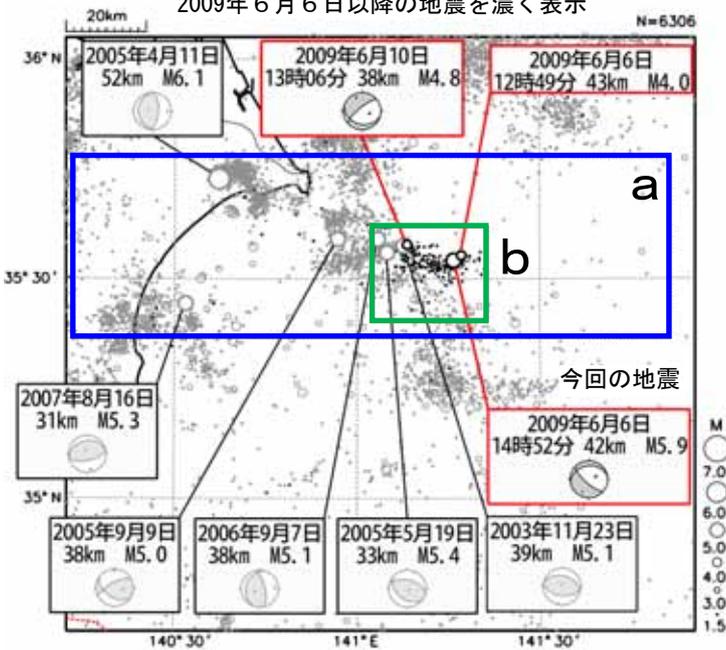
[概況]

6月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は33回（5月は47回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

6日14時52分に千葉県東方沖でM5.9の地震（図5中のa）が発生し、千葉県と茨城県で震度3を観測したほか、関東地方を中心に、宮城県から伊豆諸島にかけて、及び中部地方の一部で震度2～1を観測した（p.10参照）。

6月6日 千葉県東方沖の地震

震央分布図（2002年10月1日～2009年6月30日、
深さ0～90km、 $M \geq 1.5$ ）
2009年6月6日以降の地震を濃く表示

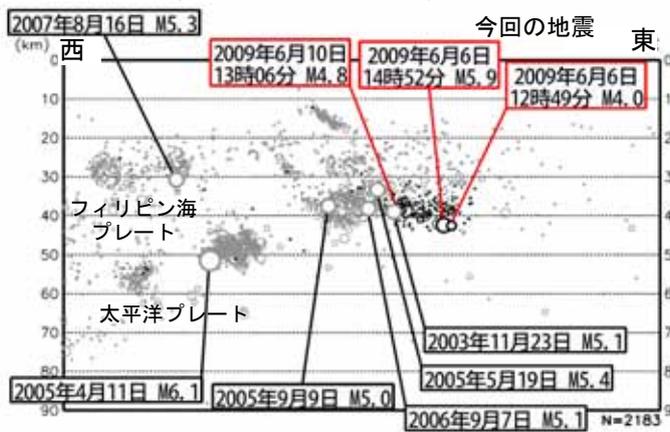


2009年6月6日14時52分に千葉県東方沖でM5.9の地震(最大震度3)が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生したと考えられる。発震機構は、北北東-南南西方向に張力軸をもつ型である。余震活動は6月末まででほぼ収まった(最大余震は、10日13時06分のM4.8の地震、最大震度2)。なお、この地震の約4時間前から3回の前震が観測された(最大は12時49分のM4.0、震度1以上の観測なし)。

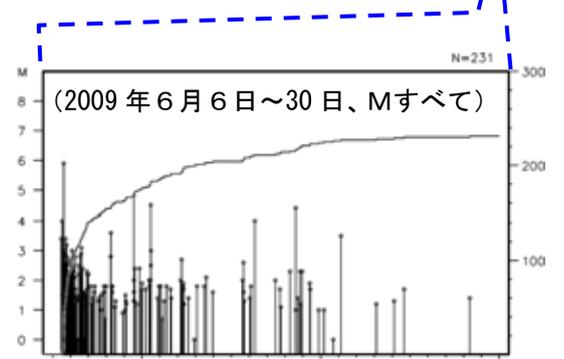
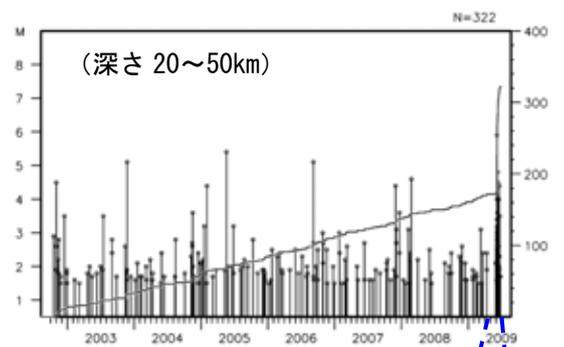
今回の地震は、銚子南東沖合の地震活動が活発な領域の東端付近(領域b)に位置しており、M5.0以上の地震が時々発生している。

1923年8月以降、今回の地震の震央付近(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生しているが、M7.0を超える地震は発生していない。

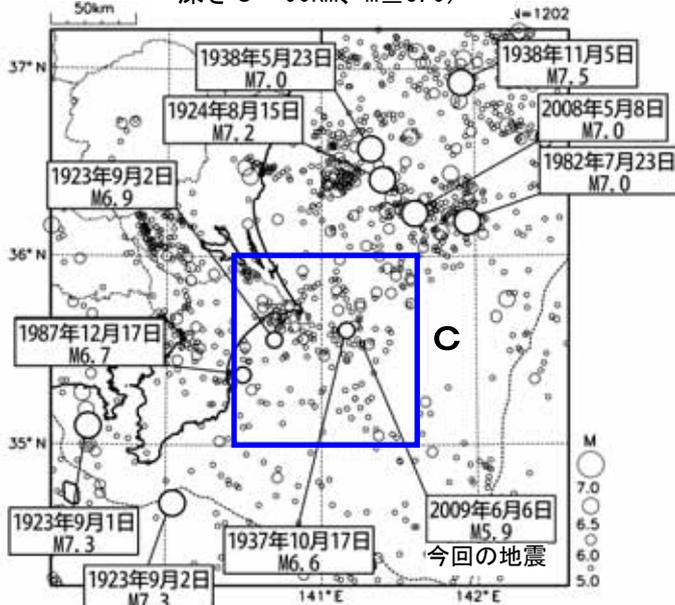
領域a内の断面図(東西方向)



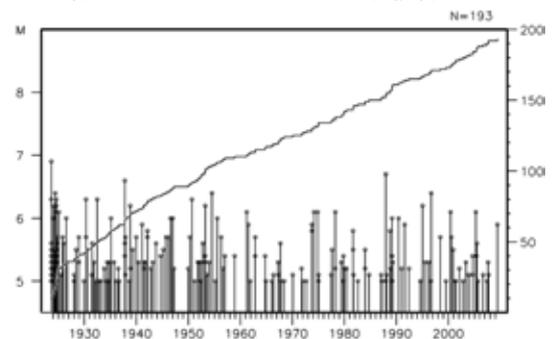
領域b内のM-T図、回数積算図



震央分布図 (1923年8月1日～2009年6月30日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図、回数積算図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

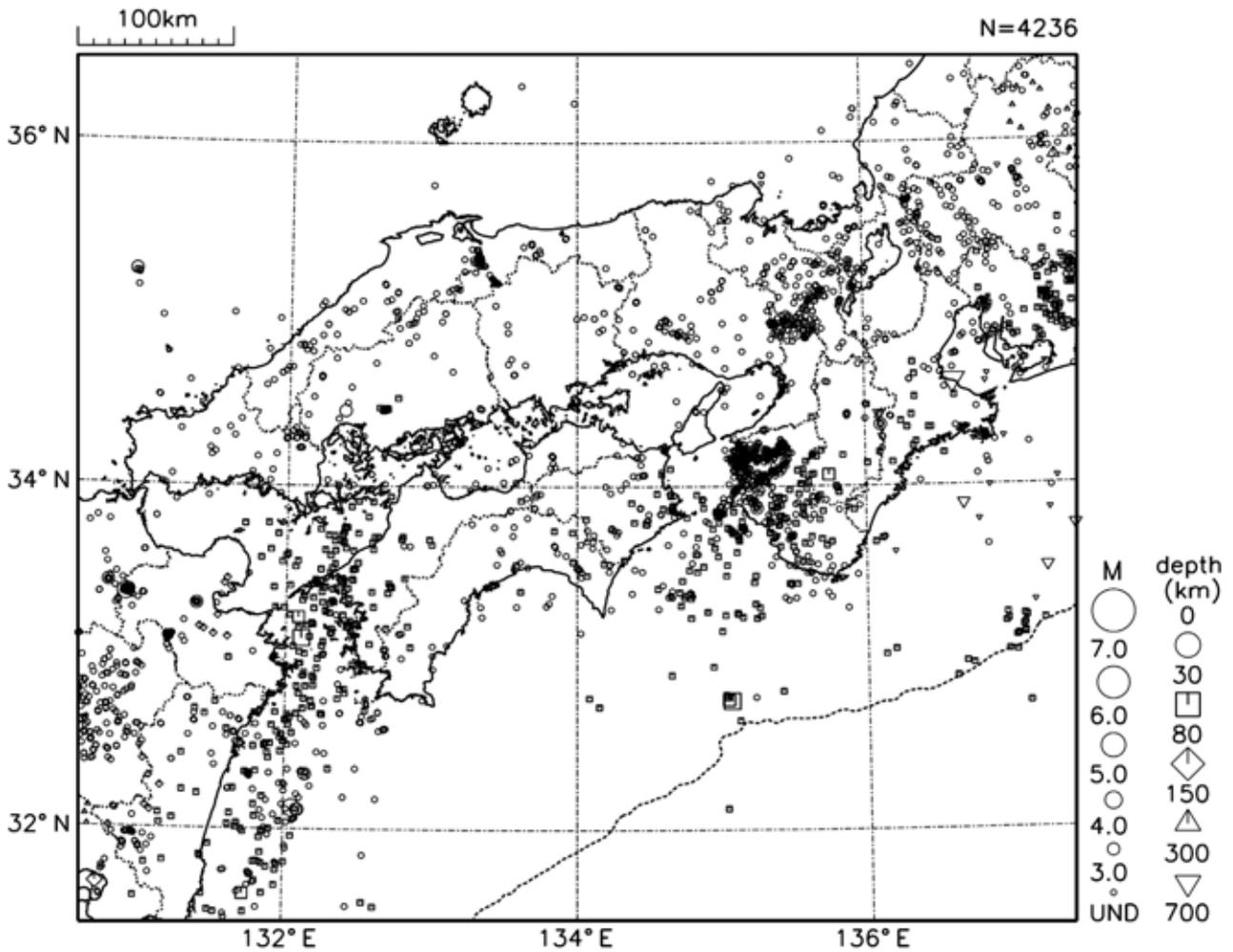


図 6 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2009年6月1日～6月30日）

[概況]

6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は14回（5月は12回）であった。6月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

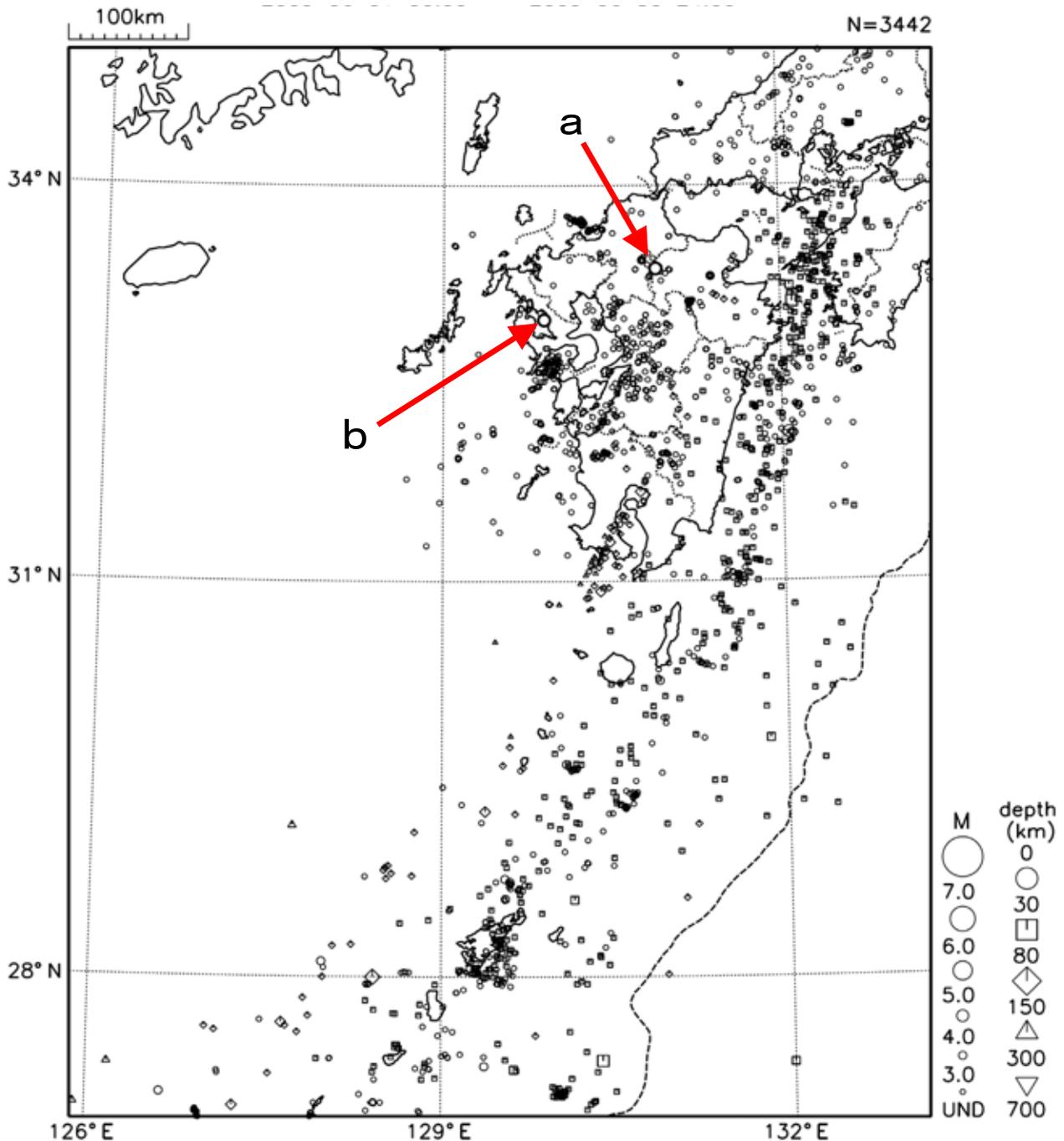


図7 九州地方の震央分布図（2009年6月1日～6月30日）

[概況]

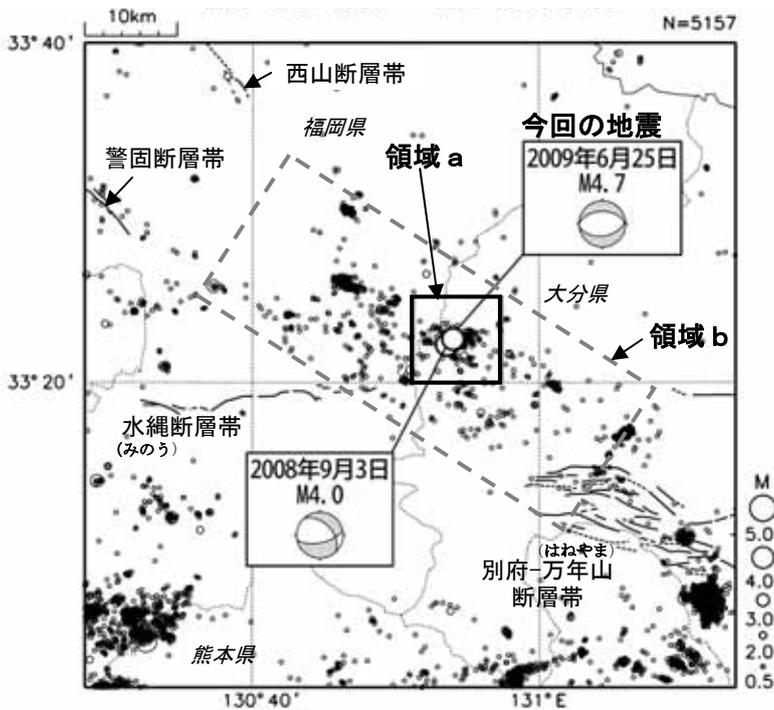
6月に九州地方で震度1以上を観測した地震は33回（5月は14回）であった。6月中のおもな活動は次のとおりである。

25日23時03分に大分県西部の深さ12kmでM4.7の地震（図7中のa）があり、福岡県の東峰村及び大分県の中津市、日田市で震度4を観測したほか、九州地方及び中国・四国地方の一部で震度3～1を観測した（p.13参照）。

28日09時35分に長崎県南西部〔長崎県北部〕の深さ12kmでM4.0の地震（図7中のb）があり、長崎県と佐賀県で震度3～1を、福岡県と熊本県で震度1を観測した（p.14参照）。

6 月 25 日 大分県西部の地震

震央分布図
(2000 年 10 月 1 日～2009 年 6 月 30 日
M \geq 0.5、深さ 0～20km)



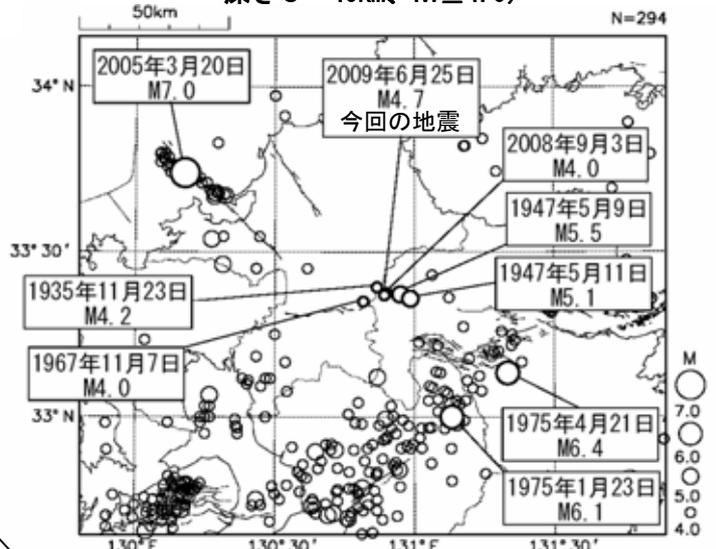
実線・点線は地震調査委員会による主要活断層帯の位置を示す。

2009 年 6 月 25 日 23 時 03 分に大分県西部の深さ 12km で M4.7 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構は、ほぼ南北方向に張力軸をもつ正断層型である。今回の地震の震源付近 (領域 a) では、6 月 7 日頃から小規模な地震活動が発生し、30 日現在、活動は継続している。今回の地震で家屋 1 棟が一部破損するなどの被害が発生している (総務省消防庁による)。最近では、2008 年 9 月上旬に小規模な地震活動があり、9 月 3 日には M4.0 (最大震度 3) の地震が発生している。

今回の地震の震源付近 (領域 b) は、北西から南東方向に小規模な地震活動が点在している場所である。

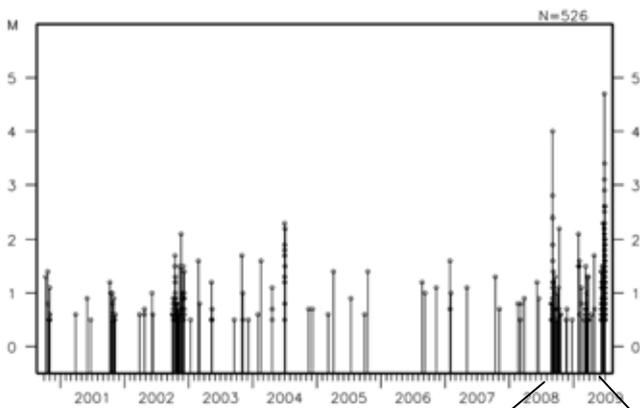
1923 年 8 月以降、今回の地震の震源付近では、1947 年 5 月 9 日に M5.5、11 日に M5.1 の地震が発生し、M5.5 の地震では壁の亀裂・剥落、崖崩れなどの被害を伴った (「最新版日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
(1923 年 8 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
深さ 0～40km、M \geq 4.0)

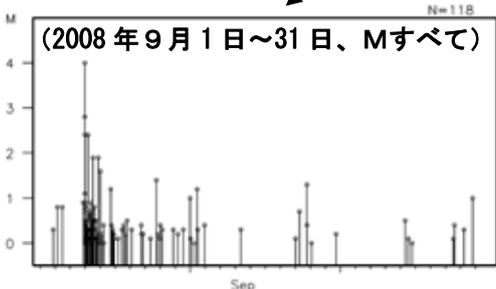


実線・点線は地震調査委員会による主要活断層帯の位置を示す。

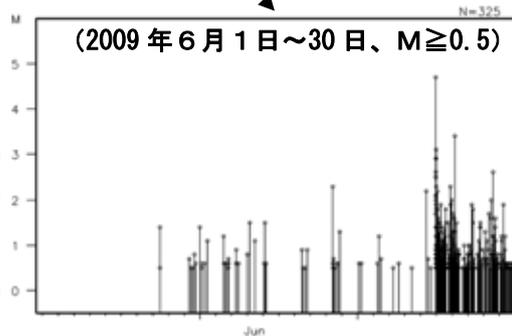
領域 a 内の M-T 図



(2008 年 9 月 1 日～31 日、M すべて)

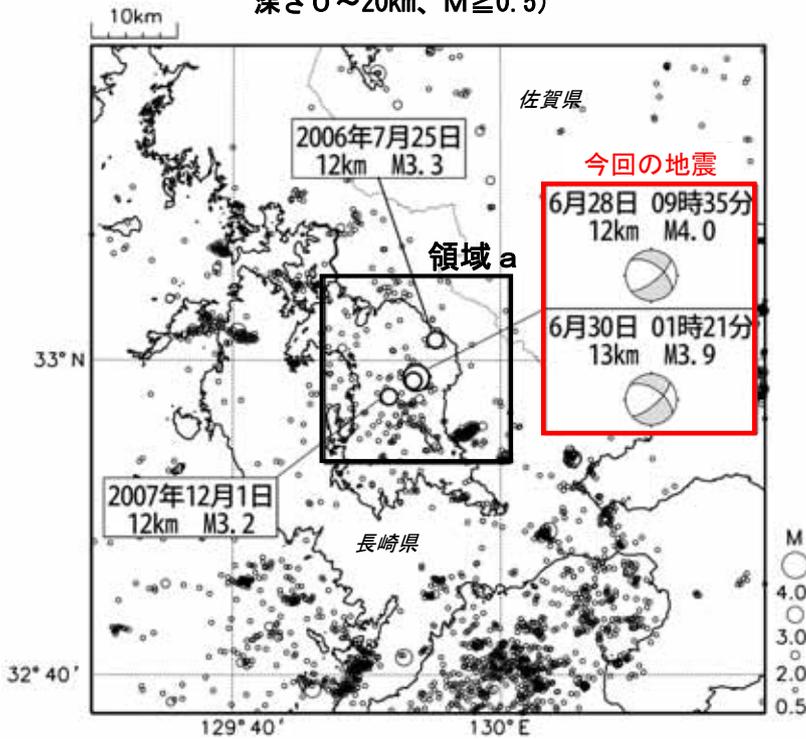


(2009 年 6 月 1 日～30 日、M \geq 0.5)



6 月 28 日 長崎県南西部〔長崎県北部〕の地震

震央分布図
(2000 年 10 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
深さ 0～20km、 $M \geq 0.5$)



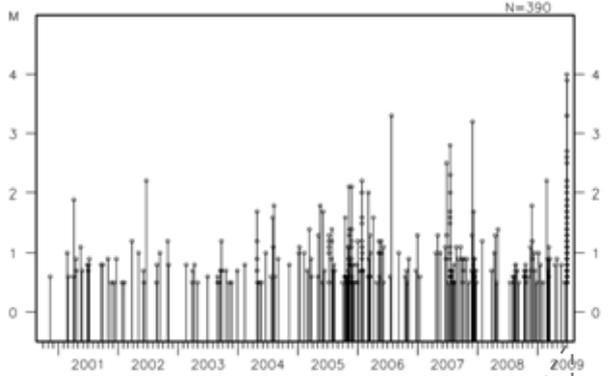
[] 内は気象庁が情報発表に用いた震央地名

2009 年 6 月 28 日 09 時 35 分に長崎県南西部の深さ 12km で M4.0 の地震（最大震度 3）が発生した。発震機構は、南北方向に張力軸を持つ型である。また、6 月 30 日 01 時 21 分にもほぼ同じ場所でも M3.9 の地震（最大震度 3）が発生した。

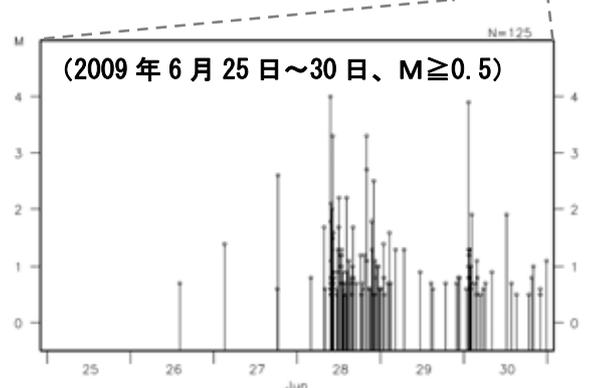
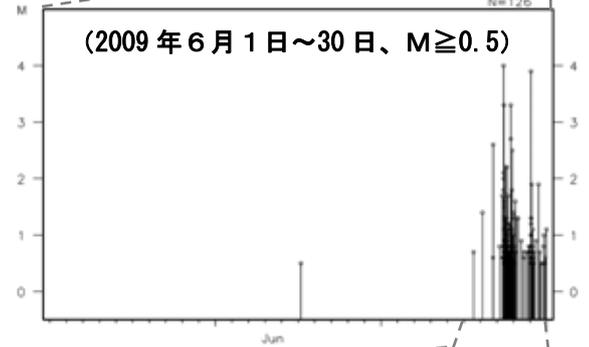
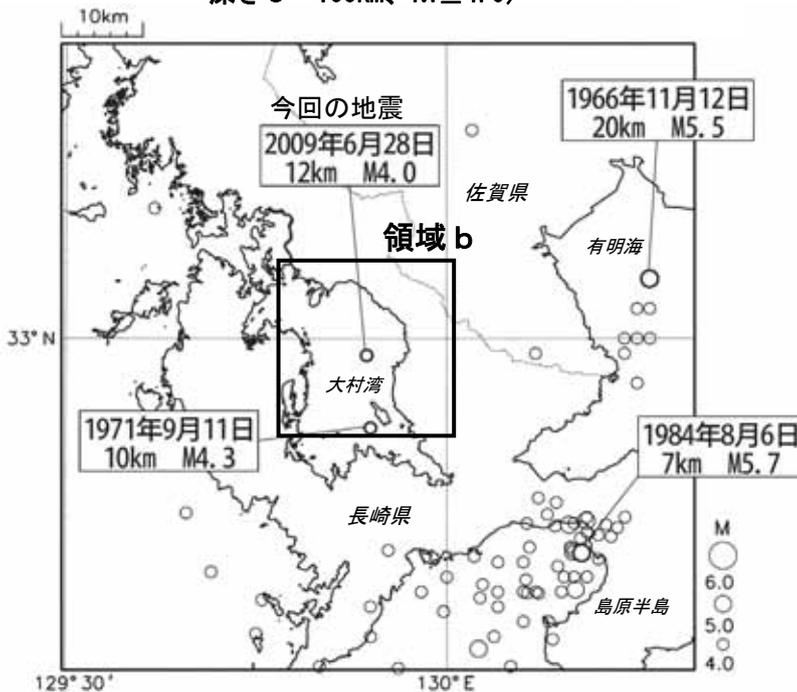
2000 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）で M4.0 以上の地震が発生したのは、今回が初めてである。

1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 b）で M4.0 以上の地震が発生したのは、1971 年 9 月 11 日の M4.3 の地震以来である。

領域 a 内の M-T 図



震央分布図
(1923 年 8 月 1 日～2009 年 6 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 4.0$)



○沖縄地方の地震活動

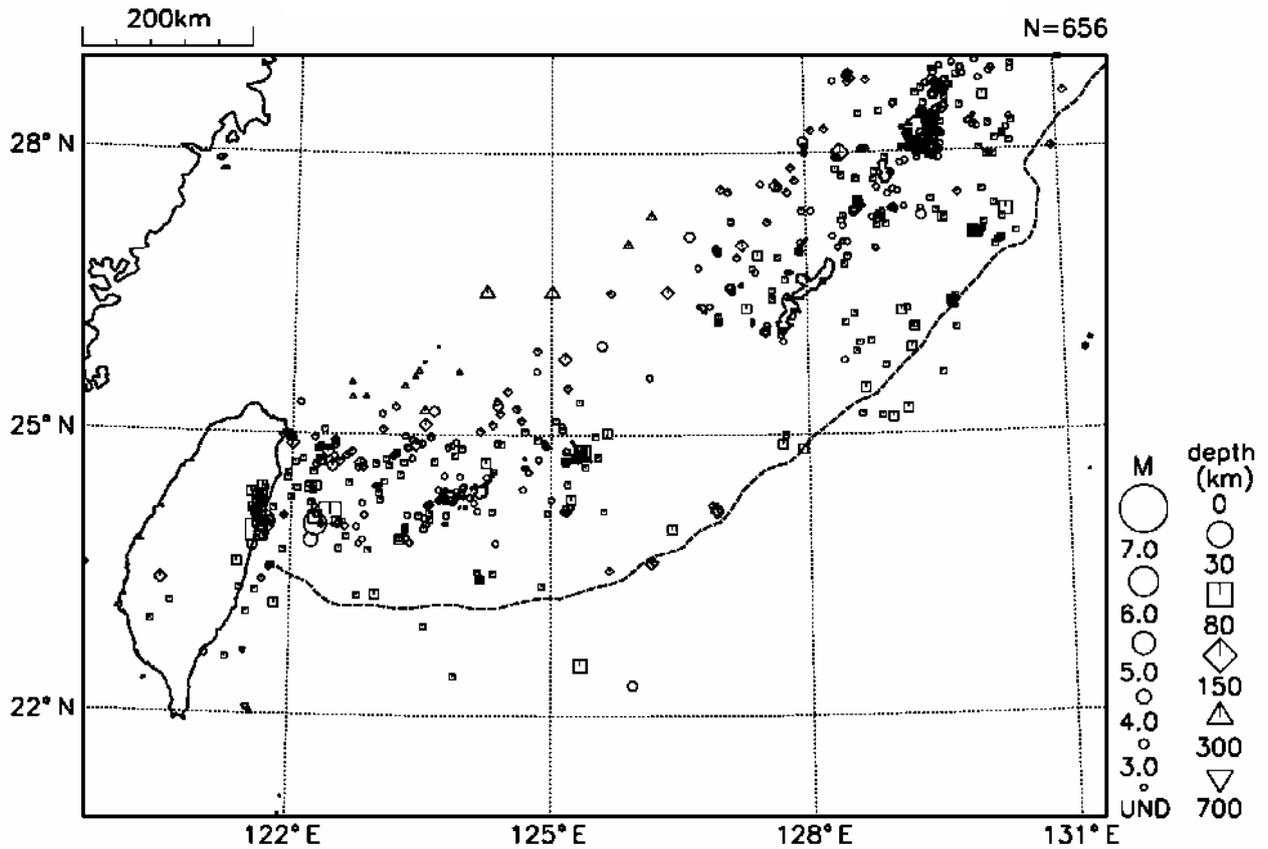


図 8 沖縄地方の震央分布図（2009 年 6 月 1 日～ 6 月 30 日）

[概況]

6 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 6 回（5 月は 4 回）であった。
6 月中、特に目立った活動はなかった。

●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

[概況]

特に目立った地震活動はなかった。

[地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会検討結果]

6月29日に気象庁において第277回地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会（定例会）を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次のコメントを発表した（図2～図8）。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくような変化は観測されていません。

1. 地震活動の状況

全般的には顕著な地震活動はありません。

静岡県中西部のフィリピン海プレート内ではマグニチュード3.5以上の地震の発生頻度が引き続き少ない状態が続いています。また、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内でも地震の発生頻度が引き続き少ない状態になっています。一方、静岡県中西部の地殻内では地震活動がやや活発な状態が続いています。その他の地域では概ね平常レベルです。

なお、5月4日から、奈良県で深部低周波地震が発生し、その後、活動域は北東方向へ移動し、愛知県から長野県南部にかけて発生し、6月4日まで継続しました。このような、奈良県から愛知県へ北東方向の移動をとまなう類似の活動は、2006年1月にも発生しています。

2. 地殻変動の状況

全般的には注目すべき特別な変化は観測されていません。

GPS観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向はこれまでと同様に継続しています。

なお、上記、深部低周波地震活動と同期して、プレート境界付近における「短期的ゆっくり滑り」に起因すると見られる地殻変動が5月18日頃から22日頃と5月26日頃から6月2日頃にかけて、周辺の歪計等で観測されました。「短期的ゆっくり滑り」に起因する地殻変動が観測されたのは、本年2月中旬以来です。

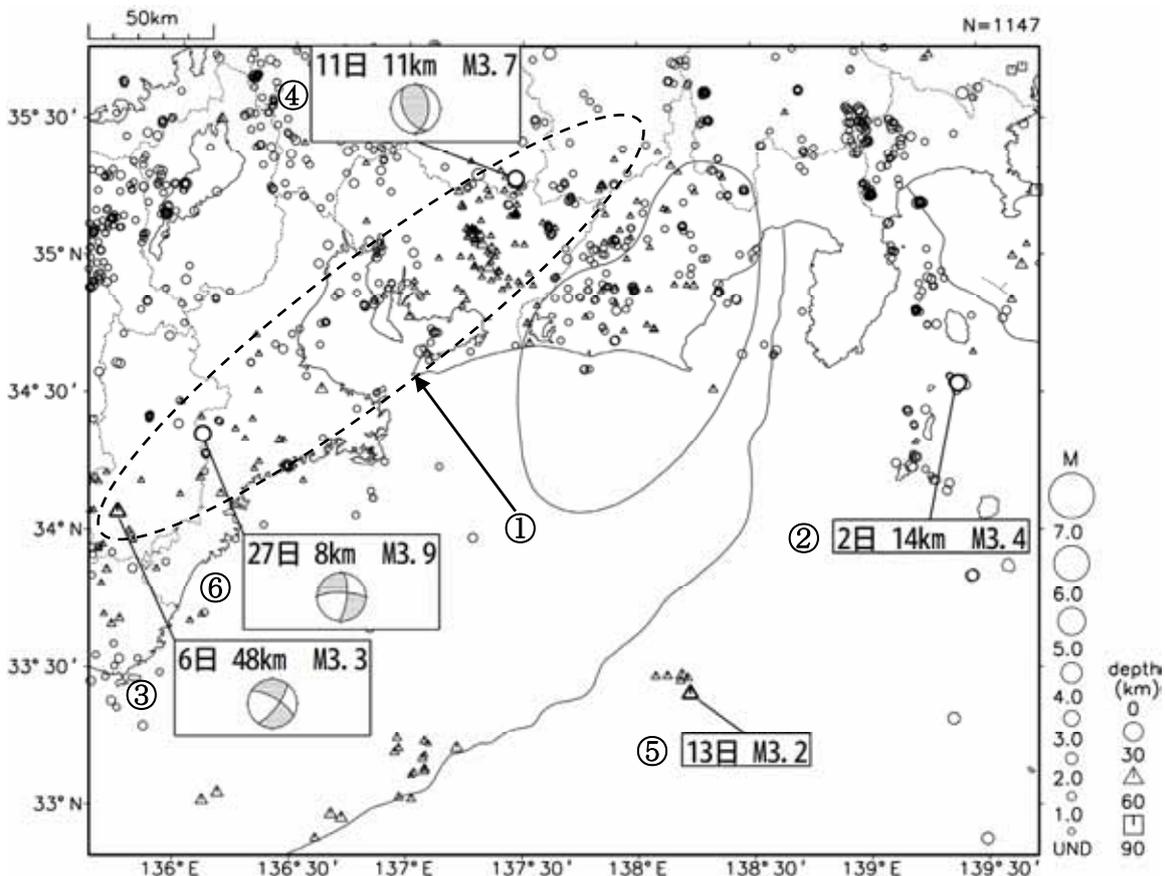


図1 震央分布図（2009年6月1日～30日：深さ0～90km、Mすべて。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。）

- ① 5月4日から6月4日にかけて、奈良県、三重県、愛知県および長野県南部の広い範囲で深部低周波地震活動が観測された(p. 20 参照)。
- ② 2日19時37分、新島・神津島近海の深さ14kmでM3.4の地震が発生し、最大震度2を観測した。
- ③ 6日5時51分、奈良県の深さ48kmでM3.3の地震が発生し、最大震度1を観測した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震と考えられる。
- ④ 11日7時53分、岐阜県美濃東部の深さ11kmでM3.7の地震が発生し、最大震度3を観測した。発震機構は東北東－西南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、地殻内で発生した地震と考えられる。
- ⑤ 13日16時21分、東海道南方沖でM3.2の地震が発生した。
- ⑥ 27日2時5分、奈良県の深さ8kmでM3.9の地震が発生し、最大震度3を観測した。発震機構は北東－南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、地殻内で発生した地震と考えられる。
- 注：本文中の番号は、図1中の数字に対応する。

[東海地域の地震活動の頁で使われる用語]

・「想定震源域」(図1)と「固着域」(図2)

東海地震発生時には、「固着域」(プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域)あるいはその周辺の一部からゆっくりしたずれ(前兆すべり)が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」(図2)

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図2の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が3km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくり滑り(長期的スロースリップ)」(図2、図3)

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2001年頃～2005年頃にかけて発生していたとされているゆっくりとした滑り。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

・「深部低周波地震」と「短期的ゆっくり滑り(短期的スロースリップ)」(図1、図5、図6)

深さ約30km～40kmで発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる「深部低周波地震」の震央分布が見られる。「深部低周波地震」の活動が観測されるときは、ほぼ同時に数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくり滑り(短期的スロースリップ)」が観測されることが多い。「短期的ゆっくり滑り」は、「深部低周波地震」の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界の滑りと考えられている。「深部低周波地震」および「短期的ゆっくり滑り」の発生には、沈み込むフィリピン海プレートから解放される流体が関与していると考えられている。

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和53年(1978年)12月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」(以下、「強化地域」という。)として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成14年(2002年)4月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる166市町村(平成21年4月現在)が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード8クラスと想定されている大地震(東海地震)が起こった場合、震度6弱以上(一部地域では震度5強程度)になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会委員打合せ会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」(前頁参照)を発表している。

東海地域の地震活動指数 (クラスタを除いた地震回数による)

2009年6月24日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内			全域
					全域	西側	東側	
短期活動指数	5	3	8	4	2	4	1	5
短期地震回数 (平均)	8 (6.31)	3 (5.91)	24 (13.23)	14 (14.08)	2 (5.99)	2 (2.46)	0 (3.53)	7 (6.06)
中期活動指数	6	3	6	3	0	3	0	4
中期地震回数 (平均)	24 (18.93)	13 (17.74)	46 (39.68)	38 (42.24)	3 (11.99)	3 (4.93)	0 (7.06)	10 (12.12)

- * Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M \geq 1.1、駿河湾：M \geq 1.4
- * クラスタ除去：震央距離が Δr 以内、発生時間差が Δt 以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。
静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7$ 日
駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10$ 日
- * 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間
浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間
- * 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。
静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、
浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

- [各領域の説明]
- ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。
 - ② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。
 - ③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。
 - ④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

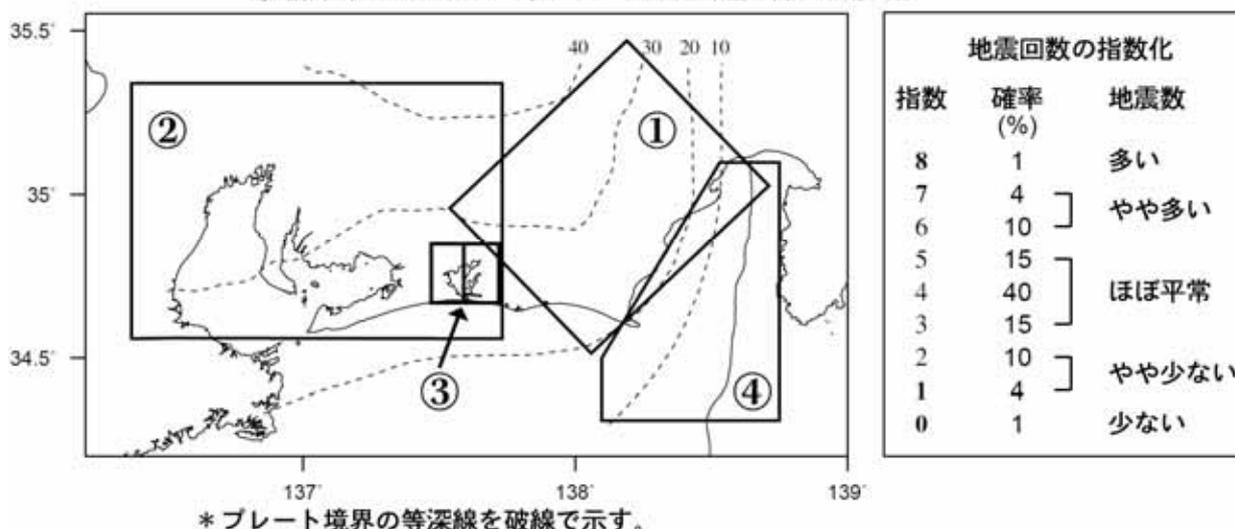


図2 東海地域の地震活動指数

中期活動指数を見ると、静岡県中西部の地殻内で活動指数がやや高く、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では低い。

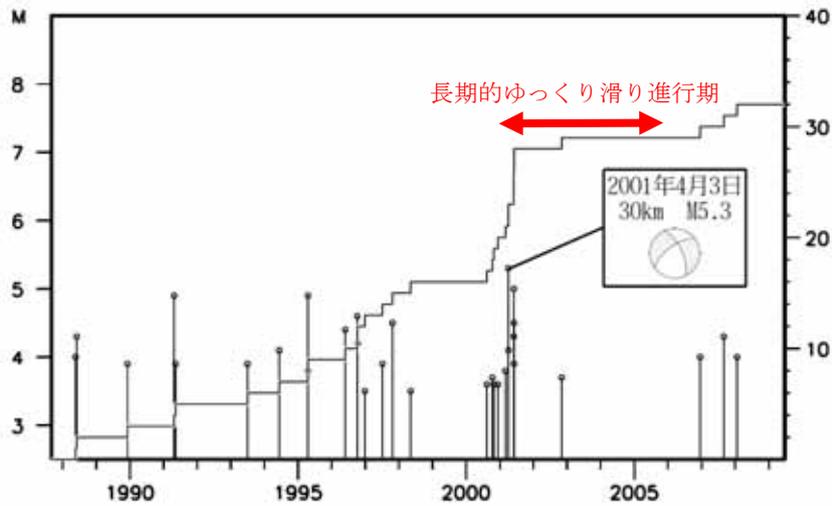


図 3 静岡県中西部のフィリピン海プレート内の地震回数積算図・地震活動経過図
2001 年後半頃から M3.5 以上の地震発生回数が少ない。

地震活動指数の推移（中期活動指数）

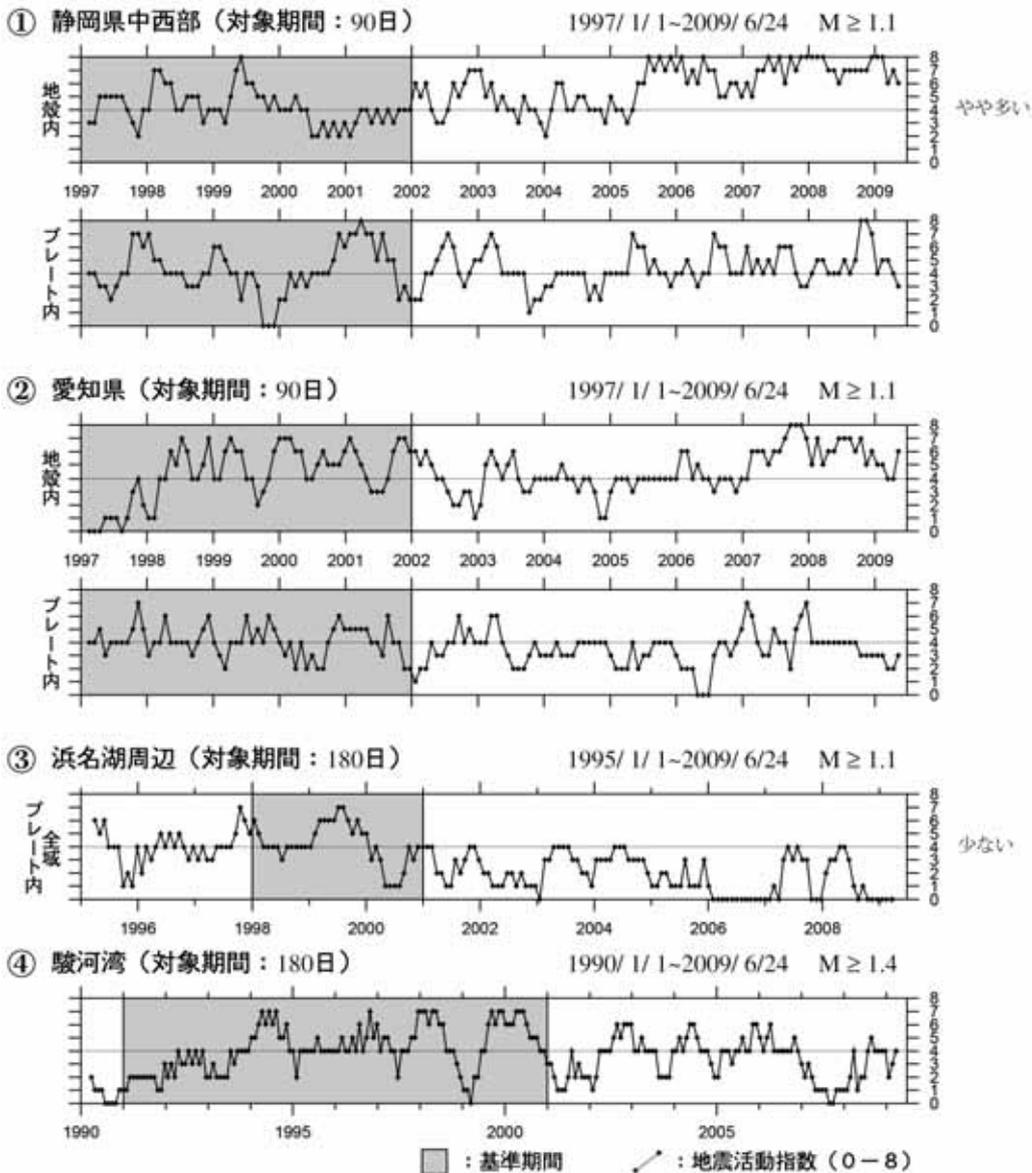


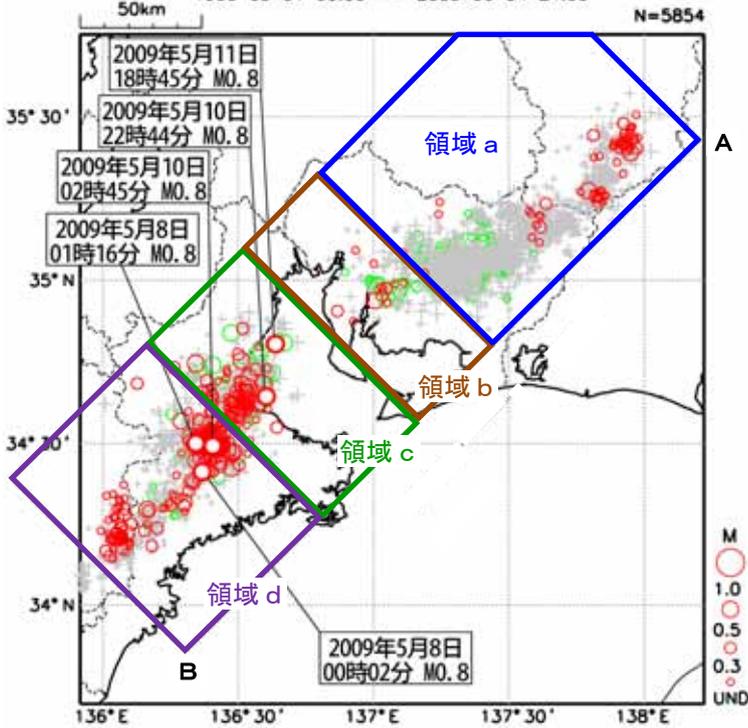
図 4 東海地域の地震活動指数の推移

静岡県中西部の地殻内では地震活動が引き続きやや多い。浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度が引き続き少ない。その他の地域では概ね平常レベルである。

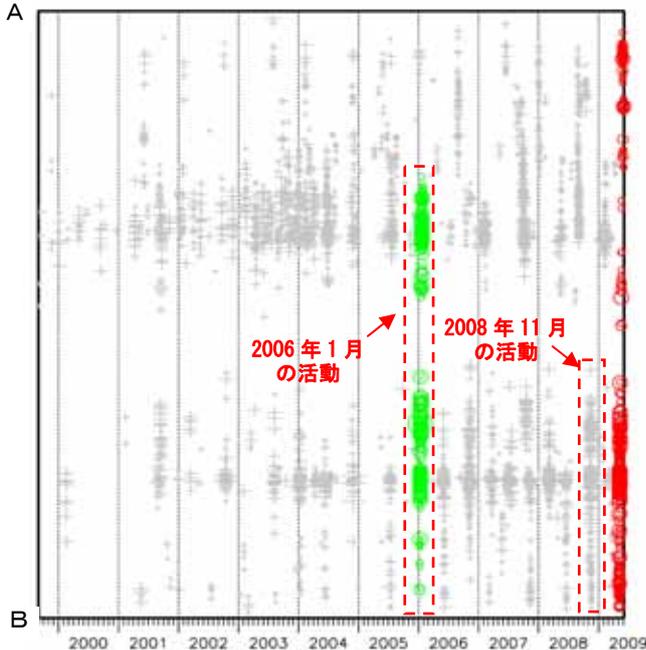
5月4日～6月4日 奈良県～長野県南部の深部低周波地震活動

震央分布図（1999年9月1日～2009年6月4日、深さ0～90km、M全て）

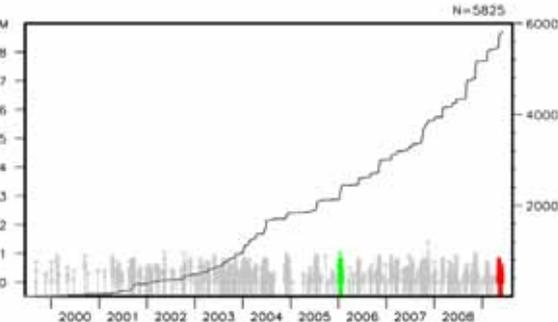
低周波地震のみを表示。2009年5月以降の震源を赤（最大地震に発生日時とM）、
2006年1月8日～2月8日の震源を緑、それ以外の期間をグレーで表示。
1999 09 01 00:00 -- 2009 06 04 24:00



領域 a～d 内の時空間分布図 (A-B 投影)



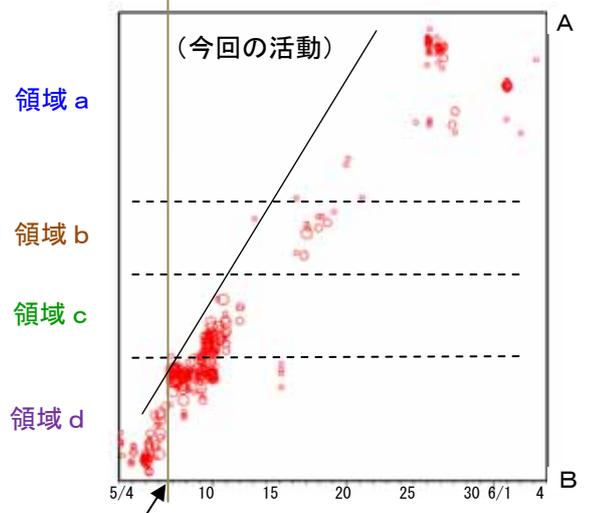
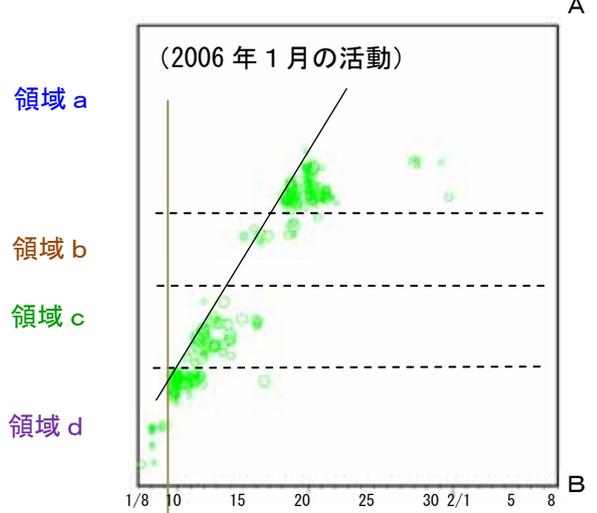
領域 a～d 内の地震活動経過図、回数積算図



2009年5月4日03時頃から奈良県で深部低周波地震活動が始まり、6日以降、三重県南部～三重県中部 (領域 d)、三重県中部～伊勢湾 (領域 c)、愛知県～長野県南部 (領域 b、a) と北東側へ移動するように発生した。期間中の最大は M0.8 の地震で、9日～11日に三重県南部～伊勢湾で発生した。

今回のように、三重県側 (領域 c、d) の活動の後、引き続き愛知県側 (領域 a、b) で深部低周波地震活動が観測されたのは、2006年1月の活動以来である。

時空間分布図による活動比較 (いずれも A-B 投影、時間軸は同じスケール、斜線の傾きは約 10km/日)



三重県中部の活動活発化

図 5 奈良県から長野県南部で発生した深部低周波地震活動

東海地域及びその周辺の地殻変動データの状況（2009. 05. 21～2009. 06. 24）

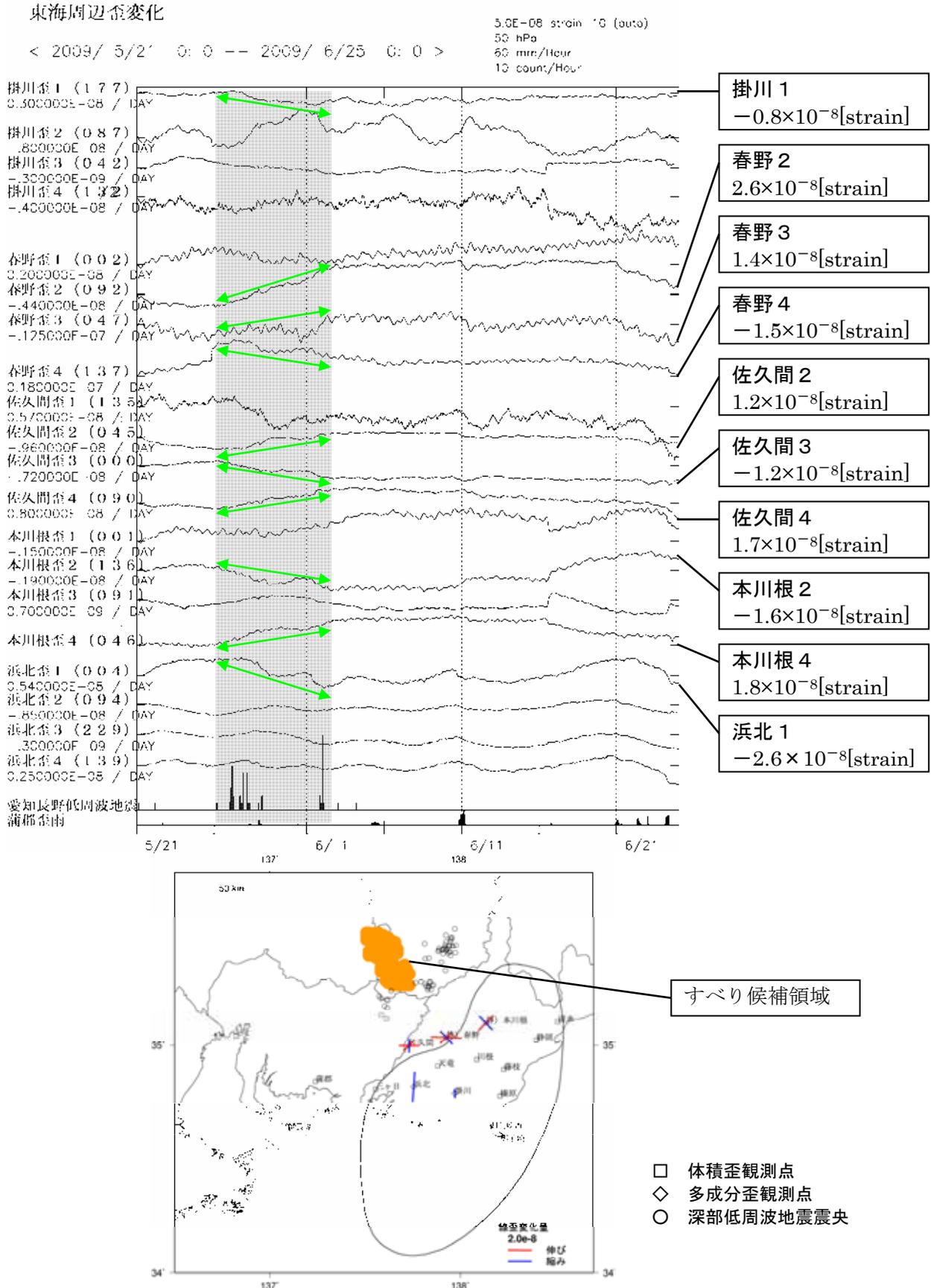


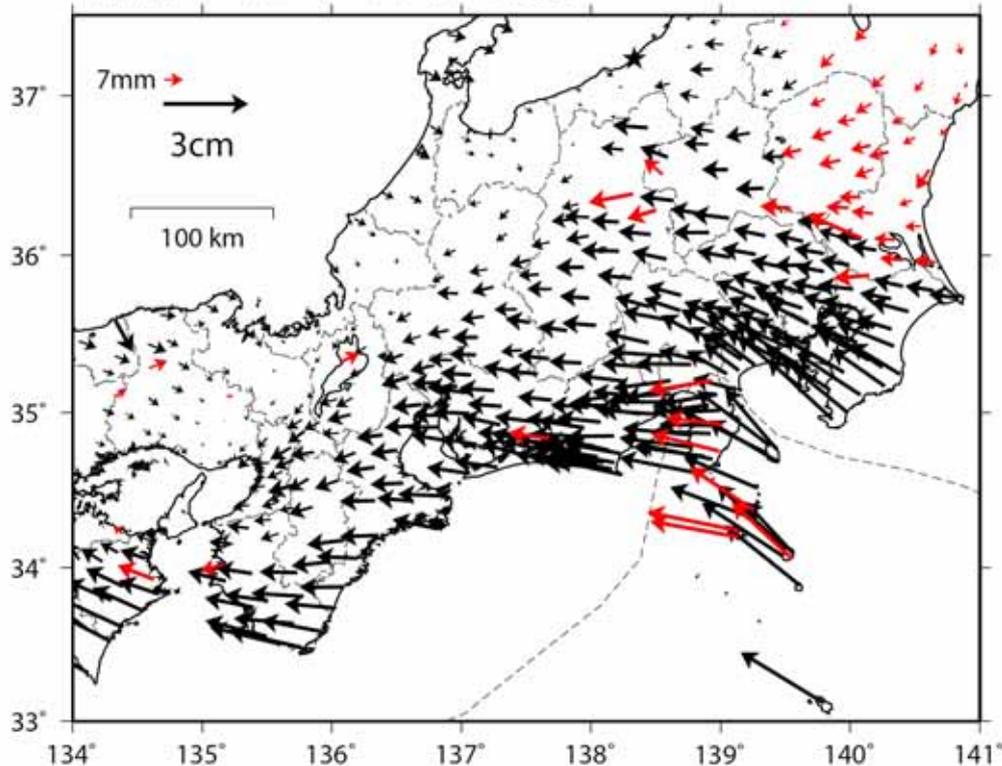
図6 東海地域及びその周辺の地殻変動データの状況

5月26日から6月4日にかけて愛知県長野県の県境付近で深部低周波地震活動が観測された（下図参照）。歪計では、掛川、春野、佐久間、本川根および浜北の各多成分歪計でこれに対応する変化が見られた（上図参照）。この変化から短期的ゆっくりすべりの候補領域を推定した結果、深部低周波地震の活動領域付近に求め、規模はモーメントマグニチュード(Mw)換算で5.6から5.8であった(下図参照)。

東海地方の最近の地殻変動（水平変動）【大湊固定】 （2008年6月～2009年6月）

基準期間：2008/5/28～2008/6/6 [F3：最終解]

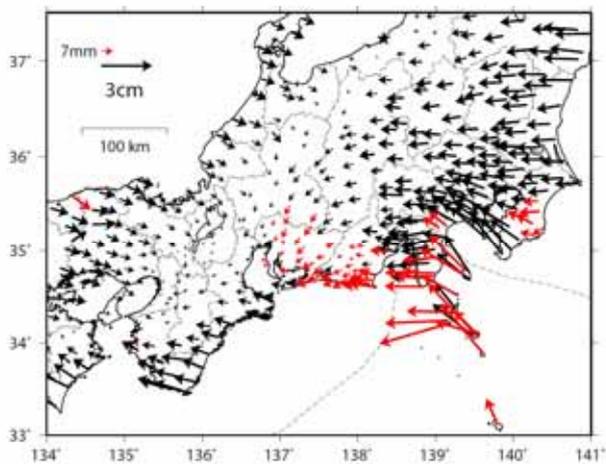
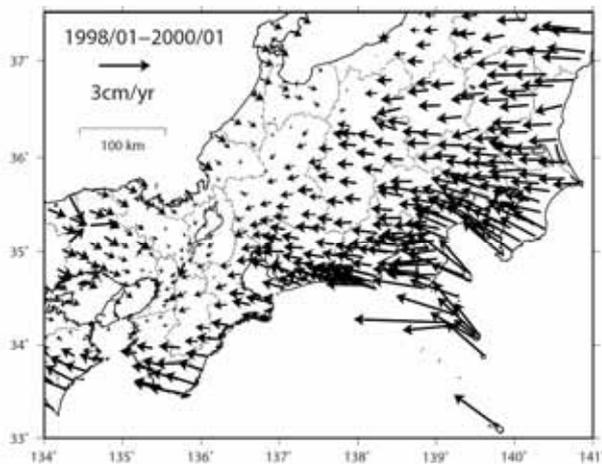
比較期間：2009/5/28～2009/6/6 [F3：最終解]



・スロースリップ開始前の変動速度ベクトル（左下図）との差の絶対値が7mm以上の変動ベクトルを赤矢印で表示している。

スロースリップ開始以前の地殻変動速度
（1998年1月～2000年1月）

スロースリップ進行期の地殻変動速度
（2001年1月～2004年1月）



国土地理院資料

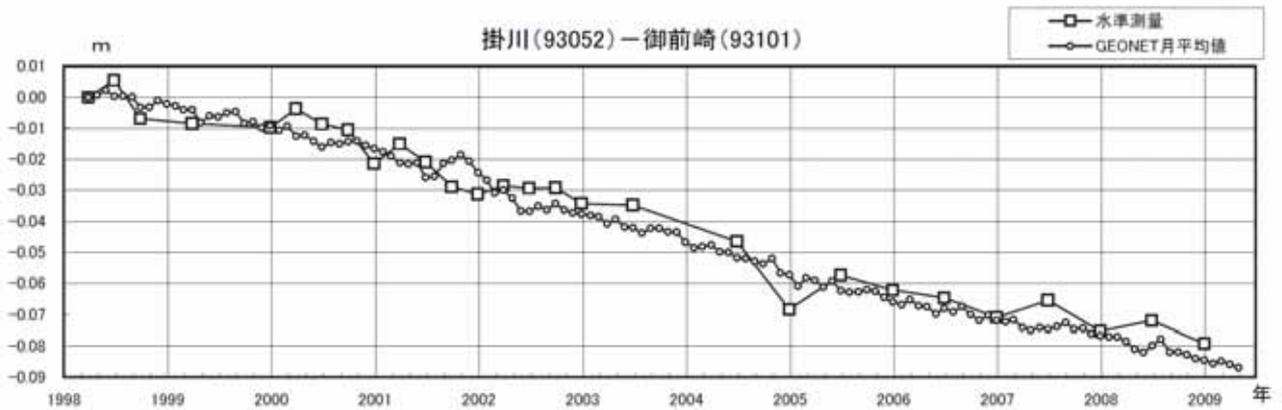
図7 国土地理院のGPS観測結果による東海地域の最近の地殻変動

上図は、最近（2009年5月28日～2009年6月6日）のGPS観測点が1年前と比べて水平方向にどの程度動いたかを示したものである（新潟県のGPS観測点大湊を固定）。長期的ゆっくり滑り（スロースリップ）開始前の変動速度ベクトルとの差の絶対値が7mm以上の変動ベクトルを、赤矢印で表示している。東海地域には西～北西方向に変動する領域が見られ、赤矢印はあまり見られない。これは、左下図の長期的ゆっくり滑り（スロースリップ）開始以前の定常的な状態と最近の状態が似ていることを示している。関東地方に見られる赤矢印は、2008年5月8日の茨城県沖の地震後の余効変動や2008年7月19日の福島県沖の地震等の影響であると考えられる。

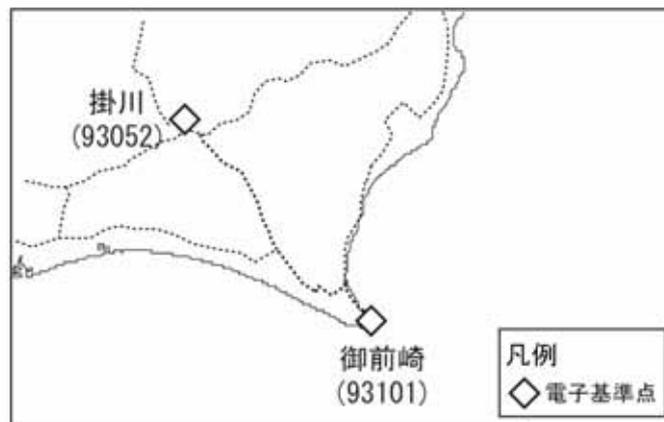
御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GPS 観測の比較

水準測量と GPS 観測の結果は、よく一致している。
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



位置図



国土地理院資料

図8 国土地理院のGPS観測結果および水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。GPS観測(○)および水準測量(□)による結果は良く一致しており、掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向が継続していることがわかる。

表 2 平成 21 年 6 月の警報、予報及び情報の発表履歴（定期発表以外）

火山名	噴火警報及び 噴火予報の状況	発表した火山現象に関する警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 160～161 号	1～2 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 162 号	3 日 16 時 00 分	地震、噴煙、火山ガス等火山活動の状況
		解説情報第 163～171 号	4～12 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
		解説情報第 172 号	13 日 16 時 00 分	地震、噴煙、火山ガス等火山活動の状況
		解説情報第 173～189 号	14～30 日 16 時 00 分	地震、噴煙等火山活動の状況
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報第 40 号	30 日 16 時 00 分	24 日以降の噴火活動の状況

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

各火山の 6 月の活動解説

【北海道地方】

めあかんだけ 雌阿寒岳 **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

ポンマチネシリ火口の噴煙は2008年11月の噴火前に比べてやや多い状態で推移したが、次第に弱まってきている。地震活動は低調に経過した。

1～5日に行った現地調査では、ポンマチネシリ第4火口の噴気はごく弱く、最高温度は約97℃（前回2008年10月：約197℃）と大きく低下し、赤外熱映像装置¹⁾による地表面温度分布の観測では高温域の減少が認められた。雌阿寒岳では火口内に影響する程度の噴出現象が突発的に発生する可能性があるため、火口内や近傍では火山ガスや火山灰噴出に対する警戒が必要である。

とかちだけ 十勝岳 **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で経過した。

24～27日に行った現地調査では、62-2 火口の温度は約160℃¹⁾で、長期的に見て温度の低下が継続していた。GPS連続観測によると、62-2火口浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が2006年以降継続している。

62-2火口周辺では今後の火山活動の推移に注意が必要である。

たるまへさん 樽前山 **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動や噴煙活動は低調な状態で、広域の地殻変動も特段の変化なかった。

12日に実施した現地調査では、A火口の最高温度は約625℃、B噴気孔群の最高温度は約315℃で高温の状態が継続していた。また、GPS繰り返し観測によると、山頂火口原内の溶岩ドームの地下浅部の膨張を示す局所的な地殻変動が2006年以降継続している。

山頂溶岩ドーム周辺では今後の火山活動の推移に注意が必要である。

くつたら 倶多楽 **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

なお、登別市によると大正地獄では引き続きごく小規模な泥混じりの熱湯噴出が時々見られている。

うすざん 有珠山 **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

3日に室蘭地方気象台が行った現地調査では、西山西麓火口群N-B火口の噴気活動は低下した状態が続いていた。山頂火口原I火口では長期的な温度低下が続いている。

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に異常な変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

ほっかいどうこまがたけ 北海道駒ヶ岳

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

うきさん 恵山 **【噴火予報（平常）】**

地震活動は概ね低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【東北地方】

いわきさん 岩木山 **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

いわてさん 岩手山 **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あきたこまがたけ 秋田駒ヶ岳 **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

くりこまやま 栗駒山 **【噴火予報（平常）】**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

あづまやま 吾妻山 **【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】**

大穴火口の噴気は、高さ 50～300m程度とやや活発な状況が続いている。

20日から23日にかけて火山性地震が一時的に増加したほか、地震活動は低調に推移した。地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

火口内では噴気、火山ガスの噴出等が見られるので警戒が必要である。

1) 赤外熱映像装置または赤外放射温度計による測定。これらは物体が放射する赤外線を感知して温度分布等を測定する測器である。熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある。

安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

草津白根山

【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動や地殻変動には特段の変化はみられない。3～4日に実施した現地調査では、湯釜火口内の北壁で熱活動の高まりが引き続き認められた。東京工業大学の観測によると、湯釜火口内北東部の噴気孔周辺の地中温度は引き続き高温の状態が継続している。

山頂火口から概ね 500m の範囲ではごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留する事があるため注意が必要である。

浅間山

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

山頂火口からの噴煙量は 4 月以降大きな変化はなく、噴煙高度は火口縁上 100～300m で推移した。

2 日及び 12 日に実施した現地調査では、山頂火口からの二酸化硫黄の放出量²⁾ は一日あたり 400～1,100 トンと、2008 年 7 月以前の状態と比べ引き続き多い状態が続いている。

火山性地震及び火山性微動はやや多い状態が続いている。

浅間山では、今後も山頂火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、弾道を描いて飛散する大きな噴石³⁾ に警戒が必要である。また、風下側では、降灰および風の影響を受ける小さな噴石³⁾ に注意が必要である。また、火山ガス放出量の多い状態が続いているので、風下側にあたる登山道等では、火山ガスに注意が必要である。

新潟焼山 [噴火予報（平常）]

地震活動は低調な状態で、新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは噴煙活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動及び噴気活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

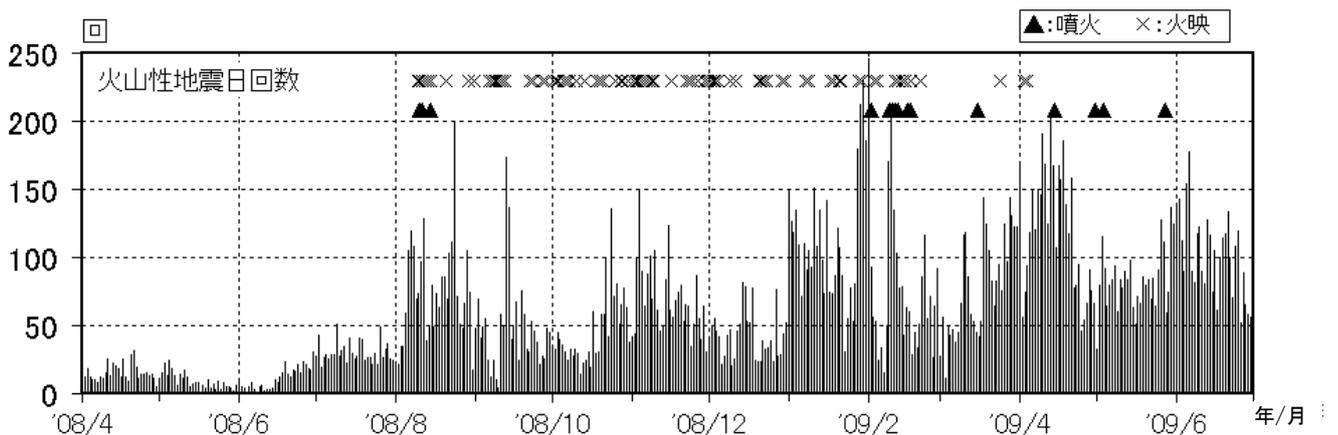


図 2 浅間山 火山性地震の日回数（2008 年 4 月 1 日～2009 年 6 月 30 日）

2) 小型紫外線スペクトロメータシステム (COMPUSS) による。COMPUSS は、紫外線のある波長帯の二酸化硫黄の吸収を利用して、二酸化硫黄濃度を測定する。
 3) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、それより小さく風の影響を受ける噴石は、例えば「風の影響を受ける小さな噴石」という表現を用いる。

白山 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、国土交通省金沢河川国道事務所の土砂災害監視用カメラでは山頂部に噴気は認められず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

富士山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動は低調な状態で、噴火の兆候はみられない。

箱根山 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

地震活動は低調な状態で、環境省インターネット自然研究所の箱根・大涌谷カメラでは大涌谷の噴気活動に特段の変化はなく、その他の観測データに特段の変化はなかった。

箱根山では引き続き火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆東部火山群 【噴火予報（平常）】

地震活動は低調な状態で、噴煙等の表面現象は認められず、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

伊豆大島 【噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）】

19 日に行った現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺に引き続き弱い噴気が認められた。三原山山頂火口内の中央火孔の温度や地表面温度分布¹⁾に前回（2009 年 5 月 19 日）の観測と比べて特段の変化はなかった。

GPS、光波距離計⁴⁾による連続観測では、地下

深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続している。短期的には 2008 年夏からの伸び変化が 1 月頃からほぼ停滞している。今後の活動に注意する必要があるが、現在は静穏な状況で、三原山山頂火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

三宅島**【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】**

噴煙高度は火口縁上 100～300m で推移した。

29 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄放出量⁵⁾は一日あたり 500～1,300 トンで、前期間（2009 年 5 月、一日あたり 700～1,200 トン）と同様、依然として多量の火山ガス放出が続いている。また、三宅島の火山ガス濃度観測によると、山麓でたびたび高濃度の二酸化硫黄が観測されている。

山頂火口直下を震源とする火山性地震は増減を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

地磁気連続観測⁶⁾では、火山体内部の熱の状況に大きな変化はなかった。

GPS 連続観測では、山体浅部の収縮がわずかながら継続している。

三宅島では、山頂火口周辺（雄山環状線内側）に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、山頂火口周辺では噴火に対する警戒が必要である。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要である。降雨時には土石流にも注意が必要である。

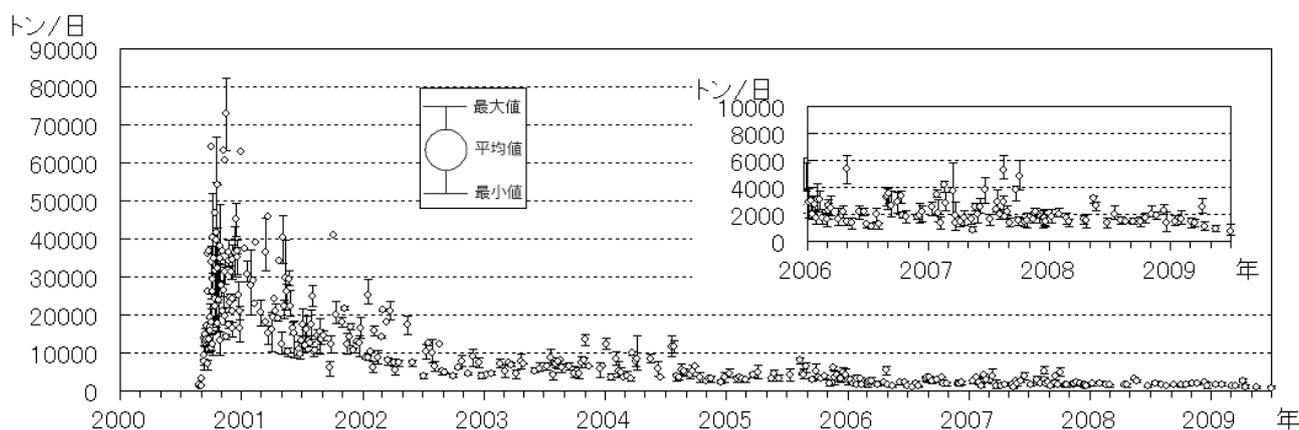


図 3 三宅島 二酸化硫黄の放出量の推移（2000 年 8 月～2009 年 6 月）

2005 年 11 月まで、海上保安庁、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、東京消防庁及び警視庁の協力を得て観測を実施。

- 4) レーザーなどを用いて山体に設置した反射鏡までの距離を測定する機器。山体の膨張や収縮による距離の変化を観測している。
- 5) 三宅島では、2005 年 4 月までは紫外線相関スペクトロメータ（COSPEC）、同年 5 月以降は小型紫外線スペクトロメータシステム（COMPUSS）を用いて観測した二酸化硫黄（SO₂）の放出量の推移を示している。
- 6) プロトン磁力計による観測。火山は磁石のように磁気を帯びている。地下で温度上昇があると、熱源の北側で全磁力値が増加し、南側で減少がみられる。

八丈島 はちじょうしま **〔噴火予報（平常）〕**

地震活動は低調な状態で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

硫黄島 いおうとう **〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕**

独立行政法人防災科学技術研究所の観測によると、地震活動は落ち着いた状態で経過している。

国土地理院の観測によると、2006 年 8 月以降見られている島全体が隆起する地殻変動は、2009 年 5 月中旬頃から隆起の傾向が鈍化している。

硫黄島では、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要である。

福德岡ノ場 ふくとくおかのば **〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕**

22 日に海上自衛隊が上空から行った観測では、福德岡ノ場付近で直径約 500～600m の円状に広がる薄い青白色の変色水域が確認された。

これまでの海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部及び海上自衛隊による上空からの観測でも、福德岡ノ場付近の海面に、火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

福德岡ノ場では小規模な海底噴火が発生すると予想されるので、周辺海域では警戒が必要である。

【九州地方及び南西諸島】**九重山** くじゅうざん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

阿蘇山 あそざん **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

17日に実施した現地調査では、中岳第一火口の火口縁南西側及び監視所駐車場（中岳第一火口の南西約200m）横でごく微量の降灰が確認された。また夜間に行った現地調査で、南側火口壁の噴気孔において火炎現象⁷⁾が観測された。いずれも火口内で発生した局所的な活動と考えられる。

二酸化硫黄の放出量²⁾は一日あたり400～500トンで前期間（2009年5月、一日あたり300～700トン）と同様、少ない状態で経過した。

中岳第一火口の湯だまりの量は2007年10月頃から緩やかな減少傾向が続いている。表面温度に

大きな変化はなかった。

地磁気連続観測⁶⁾による火山体内部の熱の状況では、2006年夏頃から、中岳第一火口北側に近い観測点で全磁力のわずかな増加がみられていたが、2008年以降はその増加傾向は鈍化しており、熱活動が高まっている傾向は認められない。

その他の火山活動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。ただし、火口内では噴気や火山ガスの噴出がみられることから、火口周辺では火山灰の噴出等に警戒が必要である。また、火口周辺では火山ガスに対する注意が必要である。

雲仙岳 うんげんだけ **〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

霧島山 きりしまやま しんもろだけ **（新燃岳）****〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

火口内及び火口外西側斜面では引き続き噴気が見られており、火口内に影響する程度の噴出現象が発生する可能性があるため、火山灰の噴出等に警戒が必要である。

霧島山 きりしまやま おほち **（御鉢）****〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕**

地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候はみられない。

桜島 さくらじま**〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕**

昭和火口では、噴火⁸⁾が29回発生し、そのうち13回が爆発的噴火⁹⁾であった。南岳山頂火口では、噴火が10回発生した。

26日02時22分と29日23時15分の昭和火口の爆発的噴火では、大きな噴石が5合目（昭和火口から500～800m）まで達した。

国土地理院によるGPS連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な膨張が継続しているが、桜島直下にマグマが新たに移動したことを示す地殻変動は観測されていない。

7) 熱せられた噴出物が炎のように見える現象。

8) 桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発的噴火もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが1,000m以上）の噴火の回数を計数している。基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火としている。

9) 桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または気象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としている。

昭和火口の噴火活動は、2006 年 6 月の噴火以降長期的には次第に活発化している傾向がみられる。

桜島では、引き続き南岳山頂火口及び昭和火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石³⁾に警戒が必要である。風下側では降灰及び小さな噴石³⁾（火山れき¹⁰⁾）に注意が必要である。降雨時には土石流に注意が必要である。

まつまいおうじま 薩摩硫黄島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

火山性地震はやや多い状態が続いている。

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや活発で、噴煙の高さは火口縁上概ね 100m で推移した。

薩摩硫黄島では、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要である。また、風下側では降灰及び小さな噴石³⁾にも注意が必要である。

くちのえらぶじま 口永良部島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

噴煙活動はやや活発な状態で推移した。遠望カメラ（新岳火口の北西約 3 km）による観測では、新岳火口から白色噴煙が時々観測されている。

火山性微動は 4 月から増加していたが、5 月中旬をピークに減少し、今期間は発生していない。

GPS 連続観測では、新岳火口浅部の膨張を示す変化が、2009 年 2 月以降鈍化し、6 月に入り認められなくなった。

口永良部島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石³⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び小さな噴石³⁾にも注意が必要である。

すわのせじま 諏訪之瀬島

【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳火口^{おたけ}では、小規模な噴火が断続的に発生し、そのうち爆発的噴火¹¹⁾が 31 回発生した。火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いている。

諏訪之瀬島では長期的にわたり噴火活動を繰り返している。

諏訪之瀬島では、御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では大きな噴石³⁾に警戒が必要である。また、風下側では降灰及び小さな噴石³⁾にも注意が必要である。

10) 桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

11) 諏訪之瀬島では、爆発地震を伴い、島内の空振計で一定基準以上の空振を観測した場合に爆発的噴火としている。

資料 1 全国の主な活火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または連続的に監視を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (平成 21 年 6 月 30 日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 9 月 29 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 10 月 17 日 噴火予報（平常） 2008 年 11 月 17 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 12 月 16 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 12 月 16 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 6 月 9 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
東北地方	岩木山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	那須岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2009 年 4 月 10 日 噴火予報（レベル 1、平常）切替
	浅間山	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 8 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 1 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 4 月 7 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	新潟焼山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2008 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常） 2009 年 3 月 31 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	伊豆東部火山群	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	三宅島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008 年 3 月 31 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（火口周辺危険）
福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007 年 12 月 1 日 噴火警報（周辺海域警戒）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況 (平成 21 年 6 月 30 日現在)	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
九州地方及び南西諸島	九重山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山 (新燃岳)	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 8 月 22 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 10 月 29 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、平常）	2007 年 12 月 1 日 噴火予報（レベル 1、平常）
	桜島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 2 月 3 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 2 月 20 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 4 月 8 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 7 月 14 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 7 月 28 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2008 年 8 月 28 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 2 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 2 月 19 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009 年 3 月 2 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 3 月 10 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009 年 4 月 24 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 1 月 25 日 噴火予報（レベル 1、平常） 2008 年 9 月 4 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008 年 10 月 27 日 火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009 年 3 月 18 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル 2、火口周辺規制)	2007 年 12 月 1 日 火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない。（平成 21 年 6 月 30 日現在）

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、摩周、アトサヌブリ、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方 及び伊豆・小笠原諸島	高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、焼岳、アカンダナ山、乗鞍岳、利島、新島、神津島、御蔵島、青ヶ島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、婿婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

資料 2 第 113 回火山噴火予知連絡会について

平成 21 年 6 月 18 日、第 113 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、最近の全国の火山活動について委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめ、その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

第 113 回火山噴火予知連絡会 「全国の火山活動の評価」

本日、前回の火山噴火予知連絡会（平成 21 年 2 月 18 日）以降の全国の火山活動について検討を行いました。現在までの全国の火山活動の評価は以下のとおりです。

○ 全国の主な火山活動

今期間（2月 18 日～6月 17 日）、浅間山、三宅島、桜島、諏訪之瀬島で噴火が発生しました。

浅間山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕では、2月の噴火以降も、時々ごく小規模な噴火が発生しました。地震、地殻変動および火山ガスなどの観測データから中規模噴火の可能性は低いと判断し、4月 7 日に噴火警戒レベルを 3 から 2 に引き下げました。2008 年 6 月以前と比べて火山活動は引き続き高まった状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕昭和火口では、2月 28 日から 4月 10 日にかけて噴火が度々発生し、3月 10 日の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が昭和火口から 2 km 付近まで達しました。また、4月 9 日の爆発的噴火では、噴煙高度が火口縁上 4,000 m を超え、火砕流が昭和火口の東側約 1 km まで流下しました。引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から 1 km 程度の範囲に噴石を飛散させる噴火が発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。

口永良部島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕では、GPS による地殻変動観測で 2008 年 9 月以降続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化が 2 月以降鈍化しており、また、二酸化硫黄の放出量が 1 月以降減少していることなどから、3月 18 日に噴火警戒レベルを 3 から 2 に引き下げました。新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が

必要です。

三宅島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2）〕では、多量の火山ガス放出が当分継続すると考えられます。引き続き、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性がありますので、火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。

○ 各地方の主な活火山の火山活動評価

1. 北海道地方

① 雌阿寒岳

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕←平成 21 年 4 月 10 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表し、噴火警戒レベル 2（火口周辺規制）からレベル 1（平常）に引き下げました。

- ・火山性地震の発生状況は 1 月下旬以降概ね低調に推移し、火山性微動は 3 月 19 日以降発生していません。噴煙活動も次第に低下してきています。
- ・GPS 連続観測では、2008 年 10 月初め頃からやや広域の地殻変動が観測されていましたが、2009 年 4 月以降その変化は鈍化しています。浅部の膨張は認められていません。
- ・火山活動は落ち着いた状態となっており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったことから、4 月 10 日に火口周辺警報を解除しました。

② 十勝岳

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・62-2 火口付近では 2006 年以降、GPS による地殻変動観測で 62-2 火口浅部の膨張を示すと考えられる局所的な地殻変動がみられ、現在まで継続しています。
- ・62-2 火口付近の地震活動及び同火口の噴煙活動や熱活動は低調に推移していますが、今後、これらの活動が高まった場合には、火口周辺に影響を及ぼすような小規模な噴火が発生する可能性がありますので、注意が必要です。

③ 樽前山

〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- ・A 火口及び B 噴気孔群では高温の状態が続いています。
- ・地震活動や噴煙活動は低調な状態ですが、今後の活動の推移に注意が必要です。

④ 倶多楽〔噴火予報（平常）〕

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 有珠山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 北海道駒ヶ岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 恵山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

2. 東北地方

① 岩木山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 岩手山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

③ 秋田駒ヶ岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 栗駒山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 吾妻山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・2008 年 11 月 11 日に大穴火口で噴気活動が活発化し、その後も大穴火口では高さ 50～400m の白色の噴気が観測されています。噴気には二酸化硫黄および硫化水素が含まれていることが確認されました。噴気活動は大穴火口のみで観測されており、一切経山や、大穴火口以外の場所では、地表面温度等の変化は認められません。
- ・火山性地震は 1 月にやや多く発生しましたが、2 月以降は少ない状態が続いています。

- ・大穴火口周辺での地殻変動観測では、2008 年 8 月頃からの火山性地震の増加にあわせ、わずかに伸びる変化が観測されていましたが、その後縮みの変化に変わったとみられます。その他の広域の地殻変動観測では変化はみられていません。
- ・大穴火口での噴気活動は継続していますので、風下側では、火山ガスに注意が必要です。

⑥ 安達太良山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←平成 21 年 3 月 31 日より安達太良山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 磐梯山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←平成 21 年 3 月 31 日より磐梯山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。

- ・5 月 10 日に火山性地震が一時的に増加し、4 月 12 日と 5 月 12 日に振幅が小さく継続時間の短い火山性微動が観測されましたが、それ以外の火山活動に特段の変化はみられず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島

① 那須岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←平成 21 年 3 月 31 日より那須岳に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 草津白根山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←平成 21 年 4 月 10 日に噴火予報を切り替えました（噴火警戒レベル 1（平常）継続）。

- ・湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で熱活動の活発化がみられ、山頂火口から概ね 500m の範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒が必要なことから、4 月 10 日に噴火予報を発表しました。その後も同地域では熱活動の活発化が継続しています。

③ 浅間山

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成 21 年 4 月 7 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベル 3

（入山規制）からレベル 2（火口周辺規制）に引き下げました。

- ・ 3 月 15 日、4 月 14 日、30 日、5 月 3 日、27 日にごく小規模な噴火が発生しました。
- ・ 火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は依然多い状態が続いているものの、3 月以降減少していること、2 月 2 日の噴火前にみられた周期の短い火山性地震の増加は認められないこと、傾斜計による地殻変動観測で火山活動によるとみられる特段の変化は認められないことから、山頂火口から 4 km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、4 月 7 日に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを 3 から 2 に引き下げました。
- ・ 山体周辺の GPS による地殻変動観測では、昨年 7 月初め頃からの深部へのマグマ貫入を示すわずかな伸びの傾向が、引き続き観測されています。
- ・ 地震活動は引き続いてやや多い状態が続いています。
- ・ 2008 年 6 月以前と比べて火山活動は引き続き高まった状態が続いており、今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 2 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。また、風下側では、降灰及び風の影響を受ける小さな噴石に注意が必要です。

④ 新潟焼山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 焼岳 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑥ 御嶽山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑦ 白山 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑧ 富士山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑨ 箱根山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←平成 21 年 3 月 31 日より箱根山に噴火警戒レベルを導入し、噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑩ 伊豆東部火山群 [噴火予報（平常）]

- ・ 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑪ 伊豆大島

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・ GPS、光波距離計による地殻変動観測では、地下深部へのマグマ注入によると考えられる長期的な島全体の膨張傾向が継続しています。短期的には 2008 年夏からの伸び変化が 1 月頃からほぼ停滞しています。
- ・ 火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑫ 三宅島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・ 4 月 1 日、18 日、および 5 月 25 日に、振幅のやや大きな火山性地震が発生し、それぞれ風下の山麓の東側、南東から南にかけて、および山頂火口の南南西方向で、微量の降灰がありました。これらのうち 4 月 1 日は有色噴煙でごく小規模な噴火を確認しました。他の 2 件は悪天で噴煙の状況は不明ですが、ごく小規模な噴火と推定されます。
- ・ 二酸化硫黄放出量は一日あたり 1 千～3 千トンと、依然として多量の火山ガス放出が続いています。
- ・ 地震活動や地殻変動にはこれまでの傾向と比べ特に大きな変化はみられません。
- ・ 引き続き三宅島では、火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺では噴火に対する警戒が必要です。
- ・ 多量の火山ガス放出が続いており、風下にあたる地区では引き続き火山ガスに警戒が必要です。降雨時には土石流にも注意が

必要です。

⑬ 八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑭ 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・地震活動は落ち着いた状態で経過しています。2006 年 8 月以降みられていた島全体が大きく隆起する地殻変動は現在も継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では警戒が必要です。

⑮ 福岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒が必要です。

4. 九州地方・南西諸島

① 九重山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

② 阿蘇山

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・中岳第一火口南側火口壁の噴気孔はやや拡大しており、ごく少量の火山灰の噴出が時々観測されました。また、南側火口壁の噴気孔で火炎現象が引き続き観測されました。
- ・孤立型微動は 4 月以降やや多い状態で経過しました。
- ・二酸化硫黄の放出量は少ない状態で経過しました。
- ・中岳第一火口の湯だまりの量は 2007 年 10 月頃から緩やかに減少しています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。
- ・南阿蘇村吉岡（中岳第一火口から西南西約 6 km）の噴気は噴出力がやや強く、引き続き噴気活動に注意が必要です。

③ 雲仙岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過

しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

④ 霧島山
新燃岳

[噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・地震活動及び噴煙活動は低調な状態で、地殻変動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内及び火口の外の西側斜面では引き続き噴煙がみられており、火口内に影響する程度の火山灰等の噴出が発生する可能性がありますので、警戒が必要です。

御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

⑤ 桜島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

←平成 21 年 2 月 19 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を、3 月 2 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）を、3 月 10 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）の切り替えを、4 月 24 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）をそれぞれ発表しました。

- ・昭和火口では、2 月 28 日から 4 月 10 日にかけて噴火が 96 回（爆発的噴火は 65 回）発生しました。3 月 10 日の爆発的噴火では、弾道を描いて飛散する大きな噴石が昭和火口から 2 km 付近まで達しました。また、4 月 9 日の爆発的噴火では、噴煙高度が火口縁上 4,000m を超え、火砕流が昭和火口の東側約 1 km まで流下しました。この噴火により薩摩半島の広い範囲で降灰が確認されました。その後も、小規模な噴火が時々発生しました。
- ・南岳山頂火口では、小規模な噴火が時々発生しました。
- ・二酸化硫黄の放出量はやや多い状態が続いています。
- ・昭和火口の噴火活動は、2006 年 6 月の噴火以降、長期的には次第に活発化している傾向がみられます。今後の火山活動の推移に注意する必要があります。
- ・GPS による地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張による変化が引き続き観測されています。今後、始良カルデラの地下深部に蓄積したマグマが桜島直下へ多量に移動・上昇した場合には、火山活動が活発化する可能性があります。
- ・桜島では、引き続き昭和火口及び南岳山頂火口から 1 km 程度の範囲に噴石を飛散さ

せる噴火が発生すると予想されますので、これらの火口周辺では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

⑥ 薩摩硫黄島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・硫黄岳火口の噴煙活動はやや活発で、火山性地震は 3 月下旬以降増加しています。
- ・硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑦ 口永良部島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成 21 年 3 月 18 日に火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）を発表し、噴火警戒レベル 3（入山規制）からレベル 2（火口周辺規制）に引き下げました。

- ・GPS による地殻変動観測では、2008 年 9 月以降続いていた新岳火口浅部の膨張を示す変化は、2009 年 2 月以降鈍化しています。また、2008 年 9 月から 12 月頃にかけて、二酸化硫黄の放出量が増加していましたが、1 月以降減少しています。
- ・火山性微動は 4 月から増加していましたが、5 月中旬をピークに減少傾向が認められます。
- ・噴煙活動はやや活発な状態が続いています。
- ・全磁力繰り返し観測では、新岳火口直下での熱的な高まりを示すと考えられる変化が引き続き認められました。
- ・5 月 14 日に実施した現地調査では、新岳火口の熱活動、噴煙活動ともに活発な状態でした。
- ・新岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があるため、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

⑧ 諏訪之瀬島

[火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・御岳火口では、爆発的噴火を含む噴火が断続的に発生しました。

- ・^{としまむら}十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、集落で時々少量の降灰を確認しました。
- ・火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続いています。
- ・今後も^{おたけ}御岳火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石にも注意が必要です。

注) 噴火警戒レベルは平成 21 年 6 月 18 日現在、25 火山に導入している。

●世界の主な地震

平成 21 年（2009 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

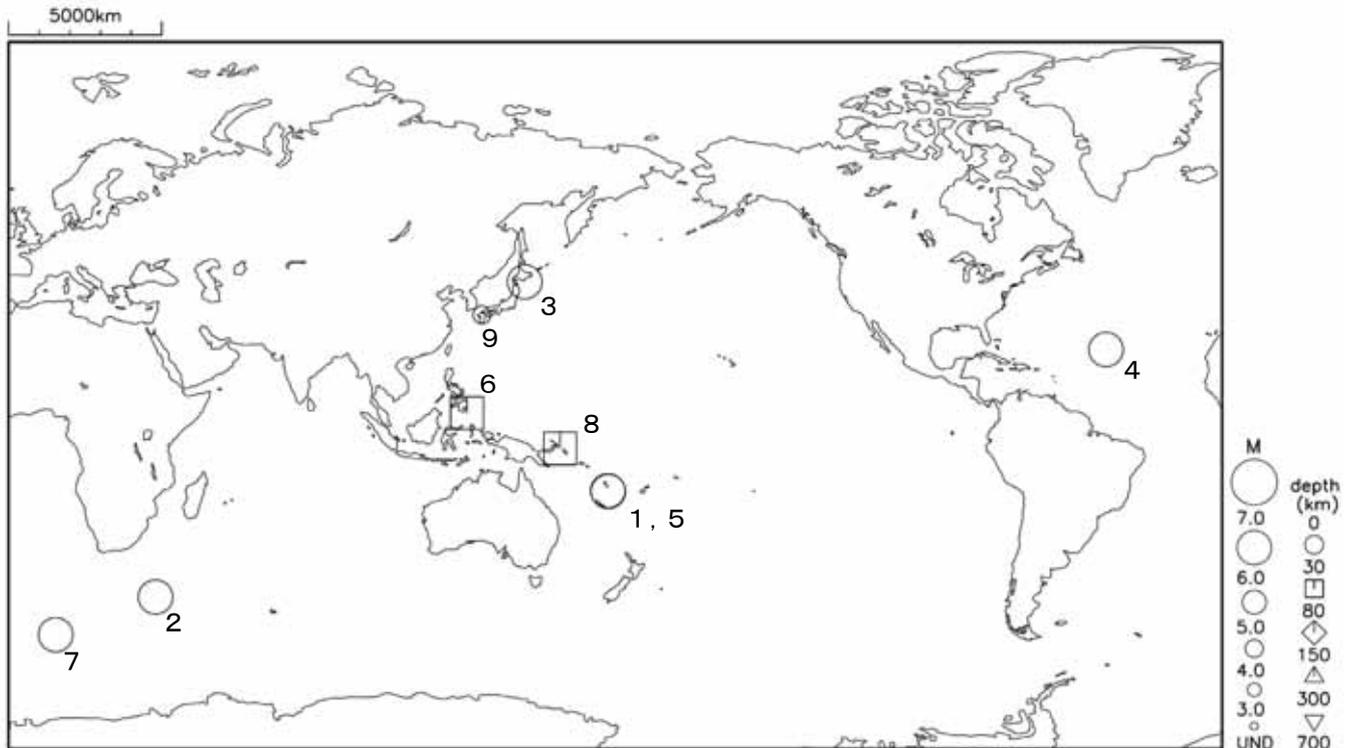


図 1 平成 21 年（2009 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による>

* : 数字は、表 1 の番号に対応する。

** : マグニチュードは mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

*** : 日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

表 1 平成 21 年（2009 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	震源時 月 日 時 分	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考（被害状況など）
1	06月02日11時17分	S17° 45.3'	E167° 56.9'	15	5.7	6.2	6.3	パヌアツ諸島	負傷者 4 人、建物被害数棟など
2	06月05日02時25分	S45° 49.4'	E 35° 08.6'	10			6.0	南アフリカ、プリンスエドワード諸島	
3	06月05日12時30分	N41° 48.7'	E143° 37.2'	31	6.0	(6.4)	6.4	十勝沖	(p. 5 参照)
4	06月07日05時33分	N23° 52.3'	W 46° 05.1'	10	5.9		6.0	大西洋中央海嶺北部	
5	06月12日18時44分	S17° 35.2'	E167° 47.8'	15	5.5		6.0	パヌアツ諸島	
6	06月14日14時58分	N 5° 23.2'	E126° 30.6'	35	5.7	5.7	6.1	フィリピン諸島、ミンダナオ	
7	06月17日05時05分	S54° 23.2'	E 5° 51.9'	10	5.7		6.1	ブーヴェ島	
8	06月23日23時19分	S 5° 09.1'	E153° 47.6'	64	5.7		6.7	パプアニューギニア、ニューアイルランド	NWPTA 発表
9	06月25日23時03分	N33° 22.1'	E130° 53.5'	12	4.8	(4.7)		大分県西部	住家被害 1 棟 (p. 13 参照)

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による（平成 21 年 7 月 2 日現在）。また、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）は気象庁に、被害状況は総務省消防庁による。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。
- ・ NWPTA は気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報である（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）。

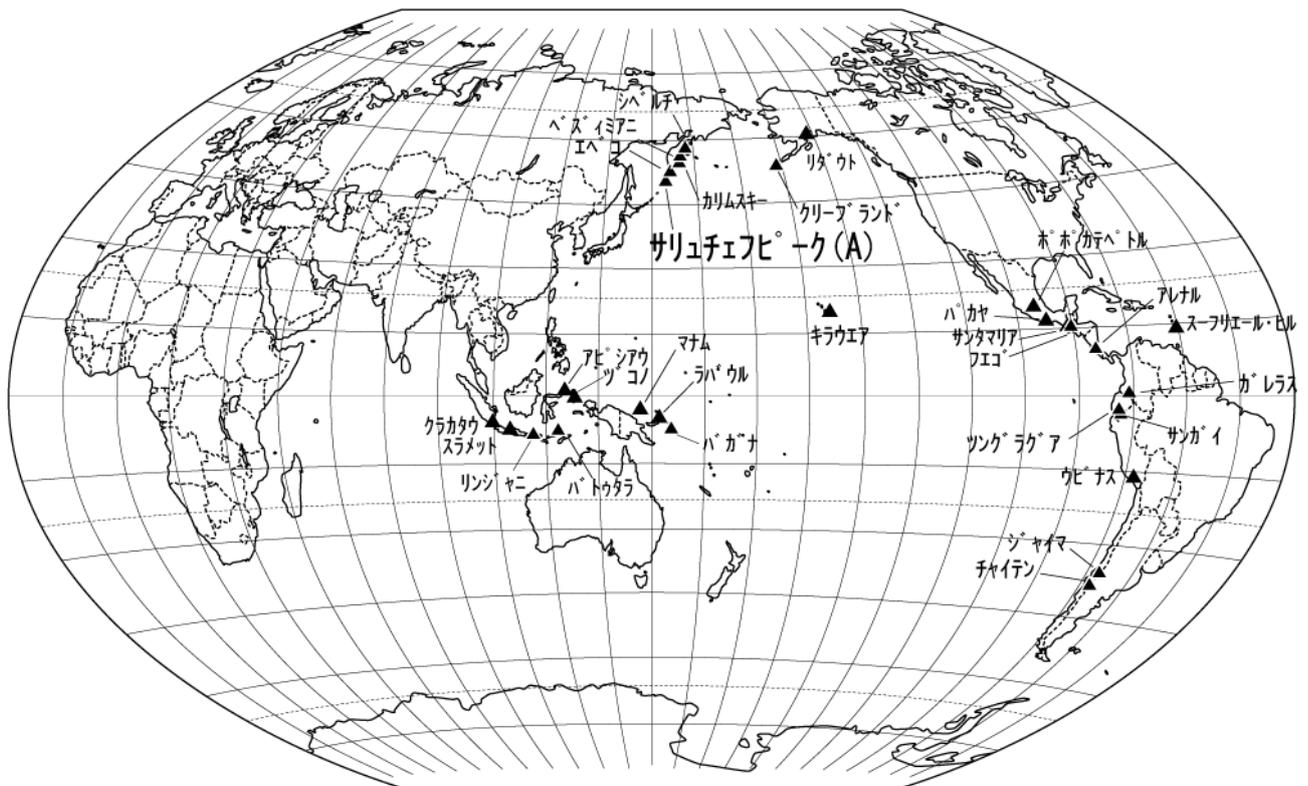
● 世界の主な火山活動

平成 21 年（2009 年）6 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

サリュチェフ・ピーク（図中A）

11 日から活発な噴火活動が始まり、噴煙高度は最大で 13.7km まで達した。火山灰は上空の風で東西方向に流れ、付近の航空路を通過する航空機は、航空路の変更や運休を強いられた。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）



●付表 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」に掲載する。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（各年の地震・火山月報（防災編）12月号の付録1参照）を記す。なお、*のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

※震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 33	福島県沖 宮城県 3 角田市角田* =2.6 山元町浅生原* =2.6 2 石巻市桃生町* =2.3 岩沼市桜* =2.1 亘理町下小路* =2.0 丸森町上滝=2.0 東松島市矢本* =2.0 塩竈市旭町* =1.9 宮城川崎町前川* =1.8 名取市増田* =1.8 蔵王町円田* =1.7 南三陸町歌津* =1.7 登米市中田町* =1.7 利府町利府* =1.7 大衡村大衡* =1.7 丸森町鳥屋* =1.7 登米市迫町* =1.7 仙台青葉区作並* =1.7 石巻市門脇* =1.7 大崎市鹿島台* =1.6 仙台青葉区落合* =1.6 七ヶ浜町東宮浜* =1.6 仙台若林区遠見塚* =1.6 仙台北白区山田* =1.6 大崎市田尻* =1.6 石巻市北上町* =1.5 涌谷町新町* =1.5 東松島市小野* =1.5 栗原市築館* =1.5 栗原市瀬峰* =1.5 白石市亘理町* =1.5 1 宮城加美町中新田* =1.4 登米市南方町* =1.4 宮城美里町木間塚* =1.4 大崎市古川三日町=1.4 仙台空港=1.4 仙台青葉区大倉=1.4 大郷町柏川* =1.4 富谷町富谷* =1.4 石巻市泉町=1.3 石巻市相野谷* =1.3 栗原市金成* =1.3 気仙沼市笹が陣* =1.3 大崎市松山* =1.3 柴田町船岡=1.3 色麻町四竈* =1.3 仙台泉区将監* =1.3 村田町村田* =1.2 栗原市栗駒=1.2 南三陸町志津川=1.2 仙台宮城野区五輪=1.2 仙台宮城野区苦竹* =1.2 栗原市高清水* =1.2 石巻市鮎川浜* =1.2 登米市東和町* =1.2 登米市米山町* =1.2 大河原町新南* =1.2 登米市登米町* =1.1 女川町女川浜* =1.1 気仙沼市赤岩=1.1 栗原市志波姫* =1.1 気仙沼市唐桑町* =1.1 石巻市前谷地* =1.1 宮城美里町北浦* =1.1 宮城加美町小野田* =1.0 栗原市一迫* =1.0 大崎市古川北町* =1.0 大和町吉岡* =1.0 大崎市三本木* =1.0 栗原市若柳* =1.0 仙台青葉区雨宮* =0.9 七ヶ宿町関* =0.8 大崎市鳴子* =0.8 石巻市大瓜=0.8 松島町松島=0.8 宮城加美町宮崎* =0.7 栗原市鶯沢* =0.7 多賀城市中央* =0.6 栗原市花山* =0.6 登米市石越町* =0.5 福島県 3 葛尾村落合関下* =3.3 相馬市中村* =3.2 南相馬市鹿島区* =3.1 檜葉町北田* =2.7 田村市船引町=2.7 二本松市針道* =2.7 玉川村小高* =2.6 浪江町幾世橋=2.6 飯館村伊丹沢* =2.6 南相馬市原町区高見町* =2.6 田村市大越町* =2.6 平田村永田* =2.5 本宮市糠沢* =2.5 新地町谷地小屋* =2.5 2 浅川町浅川* =2.4 福島伊達市壺山町* =2.4 南相馬市原町区三島町=2.4 田村市都路町* =2.3 二本松市油井* =2.3 福島広野町下北迫大谷地原* =2.3 富岡町本岡* =2.3 いわき市三和町=2.2 川俣町五百田* =2.2 田村市常葉町* =2.2 川内村下川内=2.2 大熊町下野上* =2.2 福島伊達市月館町* =2.2 南相馬市原町区本町* =2.2 南相馬市小高区* =2.2 郡山市朝日=2.1 郡山市開成* =2.1 田村市滝根町* =2.1 川内村上川内早渡* =2.1 白河市表郷* =2.1 須賀川市八幡山* =2.1 須賀川市岩瀬支所* =2.1 二本松市郭内* =2.1 本宮市本宮* =2.0 双葉町新山* =2.0 二本松市金色* =2.0 白河市新白河* =1.9 古殿町松川* =1.9 小野町小野新町* =1.9 国見町藤田* =1.9 大熊町野上* =1.9 白河市東* =1.9 福島伊達市梁川町* =1.9 葛尾村落合落合* =1.9 天栄村下松本* =1.9 矢吹町一本木* =1.9 棚倉町棚倉中居野=1.9 福島広野町下北迫苗代替* =1.8 鏡石町不時沼* =1.8 川内村上川内小山平* =1.8 福島伊達市保原町* =1.8 いわき市平四ツ波* =1.7 白河市大信* =1.7 須賀川市八幡町* =1.7 小野町中通* =1.7 桑折町東大隅* =1.7 白河市郭内=1.7 三春町大町* =1.6 郡山市湖南町* =1.6 福島市松木町=1.6 福島市桜木町* =1.6 石川町下泉* =1.6 福島市飯野町* =1.6 泉崎村泉崎* =1.5 福島伊達市前川原* =1.5 1 福島市五老内町* =1.4 いわき市平梅本* =1.4 会津若松市古川町* =1.4 大玉村曲藤=1.3 大玉村玉井* =1.3 猪苗代町千代田* =1.3 須賀川市長沼支所* =1.2 棚倉町棚倉ヶ丘* =1.1 いわき市小浜浜=1.1 いわき市錦町* =1.1 白河市八幡小路* =1.1 西郷村熊倉* =1.0 塙町塙* =0.9 矢祭町東館館本* =0.9 二本松市小浜* =0.8 鮫川村赤坂中野* =0.7 猪苗代町城南=0.6 岩手県 2 北上市二子町* =1.6 一関市千厩町* =1.5 一関市室根町* =1.5 1 一関市花泉町* =1.3 藤沢町藤沢* =1.3 陸前高田市高田町* =1.3 大船渡市大船渡町=1.2 釜石市中妻町* =1.0 一関市舞川=1.0 奥州市前沢区* =0.9 平泉町平泉* =0.7 住田町世田米* =0.6 一関市山目* =0.6 花巻市東和町* =0.6 奥州市胆沢区* =0.6 奥州市衣川区* =0.6 一関市川崎町* =0.6 山田町大沢* =0.5 盛岡市玉山区薮川* =0.5 大船渡市猪川町=0.5 遠野市松崎町* =0.5 茨城県 2 大子町池田* =1.5 1 日立市役所* =1.4 常陸大宮市野口* =1.4 日立市助川小学校* =1.3 日立市十王町友部* =1.1 鉾田市当間* =1.1 常陸太田市高柿町* =1.0 高萩市安良川* =1.0 高萩市本町* =0.9 ひたちなか市南神敷台* =0.9 水戸市金町=0.9 常陸大宮市山方* =0.9 城里町阿波山* =0.9 土浦市常名=0.9 水戸市内原町* =0.9 常陸大宮市北町* =0.8 石岡市柿岡=0.7 つくば市谷田部* =0.7 筑西市門井* =0.7 土浦市下高津* =0.6 ひたちなか市東石川* =0.6 筑西市舟生=0.5 桜川市羽田* =0.5 小美玉市小川* =0.5 水戸市千波町* =0.5 北茨城市磯原町* =0.5 山形県 1 山形川西町上小松* =1.2 河北町谷地=1.1 米沢市林泉寺* =1.0 三川町横山* =1.0 東根市中央* =0.9 尾花沢市若葉町* =0.7 戸沢村古口* =0.7 上山市河崎* =0.7 新庄市東谷地田町=0.6 飯豊町椿* =0.5 栃木県 1 那須町寺子* =1.4 茂木町小井戸* =1.4 大田原市湯津上* =1.2 那須烏山市中央=1.0 宇都宮市明保野町=0.9 栃木那珂川町馬頭* =0.7 大田原市黒羽田町=0.6 鹿沼市晃望台* =0.5	37° 46.6' N	141° 37.8' E	59km	M: 4.6
2	1 06 31	岩手県内陸南部 宮城県 1 栗原市栗駒=0.9 栗原市鶯沢* =0.7	38° 58.3' N	140° 49.5' E	4km	M: 3.1

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
3	2 10 04	種子島近海 鹿児島県 2 南種子町西之* =1.6	30° 14.6' N	130° 53.3' E	12km	M: 3.1
4	2 19 37	新島・神津島近海 東京都 2 東京利島村=2.0 1 伊豆大島町波浮港* =1.0 伊豆大島町差木地=0.8 新島村式根島=0.5 伊豆大島町元町=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.9 三浦市城山町* =0.6 静岡県 1 東伊豆町奈良本* =0.6	34° 32.2' N	139° 23.8' E	14km	M: 3.4
5	2 21 34	福島県沖 福島県 2 会津若松市古川町* =1.7 田村市滝根町* =1.5 玉川村小高* =1.5 1 白河市新白河* =1.4 田村市大越町* =1.4 鏡石町不時沼* =1.3 郡山市朝日=1.3 平田村永田* =1.2 南相馬市鹿島区* =1.2 西郷村熊倉* =1.1 郡山市湖南町* =1.1 須賀川市八幡山* =1.1 須賀川市八幡町* =1.1 国見町藤田* =1.1 白河市郭内=1.1 天栄村下松本* =1.0 須賀川市岩瀬支所* =1.0 いわき市三和町=1.0 棚倉町棚倉中居野=1.0 二本松市針道* =0.9 川内村上川内早渡* =0.8 浅川町浅川* =0.7 浪江町幾世橋=0.7 小野町小野新町* =0.7 猪苗代町千代田* =0.7 橋本町北田* =0.6 いわき市錦町* =0.6 福島広野町下北迫大谷地原* =0.5 田村市常葉町* =0.5 二本松市郭内* =0.5 下郷町高崎* =0.5 茨城県 2 日立市役所* =1.5 1 常陸太田市高柿町* =1.3 桜川市岩瀬* =1.1 日立市助川小学校* =0.9 日立市十王町友部* =0.9 小美玉市堅倉* =0.9 つくば市谷田部* =0.9 高萩市安良川* =0.8 常陸大宮市野口* =0.8 水戸市金町=0.7 土浦市常名=0.7 ひたちなか市南神敷台* =0.6 大子町池田* =0.6 石岡市柿岡=0.5 筑西市舟生=0.5 宮城県 1 岩沼市桜* =0.8 登米市迫町* =0.5 山元町浅生原* =0.5 山形県 1 米沢市林泉寺* =0.6 栃木県 1 茂木町小井戸* =1.3 那須町寺子* =1.1 大田原市湯津上* =1.0 市貝町市塙* =1.0 益子町益子=0.9 真岡市石島* =0.8 那須烏山市中央=0.8 宇都宮市明保野町=0.5	36° 57.0' N	141° 39.8' E	38km	M: 4.4
6	2 23 40	福島県沖 福島県 1 白河市新白河* =0.5	36° 57.8' N	141° 37.2' E	49km	M: 3.9
7	3 08 54	日向灘 宮崎県 1 宮崎市松橋* =0.6 宮崎市霧島=0.5	31° 37.2' N	131° 43.8' E	44km	M: 3.4
8	3 11 15	岩手県内陸南部 岩手県 1 一関市室根町* =0.6 秋田県 1 東成瀬村田子内* =0.7 東成瀬村椿川* =0.6	39° 05.6' N	140° 51.3' E	10km	M: 3.3
9	4 01 03	長野県南部 長野県 1 王滝村役場* =1.0 木曾町日義* =0.9 王滝村鈴ヶ沢* =0.7 木曾町新開* =0.5	35° 46.5' N	137° 34.1' E	8km	M: 2.6
10	4 17 39	滋賀県南部 滋賀県 1 守山市吉身* =0.6 大津市真野* =0.5	35° 09.1' N	135° 56.0' E	15km	M: 2.7
11	4 19 23	北海道東方沖 北海道 1 標津町北2条* =0.5 根室市落石東* =0.5 根室市瑠瑠瑠* =0.5	43° 38.8' N	147° 16.0' E	29km	M: 4.3
12	4 21 05	福岡県筑後地方 福岡県 1 朝倉市杷木池田* =1.4 東峰村小石原* =1.2 朝倉市宮野* =1.0 大刀洗町富多* =0.9 赤村内田* =0.6 朝倉市堤* =0.6 久留米市田主丸町* =0.6 飯塚市長尾* =0.6	33° 26.0' N	130° 46.2' E	8km	M: 2.9
13	4 22 27	滋賀県南部 滋賀県 1 大津市真野* =0.6 大津市木戸市民センター=0.5 守山市吉身* =0.5 野洲市西河原* =0.5 京都府 1 京都右京区京北周山町* =0.5	35° 09.2' N	135° 56.0' E	15km	M: 2.9
14	5 10 53	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町* =0.5	35° 49.6' N	140° 55.1' E	30km	M: 3.0
15	5 12 30	十勝沖 北海道 4 えりも町えりも岬* =3.8 浦幌町桜町* =3.6 十勝大樹町東本通* =3.6 広尾町西4条* =3.6 様似町栄町* =3.5 3 安平町早来北進* =3.3 新冠町北星町* =3.3 浦河町潮見=3.3 浦河町築地* =3.3 広尾町並木通=3.2 幕別町忠類錦町* =3.1 新ひだか町静内山手町=3.0 むかわ町松風* =3.0 釧路市音別町直別* =3.0 厚真町京町* =3.0 浦河町野深=2.9 釧路町別保* =2.9 函館市新浜町* =2.9 むかわ町穂別* =2.7 えりも町本町=2.7 えりも町目黒* =2.7 白糠町西1条* =2.7 新ひだか町静内御幸町* =2.7 更別村更別* =2.7 十勝大樹町生花* =2.7 帯広市東4条=2.6 函館市泊町* =2.5 長沼町中央* =2.5 幕別町本町* =2.5 平取町振内* =2.5 十勝池田町西1条* =2.5 新ひだか町三石旭町* =2.5 2 新篠津村第47線* =2.4 札幌北区太平* =2.4 江別市緑町* =2.4 南幌町栄町* =2.4 鹿追町東町* =2.4 帯広市東6条* =2.4 豊頃町茂岩本町* =2.4 釧路市阿寒町中央* =2.4 釧路市阿寒町阿寒湖温泉* =2.4 中札内村東2条* =2.3 音更町元町* =2.3 十勝清水町南4条=2.3 芽室町東2条* =2.3 室蘭市寿町* =2.3 苫小牧市旭町* =2.2 新得町2条* =2.2 白老町大町=2.2 安平町追分柏が丘* =2.2 日高支庁日高町門別* =2.2 函館市大森町* =2.1 知内町重内* =2.1 上ノ国町大留* =2.1 岩見沢市北村赤川* =2.1 新千歳空港=2.1 千歳市支笏湖温泉* =2.1 恵庭市京町* =2.1	41° 48.7' N	143° 37.2' E	31km	M: 6.4

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		苫小牧市末広町=2.0 北広島市共栄*=2.0 石狩市花畔*=2.0 岩見沢市栗沢町東本町*=2.0 渡島森町砂原*=2.0 栗山町松風*=2.0 中富良野町市街地*=2.0 厚岸町真栄町*=2.0 足寄町南1条*=2.0 千歳市若草*=2.0 本別町北2丁目=1.9 本別町向陽町*=1.9 三笠市若松町*=1.9 木古内町木古内*=1.9 千歳市北栄=1.9 当別町白樺*=1.9 標茶町塘路*=1.9 土幌町土幌*=1.9 胆振伊達市大滝区本町*=1.9 新ひだか町静内農屋*=1.9 幕別町忠類明和=1.9 石狩市花川=1.9 上土幌町上土幌*=1.8 小樽市勝納町=1.8 標茶町川上*=1.8 胆振伊達市梅本=1.8 倶知安町南1条=1.8 壮瞥町滝之町*=1.8 洞爺湖町栄町*=1.8 岩見沢市鳩が丘*=1.8 渡島北斗市中央*=1.8 江別市高砂町=1.8 登別市桜木町*=1.8 美唄市西5条=1.8 函館市日ノ浜町*=1.8 日高支庁日高町日高*=1.8 恵庭市漁平=1.8 釧路市幸町=1.8 厚沢部町新町*=1.8 釧路市音別町尺別=1.7 洞爺湖町洞爺町*=1.7 厚沢部町木間内*=1.7 平取町本町*=1.7 南富良野町役場*=1.7 上土幌町清水谷*=1.7 標津町北2条*=1.7 美唄市西3条*=1.7 長万部町平里*=1.7 せたな町北檜山に徳島*=1.7 白老町緑丘*=1.7 弟子屈町弟子屈*=1.7 札幌白石区本郷通*=1.7 滝川市大町=1.6 新十津川町中央*=1.6 岩見沢市5条=1.6 占冠町中央*=1.6 大空町東藻琴*=1.6 湧別町栄町*=1.6 函館市美原=1.6 倶知安町北4条*=1.6 足寄町上螺湾=1.6 別海町常盤=1.6 由仁町新光*=1.6 赤井川村赤井川*=1.5 真狩村真狩*=1.5 札幌中央区北2条=1.5 乙部町緑町*=1.5 別海町西春別*=1.5 別海町本別海*=1.5 妹背牛町妹背牛*=1.5 1 渡島森町御幸町=1.4 ニセコ町中央通*=1.4 秩父別町役場*=1.4 滝川市新町*=1.4 奈井江町奈井江*=1.4 夕張市清水沢宮前町*=1.4 月形町円山公園*=1.4 富良野市若松町=1.4 増毛町見晴町*=1.4 清里町羽衣町*=1.4 夕張市若菜=1.3 大空町女満別西3条*=1.3 北見市南仲町*=1.3 訓子府町東町*=1.3 弟子屈町美里=1.3 厚岸町尾幌=1.3 渡島森町上台町*=1.3 砂川市西6条*=1.3 余市町浜中町*=1.3 富良野市末広町*=1.3 南富良野町幾寅=1.3 浦臼町ウラウスナイ*=1.3 斜里町本町=1.3 七飯町桜町=1.2 平取町仁世宇=1.2 函館市尾札部町=1.2 弟子屈町サワチサップ*=1.2 岩内町清住=1.2 浜中町霧多布*=1.2 猿払村浅茅野*=1.2 函館市川汲町*=1.2 古平町浜町*=1.2 剣淵町仲町*=1.2 余市町朝日町=1.2 北見市常呂町常呂*=1.2 北見市端野町二区*=1.2 雨竜町フシコウリウ*=1.1 増毛町岩尾*=1.1 七飯町本町*=1.1 根室市落石東*=1.1 美幌町東3条=1.1 津別町幸町*=1.1 小樽市花園町*=1.1 陸別町陸別*=1.1 黒松内町黒松内*=1.1 豊浦町大岸*=1.0 石狩市浜益*=1.0 石狩市厚田*=1.0 当麻町3条*=1.0 遠軽町生田原*=1.0 興部町興部*=1.0 上砂川町上砂川*=0.9 福島町福島*=0.9 室蘭市山手町=0.9 北竜町竜西=0.9 芦別市旭町=0.9 根室市瑤瑤瑠*=0.9 檜山江差町姥神=0.8 上富良野町大町=0.8 仁木町西町*=0.8 北見市留辺蘂町栄町*=0.8 登別市鉦山=0.8 渡島北斗市本町*=0.8 蘭越町蘭越*=0.8 赤平市泉町*=0.7 置戸町拓殖*=0.6 中標津町養老牛=0.6 3 東通村小田野沢*=3.3 大間町大間*=2.8 東通村砂子又*=2.8 むつ市金曲=2.7 野辺地町野辺地*=2.6 七戸町森ノ上*=2.6 東北町上北南*=2.6 2 野辺地町田狭沢*=2.4 むつ市金谷*=2.4 中泊町小泊*=2.3 八戸市南郷区*=2.3 七戸町七戸*=2.3 外ヶ浜町蟹田*=2.2 おいらせ町中下田*=2.2 むつ市大畑町中島*=2.2 平内町小湊=2.2 六戸町犬落瀬*=2.1 青森市花園=2.1 つがる市稲垣町*=2.1 藤崎町水木*=2.0 五戸町古館=2.0 青森南部町平*=2.0 青森南部町苔米地*=2.0 階上町道仏*=2.0 五所川原市敷島町*=2.0 今別町今別*=2.0 五戸町倉石中市*=1.9 青森市中央*=1.9 青森市浪岡*=1.9 おいらせ町上明堂*=1.9 五所川原市金木町*=1.9 むつ市川内町*=1.9 つがる市木造*=1.9 つがる市車力町*=1.9 田舎館村田舎館*=1.8 十和田市西十二番町*=1.8 東北町塔ノ沢山*=1.8 板柳町板柳*=1.8 藤崎町西豊田*=1.8 横浜町林ノ脇*=1.7 横浜町寺下*=1.7 青森鶴田町鶴田*=1.7 つがる市柏*=1.7 外ヶ浜町三厩*=1.7 中泊町中里*=1.7 平川市猿賀*=1.7 八戸市内丸*=1.7 十和田市西二番町*=1.7 三沢市桜町*=1.7 蓬田村蓬田*=1.6 六ヶ所村尾駈=1.6 八戸市湊町=1.6 むつ市脇野沢*=1.5 外ヶ浜町平館*=1.5 1 東通村尻屋*=1.4 五所川原市相内*=1.3 平内町東田沢*=1.3 弘前市賀田*=1.3 十和田市奥瀬*=1.3 三戸町在府小路*=1.3 田子町田子*=1.3 青森南部町沖田面*=1.3 風間浦村易園間*=1.3 五所川原市太田=1.2 つがる市森田町*=1.2 新郷村戸来*=1.1 弘前市和田町=1.1 西目屋村田代*=1.1 平川市柏木町*=1.1 弘前市五所*=1.0 むつ市大畑町=1.0 鱒ヶ沢町本町=0.9 七戸町日間館=0.9 佐井村長後*=0.8 佐井村佐井*=0.8 平川市碓ヶ関*=0.6 深浦町岩崎*=0.5 2 盛岡市玉山区藪川*=2.3 二戸市福岡=2.1 矢巾町南矢幅*=2.0 八幡平市田頭*=1.9 八幡平市野駄*=1.9 二戸市浄法寺町*=1.8 盛岡市玉山区洪民*=1.7 滝沢村鶴飼*=1.6 軽米町軽米*=1.6 八幡平市叭田*=1.5 花巻市材木町*=1.5 奥州市胆沢区*=1.5 1 岩手町五日市*=1.4 八幡平市大更=1.4 野田村野田*=1.3 二戸市石切所*=1.3 紫波町日詰*=1.3 奥州市水沢区大鐘町=1.3 奥州市水沢区佐倉河*=1.3 普代村銅屋*=1.2 盛岡市山王町=1.2 北上市柳原町=1.1 花巻市東和町*=1.0 久慈市川崎町=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 九戸村伊保内*=0.9 岩手洋野町種市=0.8 山田町大沢*=0.7 葛巻町葛巻元木=0.6 遠野市松崎町*=0.6 釜石市中妻町*=0.6 川井村川井*=0.6 花巻市大迫町=0.5 2 栗原市金成*=1.8 登米市迫町*=1.8 登米市登米町*=1.5 1 登米市中田町=1.4 登米市南方町*=1.4 石巻市門脇*=1.4 涌谷町新町=1.3 登米市米山町*=1.3 丸森町鳥屋*=1.2 石巻市前谷地*=1.1 宮城美里町木間塚*=1.0 大崎市古川三日町=1.0 石巻市桃生町*=1.0 栗原市若柳*=1.0 大河原町新南*=0.9 栗原市志波姫*=0.7 栗原市篤沢*=0.6 石巻市相野谷*=0.6 東松島市矢本*=0.6 大崎市松山*=0.6 大崎市田尻*=0.6 名取市増田*=0.6 栗原市高清水*=0.6 南三陸町志津川=0.5 秋田県 1 井川町北川尻*=1.4 能代市上町*=1.2 秋田市河辺和田*=1.2 鹿角市花輪*=1.2 秋田美郷町六郷*=1.1 藤里町藤琴*=1.0 由利本荘市西目町沼田*=1.0 秋田美郷町飯詰*=1.0 大仙市高梨*=1.0 能代市緑町=0.9 能代市二ツ井町上台*=0.9 湯上市昭和久保*=0.9 秋田市消防庁舎*=0.9 大館市中城*=0.9 大館市比内町扇田*=0.9 北秋田市花園町=0.9 横手市大雄*=0.9 大仙市刈和野*=0.9 にかほ市平沢*=0.8 秋田美郷町土崎*=0.8 大瀧村中央*=0.8 大仙市太田町太田*=0.8 湯上市天王*=0.7 横手市平鹿町浅舞*=0.7 上小阿仁村小沢田*=0.6 横手市中央町*=0.6 八峰町八森中浜*=0.6 三種町鶴川*=0.5 横手市十字町*=0.5 湯沢市川連町*=0.5 羽後町西馬音内*=0.5 大館市早口*=0.5 八郎潟町大道*=0.5 大仙市北長野*=0.5 北秋田市阿仁銀山*=0.5 三種町鹿渡*=0.5				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
16	6 05 50	山梨県中・西部 山梨県	35° 36.3' N	138° 17.8' E	13km	M: 2.8
		1 山梨北杜市長坂町*=1.3				
17	6 05 51	奈良県 三重県 和歌山県	34° 03.9' N	135° 44.6' E	48km	M: 3.3
		1 三重紀北町相賀*=1.1 熊野市有馬町*=1.1 三重紀北町長島*=1.0 尾鷲市南浦*=0.8 尾鷲市南陽町=0.8 紀宝町成川*=0.8 紀宝町鶴殿*=0.7 三重御浜町阿田和*=0.7 尾鷲市中央町*=0.6 熊野市井戸町*=0.5				
		1 新宮市新宮=1.4 田辺市本宮町本宮*=0.6 新宮市熊野川町日足*=0.6				
18	6 14 52	千葉県東方沖 茨城県	35° 32.5' N	141° 15.8' E	42km	M: 5.9
		3 神栖市溝口*=2.9 神栖市波崎*=2.7 稲敷市役所*=2.7 茨城鹿嶋市鉢形=2.6 小美玉市上玉里*=2.5 稲敷市結佐*=2.5 茨城鹿嶋市宮中*=2.5				
		2 潮来市辻*=2.4 稲敷市須賀津*=2.3 行方市麻生*=2.3 河内町源清田*=2.3 石岡市石岡*=2.2 行方市山田*=2.2 常陸太田市金井町*=2.1 鉾田市鉾田=2.1 鉾田市当間*=2.1 鉾田市汲上*=2.1 つくばみらい市加藤*=2.1 土浦市藤沢*=2.1 稲敷市柴崎*=2.1 日立市役所*=2.1 筑西市舟生=2.1 取手市藤代*=2.1 鉾田市造谷*=2.0 取手市井野*=2.0 茨城町小堤*=2.0 かつみがうら市上土田*=2.0 東海村東海*=2.0 水戸市中央*=2.0 稲敷市江戸崎甲*=2.0 ひたちなか市南神敷台*=2.0 那珂市福田*=1.9 つくば市天王台*=1.9 つくば市谷田部*=1.9 行方市玉造*=1.9 小美玉市小川*=1.9 美浦村受領*=1.9 土浦市下高津*=1.9 水戸市金町=1.9 常総市水海道諏訪町*=1.9 石岡市柿岡=1.9 常陸太田市高柿町*=1.9 笠間市中央*=1.9 阿見町中央*=1.8 水戸市内原町*=1.8 下妻市鬼怒*=1.8 土浦市常名=1.8 牛久市中央*=1.7 ひたちなか市東石川*=1.7 水戸市千波町*=1.7 つくばみらい市福田*=1.7 つくば市小茎*=1.7 笠間市石井*=1.7 桜川市岩瀬*=1.7 桜川市真壁*=1.7 小美玉市堅倉*=1.7 那珂市瓜連*=1.6 常総市新石下*=1.6 石岡市八郷*=1.6 日立市助川小学校*=1.6 かつみがうら市大和田*=1.6 取手市寺田*=1.6 坂東市岩井=1.6 筑西市下中山*=1.5 筑西市門井*=1.5 利根町布川=1.5 常陸大宮市野口*=1.5 笠間市下郷*=1.5 城里町石塚*=1.5				
		1 高萩市安良川*=1.4 結城市結城*=1.4 龍ヶ崎市寺後*=1.4 下妻市本城町*=1.4 五霞町小福田*=1.4 境町旭町*=1.4 守谷市大柏*=1.3 坂東市役所*=1.3 常陸大宮市中富町=1.3 常陸大宮市北町*=1.3 筑西市海老ヶ島*=1.2 桜川市羽田*=1.2 常陸大宮市山方*=1.2 日立市十王町友部*=1.2 高萩市本町*=1.2 坂東市山*=1.1 大洗町磯浜町*=1.1 城里町阿波山*=1.1 大子町池田*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=0.6 常陸太田市町屋町=0.6				
		3 銚子市若宮町*=3.1 銚子市川口町=2.9 旭市南堀之内*=2.9 旭市萩園*=2.9 旭市高生*=2.8 香取市佐原下川岸=2.8 旭市ニ*=2.7 香取市羽根川*=2.7 香取市仁良*=2.7 いすみ市岬町長者*=2.7 東庄町笹川*=2.6 香取市役所*=2.5 成田市花崎町=2.5				
		2 東金市日吉台*=2.4 多古町多古=2.4 白子町関*=2.4 匝瑳市今泉*=2.4 横芝光町富川*=2.4 山武市蓮沼ハ*=2.4 市原市姉崎*=2.4 千葉中央区都町*=2.3 匝瑳市八日市場ハ*=2.3 山武市笠神*=2.3 香取市佐原諏訪台*=2.2 九十九里町片貝*=2.2 山武市殿台*=2.2 長生村本郷*=2.2 成田市役所*=2.2 千葉佐倉市海隣寺町*=2.2 いすみ市国府台*=2.2 睦沢町下之郷*=2.1 横芝光町横芝*=2.1 銚子市天王台=2.1 成田市中台*=2.1 東金市東新宿=2.1 東金市東岩崎*=2.1 木更津市貝淵*=2.1 香取市岩部*=2.0 大網白里町大網*=2.0 山武市埴谷*=2.0 山武市松尾町松尾*=2.0 千葉中央区千葉市役所*=2.0 芝山町小池*=2.0 成田国際空港=2.0 千葉一宮町一宮=2.0 成田市松子*=2.0 長南町長南*=2.0 富里市七榮*=2.0 いすみ市大原*=2.0 千葉中央区中央港=1.9 千葉花見川区花島町*=1.9 千葉神崎町神崎本宿*=1.9 市原市国分寺台中央*=1.9 八街市八街*=1.9 印西市大森*=1.9 鋸南町下佐久間*=1.9 茂原市道表*=1.8 千葉若葉区小倉台*=1.8 館山市北条*=1.8 木更津市役所*=1.8 鴨川市横渚*=1.8 君津市久留里市場*=1.8 大多喜町大多喜*=1.8 南房総市谷向*=1.8 千葉栄町安食台*=1.7 長柄町桜谷*=1.7 千葉緑区おゆみ野*=1.7 千葉美浜区稲毛海岸*=1.7 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.7 四街道市鹿渡*=1.7 館山市長須賀=1.6 木更津市太田=1.6 勝浦市墨名=1.6 勝浦市新宮*=1.6 長柄町大津倉=1.6 千葉美浜区真砂*=1.6 御宿町須賀*=1.6 野田市鶴奉*=1.6 南房総市岩糸*=1.6 成田市猿山*=1.6 流山市平和台*=1.6 印旛村瀬戸*=1.6 君津市久保*=1.5 柏市旭町=1.5 浦安市猫実*=1.5 千葉酒々井町中央台*=1.5 白井市復*=1.5 千葉稲毛区園生町*=1.5 市川市八幡*=1.5 野田市東宝珠花*=1.5 鴨川市八色=1.5				
		1 柏市大島田*=1.4 我孫子市我孫子*=1.4 富津市下飯野*=1.4 習志野市鷺沼*=1.3 柏市柏*=1.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.3 鴨川市天津*=1.0				
		2 丸森町鳥屋*=1.5				
		1 大河原町新南*=1.2 涌谷町新町=1.1 岩沼市桜*=1.1 蔵王町円田*=1.0 大崎市古川三日町=1.0 登米市登米町*=0.9 宮城美里町木間塚*=0.9 登米市迫町*=0.9 宮城川崎町前川*=0.9 宮城加美町中新田*=0.8 栗原市金成*=0.8 山元町浅生原*=0.7 登米市中田町=0.7 大崎市田尻*=0.7 大崎市松山*=0.6 登米市南方町*=0.6 名取市増田*=0.6 石巻市前谷地*=0.6 石巻市桃生町*=0.6 東松島市矢本*=0.6 色麻町四竈*=0.6 登米市米山町*=0.6 宮城加美町小野田*=0.5 利府町利府*=0.5 互理町下小路*=0.5 栗原市若柳*=0.5 栗原市高清水*=0.5 宮城美里町北浦*=0.5				
		2 玉川村小高*=1.8 いわき市小名浜=1.7 猪苗代町千代田*=1.7 国見町藤田*=1.7 郡山市朝日=1.6 鏡石町不時沼*=1.5 郡山市湖南町*=1.5 須賀川市八幡山*=1.5 福島市五老内町*=1.5				
		1 郡山市開成*=1.4 白河市東*=1.4 須賀川市八幡町*=1.4 泉崎村泉崎*=1.4 双葉町新山*=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.3 福島市松木町=1.3 矢吹町一本木*=1.3 古殿町松川*=1.3 いわき市錦町*=1.3 浪江町幾世橋=1.2 葛尾村落合閣下*=1.2 田村市大越町*=1.2 浅川町浅川*=1.2 福島市桜木町*=1.1 白河市新白河*=1.1 猪苗代町城南=1.1 棚倉町棚倉中居野=1.0 本宮市糠沢*=1.0 平田村永田*=0.9 二本松市針道*=0.9 天栄村下松本*=0.9 白河市郭内=0.9 田村市滝根町*=0.8 矢祭町東館下上野内*=0.8 二本松市郭内*=0.8 大熊町野上*=0.7 二本松市油井*=0.7 大玉村曲藤=0.7 南相馬市原町区高見町*=0.7 いわき市三和町=0.7 いわき市平四ツ波*=0.7 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 田村市常葉町*=0.5 田村市都路町*=0.5 田村市船引町=0.5				
		2 高根沢町石末*=2.2 真岡市石島*=1.8 茂木町小井戸*=1.8 大田原市湯津上*=1.6				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>小山市神鳥谷*1.6 真岡市荒町*1.6 下野市田中*1.5 真岡市田町*1.5</p> <p>1 益子町益子=1.4 市貝町市塙*1.4 小山市中央町*1.3 芳賀町祖母井*1.3 那須町寺子*1.2 那須烏山市中央=1.2 下野市小金井*1.1 宇都宮市明保野町=1.1 鹿沼市晃望台*1.1 日光市中宮祠=0.8 栃木市旭町=0.7 日光市瀬川=0.6 日光市鬼怒川温泉大原*0.5 宇都宮市塙田*0.5</p> <p>2 宮代町笠原*2.4 春日部市谷原新田*2.1 春日部市中央*2.0 大利根町北下新井*1.8 吉川市吉川*1.7 川口市青木*1.6 草加市高砂*1.6 三郷市幸房*1.6 杉戸町清地*1.6 さいたま中央区下落合*1.6 鴻巣市吹上富士見*1.6 久喜市青葉*1.6 春日部市金崎*1.5 戸田市上戸田*1.5 鳩ヶ谷市三ツ和*1.5 幸手市東*1.5 白岡町千駄野*1.5 さいたま大宮区天沼町*1.5</p> <p>1 加須市下三俣*1.4 久喜市下早見=1.4 蕨市中央*1.4 志木市中宗岡*1.4 富士見市鶴馬*1.4 さいたま浦和区高砂=1.4 さいたま浦和区常盤*1.4 さいたま岩槻区本町*1.3 鴻巣市中央*1.3 越谷市越ヶ谷*1.3 騎西町騎西*1.2 川島町平沼*1.2 熊谷市大里*1.2 吉見町下細谷*1.0 行田市本丸*0.9 埼玉三芳町藤久保*0.9 熊谷市妻沼*0.7 埼玉美里町木部*0.6</p> <p>2 東京荒川区東尾久*1.8 東京足立区神明南*1.8 東京荒川区荒川*1.7 東京江戸川区中央=1.7 東京墨田区東向島*1.6 東京足立区伊興*1.6 東京江東区森下*1.5 東京江東区枝川*1.5 東京江東区亀戸*1.5 東京国際空港=1.5 東京大田区本羽田*1.5 東京北区赤羽南*1.5 東京葛飾区金町*1.5 東京江戸川区船堀*1.5</p> <p>1 東京千代田区大手町=1.4 東京江東区東陽*1.4 東京大田区多摩川*1.4 東京板橋区高島平*1.4 東京板橋区相生町*1.4 町田市中町*1.4 東京台東区千束*1.3 東京足立区千住*1.3 東京葛飾区立石*1.3 東京江戸川区鹿骨*1.3 東京文京区本郷*1.2 東京品川区北品川*1.2 東京板橋区板橋*1.2 東京中央区勝どき*1.2 東京千代田区麹町*1.1 伊豆大島町岡田*1.1 東京中野区中野*1.1 東京中野区中央*1.1 東京杉並区桃井*1.1 東京足立区中央本町*1.1 東京墨田区吾妻橋*1.0 東京大田区大森東*1.0 武蔵野市吉祥寺東町*1.0 町田市忠生*1.0 東京世田谷区三軒茶屋*1.0 東京中央区日本橋兜町*1.0 東京杉並区高井戸*1.0 東京北区西ヶ原*1.0 東京新宿区百人町*0.9 東京練馬区光が丘*0.9 東京品川区広町*0.9 東京世田谷区世田谷*0.9 東京千代田区九段南*0.9 東京渋谷区宇田川町*0.9 東京中野区江古田*0.9 東京港区南青山*0.9 東京新宿区歌舞伎町*0.9 八王子市堀之内*0.8 三鷹市野崎*0.8 東京杉並区阿佐谷=0.8 町田市役所*0.8 東京港区芝公園*0.8 西東京市中町*0.8 狛江市和泉本町*0.8 清瀬市中里*0.8 東京目黒区中央町*0.8 東京大田区蒲田*0.8 東京世田谷区中町*0.8 国分寺市本多*0.7 多摩市関戸*0.7 三宅村神着=0.7 東京利島村=0.6 伊豆大島町波浮港*0.5 八丈町三根=0.5</p> <p>2 二宮町中里*1.9 伊勢原市下谷*1.9 横浜西区みなとみらい*1.8 横浜中区山下町*1.8 横浜中区山手町=1.7 横浜中区山田町*1.7 横浜中区山吹町*1.7 川崎川崎区千鳥町*1.7 横浜南区別所*1.6 小田原市荻窪*1.6 横浜神奈川区神大寺*1.5 横浜西区浜松町*1.5 横浜港北区日吉本町*1.5</p> <p>1 横浜緑区白山*1.4 川崎川崎区宮前町*1.4 中井町比奈窪*1.4 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.3 横浜都筑区池辺町*1.3 川崎宮前区野川*1.3 三浦市城山町*1.3 海老名市大谷*1.3 横浜緑区十日市場町*1.2 横浜青葉区市ヶ尾町*1.2 川崎幸区戸手本町*1.2 川崎中原区小杉町*1.2 鎌倉市由比ガ浜*1.2 綾瀬市深谷*1.2 神奈川大井町金子*1.2 横浜戸塚区戸塚町*1.1 横浜瀬谷区三ツ境*1.1 横浜青葉区榎が丘*1.1 横須賀市光の丘=1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.1 寒川町宮山*1.1 川崎宮前区宮前平*1.0 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 松田町松田惣領*0.9 相模原市城山町久保沢*0.7 清川村煤ヶ谷*0.7 川崎高津区下作延*0.7 秦野市曾屋=0.6 真鶴町真鶴*0.6 横須賀市坂本町*0.6</p> <p>2 忍野村忍草*1.6</p> <p>1 富士河口湖町船津=0.5</p> <p>1 邑楽町中野*1.2 群馬明和町新里*1.1 群馬千代田町赤岩*1.0 桐生市元宿町*0.8 館林市城町*0.8 前橋市富士見町*0.7 片品村東小川=0.7 沼田市下久屋町*0.6</p> <p>1 南魚沼市六日町=1.1</p> <p>1 諏訪市高島*1.0 長野南牧村海ノ口*0.8 佐久市白田*0.5</p> <p>1 東伊豆町奈良本*1.2 伊豆の国市長岡*1.1 熱海市網代=0.8 河津町田中*0.8 松崎町宮内*0.8 伊豆の国市四日町*0.8 富士宮市野中*0.6 静岡清水町堂庭*0.5 牧之原市相良*0.5</p>				
19	6 19 37	<p>択捉島南東沖 北海道</p> <p>1 根室市落石東*0.6</p>	44° 40.3' N	149° 09.5' E	30km F	M: 5.0
20	6 21 10	<p>長野県南部 長野県</p> <p>1 木曾町三岳*0.8</p>	35° 52.5' N	137° 34.9' E	6km	M: 2.4
21	7 04 38	<p>茨城県沖 茨城県 栃木県</p> <p>1 日立市助川小学校*0.5 1 茂木町小井戸*0.7</p>	36° 34.2' N	141° 21.5' E	48km	M: 3.8
22	7 04 39	<p>茨城県沖 栃木県</p> <p>1 茂木町小井戸*0.5</p>	36° 34.8' N	141° 21.0' E	46km	M: 3.6
23	7 21 24	<p>大分県中部 大分県</p> <p>2 由布市湯布院町川北*2.4 由布市湯布院町川上*2.2 由布市庄内町*1.6 1 別府市鶴見=1.3 宇佐市院内町*0.7</p>	33° 18.5' N	131° 22.9' E	10km	M: 3.1
24	7 21 55	<p>大分県中部 大分県</p> <p>1 由布市湯布院町川北*0.5</p>	33° 18.5' N	131° 23.0' E	10km	M: 2.1

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
25	7 22 14	大分県中部 大分県 2 由布市湯布院町川北* 1 別府市鶴見=	33° 18.6' N	131° 22.9' E	9km	M: 2.5
26	7 22 44	大分県中部 大分県 1 由布市湯布院町川北* 1.1	33° 18.7' N	131° 22.8' E	10km	M: 2.2
27	7 22 55	大分県中部 大分県 1 由布市湯布院町川北* 0.8	33° 18.5' N	131° 23.0' E	9km	M: 2.2
28	8 02 08	静岡県伊豆地方 静岡県 1 熱海市泉* 1.0	35° 07.2' N	139° 05.9' E	6km	M: 1.9
29	8 06 51	山形県最上地方 山形県 1 大蔵村肘折* 1.1	38° 37.7' N	140° 07.6' E	8km	M: 1.8
30	8 09 26	青森県東方沖 青森県 1 東通村砂子又* 0.5	41° 34.3' N	142° 03.1' E	65km	M: 3.1
31	8 19 55	留萌支庁南部 北海道 1 小平町達布* 1.4 小平町鬼鹿* 0.6	44° 05.2' N	141° 44.8' E	10km	M: 2.7
32	9 01 19	福岡県筑後地方 福岡県 2 朝倉市杷木池田* 2.4 東峰村小石原* 1.9 朝倉市宮野* 1.7 東峰村宝珠山* 1.6 1 久留米市田主丸町* 1.4 大刀洗町富多* 1.3 うきは市吉井町* 1.3 大任町大行幸* 1.1 添田町添田* 1.0 赤村内田* 1.0 久留米市北野町* 0.9 うきは市浮羽町* 0.9 みやこ町犀川本庄* 0.8 みやこ町勝山上田* 0.8 朝倉市堤* 0.8 行橋市今井* 0.8 行橋市中央* 0.8 飯塚市長尾* 0.6 春日市原町* 0.6 朝倉市菩提寺* 0.6 荻田町京町* 0.6 みやこ町豊津* 0.6 久留米市津福本町* 0.5 嘉麻市上臼井* 0.5 大分県 1 中津市耶馬溪町* 1.1 日田市三本松* 1.0	33° 26.0' N	130° 46.2' E	8km	M: 3.3
33	9 06 30	兵庫県南東部 兵庫県 1 多可町八千代区* 0.5	34° 51.8' N	134° 50.0' E	16km	M: 2.8
34	9 11 07	岩手県沖 青森県 2 青森南部町平* 1.5 1 五戸町古館* 1.2 東通村小田野沢* 1.1 青森南部町苔米地* 1.0 八戸市内丸* 1.0 七戸町森ノ上* 0.8 八戸市湊町* 0.8 野辺地町野辺地* 0.8 東北町上北南* 0.7 おいらせ町中下田* 0.6 東通村砂子又* 0.5 岩手県 2 普代村銅屋* 1.9 大槌町新町* 1.8 盛岡市玉山区藪川* 1.8 宮古市五月町* 1.7 北上市二子町* 1.6 山田町大沢* 1.5 盛岡市玉山区洪民* 1.5 八幡平市田頭* 1.5 釜石市中妻町* 1.5 1 宮古市田老* 1.4 二戸市浄法寺町* 1.4 陸前高田市高田町* 1.3 二戸市福岡* 1.2 軽米町軽米* 1.2 矢巾町南矢幅* 1.2 野田村野田* 1.1 宮古市鎌ヶ崎* 1.1 盛岡市山王町* 1.1 釜石市只越町* 1.0 花巻市東和町* 1.0 一関市千厩町* 1.0 奥州市胆沢区* 1.0 大船渡市大船渡町* 1.0 遠野市松崎町* 0.9 一関市花泉町* 0.9 山田町八幡町* 0.9 一関市室根町* 0.9 奥州市江刺区* 0.9 九戸村伊保内* 0.9 滝沢村鶴飼* 0.9 八幡平市野駄* 0.9 藤沢町藤沢* 0.8 岩手町五日市* 0.8 川井村川井* 0.8 遠野市宮守町* 0.8 盛岡市馬場町* 0.8 花巻市石鳥谷町* 0.7 田野畑村田野畑* 0.7 二戸市石切所* 0.7 葛巻町葛巻元木* 0.6 田野畑村役場* 0.6 花巻市大迫町* 0.6 川井村田代* 0.6 八幡平市吠田* 0.6 久慈市川崎町* 0.5 久慈市長内町* 0.5 北上市柳原町* 0.5 岩泉町岩泉* 0.5 八幡平市大更* 0.5 奥州市衣川区* 0.5 宮城県 1 気仙沼市赤岩* 1.1 栗原市金成* 1.1 気仙沼市唐桑町* 0.9 涌谷町新町* 0.9 石巻市桃生町* 0.9 気仙沼市笹が陣* 0.8 栗原市栗駒* 0.7 栗原市一迫* 0.7 登米市迫町* 0.7 大崎市田尻* 0.7 栗原市若柳* 0.6 栗原市志波姫* 0.6 南三陸町志津川* 0.6 石巻市門脇* 0.6 登米市中田町* 0.5 登米市米山町* 0.5 南三陸町歌津* 0.5 大崎市鹿島台* 0.5	40° 08.8' N	142° 27.3' E	35km	M: 4.5
35	9 11 22	沖縄本島近海 沖縄県 1 本部町役場* 0.7	26° 53.9' N	127° 25.4' E	71km	M: 3.8
36	10 13 06	千葉県東方沖 茨城県 2 神栖市溝口* 1.9 1 茨城鹿嶋市鉢形* 1.4 神栖市波崎* 1.4 潮来市辻* 1.3 稲敷市結佐* 1.1 茨城鹿嶋市宮中* 1.1 稲敷市須賀津* 1.0 鉾田市汲上* 0.9 ひたちなか市南神敷台* 0.9 石岡市柿岡* 0.9 土浦市常名* 0.8 稲敷市江戸崎甲* 0.8 筑西市舟生* 0.7 つくば市天王台* 0.6 利根町布川* 0.5 水戸市金町* 0.5 鉾田市鉾田* 0.5 千葉県 2 銚子市若宮町* 1.8 旭市南堀之内* 1.6 銚子市川口町* 1.5 旭市高生* 1.5 旭市萩園* 1.5 香取市羽根川* 1.5 1 旭市ニ* 1.4 香取市佐原下川岸* 1.4 いすみ市岬町長者* 1.4 匝瑳市今泉* 1.3 香取市仁良* 1.3 成田市花崎町* 1.3 多古町多古* 1.3 山武市蓮沼ハ* 1.2 香取市役所* 1.2 東庄町笹川* 1.2 匝瑳市八日市場ハ* 1.1 横芝光町宮川* 1.1 市原市姉崎* 1.1 いすみ市国府台* 1.1 東金市日吉台* 1.1 千葉佐倉市海隣寺町* 1.0 香取市佐原諏訪台* 1.0 長南町長南* 1.0 千葉中央区都町* 0.9 芝山町小池* 0.9 長生村本郷* 0.9 大多喜町大多喜* 0.9 いすみ市大原* 0.9 成田市松子* 0.8 横芝光町横芝* 0.8 勝浦市墨名* 0.8 勝浦市新官* 0.8	35° 34.6' N	141° 08.2' E	38km	M: 4.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		東金市東新宿=0.8 千葉若葉区小倉台*=0.8 君津市久留里市場*=0.7 千葉中央区中央港=0.7 千葉一宮町一宮=0.7 鴨川市八色=0.7 茂原市道表*=0.6 鴨川市横渚*=0.6 館山市長須賀=0.5 銚子市天王台=0.5				
37	10 13 07	栃木県 1 茂木町小井戸*=0.6 群馬県 1 大泉町日の出*=0.8 埼玉県 1 春日部市谷原新田*=0.9	34° 36.5' N	136° 36.8' E	355km	M: 5.0
		伊勢湾 34° 36.5' N 136° 36.8' E 355km M: 5.0 宮城県 1 岩沼市桜*=0.6 東松島市矢本*=0.5 福島県 1 浪江町幾世橋=1.1 葛尾村落合関下*=1.0 田村市大越町*=0.9 楢葉町北田*=0.8 いわき市三和町=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5 茨城県 1 鉾田市当間*=0.9 土浦市常名=0.5 栃木県 1 茂木町小井戸*=0.9 宇都宮市明保野町=0.7 神奈川県 1 三浦市城山町*=0.9				
38	10 17 48	オホーツク海南部 44° 49.7' N 145° 25.3' E 22km M: 3.8 北海道 1 斜里町ウトロ香川*=0.7	44° 49.7' N	145° 25.3' E	22km	M: 3.8
39	11 00 54	択捉島南東沖 44° 31.0' N 148° 25.9' E 96km M: 4.7 北海道 1 別海町常盤=0.6 根室市落石東*=0.5	44° 31.0' N	148° 25.9' E	96km	M: 4.7
40	11 02 52	宮城県沖 38° 50.9' N 141° 37.4' E 72km M: 3.1 岩手県 1 一関市千厩町*=0.6 宮城県 1 南三陸町歌津*=0.6	38° 50.9' N	141° 37.4' E	72km	M: 3.1
41	11 02 57	浦河沖 41° 55.7' N 142° 18.2' E 72km M: 3.5 北海道 1 新ひだか町静内山手町=0.5	41° 55.7' N	142° 18.2' E	72km	M: 3.5
42	11 07 53	岐阜県美濃東部 35° 17.4' N 137° 28.0' E 11km M: 3.7 岐阜県 3 恵那市上矢作町*=2.9 2 恵那市串原*=2.1 恵那市山岡町*=2.1 恵那市明智町*=1.9 1 土岐市泉町*=1.1 恵那市岩村町*=0.9 瑞浪市上平町*=0.8 岐阜川辺町中川辺*=0.8 土岐市肥田*=0.7 美濃加茂市太田町=0.5 愛知県 3 豊田市小渡町*=2.8 2 豊田市小原町*=2.3 豊田市大洞町=1.9 1 高浜市稗田町*=1.3 豊田市小坂町*=1.2 安城市横山町*=1.1 豊田市藤岡飯野町*=1.0 豊田市大沼町*=1.0 豊田市小坂本町=1.0 豊田市長興寺*=0.9 西尾市矢曾根町*=0.9 豊田市稲武町*=0.8 新城市作手高里*=0.7 安城市和泉町*=0.7 長久手町岩作*=0.7 幸田町菱池*=0.6 豊根村下黒川*=0.5 豊根村富山*=0.5 岡崎市若宮町=0.5 長野県 2 壳木村役場*=1.5 1 根羽村役場*=1.3 平谷村役場*=1.1 長野高森町下市田*=1.0 飯田市上郷黒田*=0.5 大鹿村大河原*=0.5 静岡県 1 浜松天竜区佐久間町*=1.1	35° 17.4' N	137° 28.0' E	11km	M: 3.7
43	11 11 35	和歌山県北部 33° 52.3' N 135° 14.5' E 6km M: 3.2 和歌山県 3 日高川町土生*=2.5 1 和歌山印南町印南*=1.3 御坊市藺=1.2 みなべ町谷口*=1.1 みなべ町芝*=1.1 由良町里*=1.0 和歌山日高町高家*=0.8 和歌山美浜町和田*=0.7	33° 52.3' N	135° 14.5' E	6km	M: 3.2
44	11 11 50	千葉県東方沖 35° 32.0' N 141° 16.7' E 38km M: 4.5 千葉県 1 銚子市川口町=0.9 銚子市若宮町*=0.9 多古町多古=0.5	35° 32.0' N	141° 16.7' E	38km	M: 4.5
45	11 15 41	奄美大島近海 28° 13.9' N 129° 31.6' E 51km M: 3.1 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=0.6	28° 13.9' N	129° 31.6' E	51km	M: 3.1
46	11 15 50	北海道東方沖 43° 46.3' N 147° 12.7' E 39km M: 4.7 北海道 2 根室市落石東*=1.5 1 標津町北2条*=1.2 根室市瑠瑠瑠*=1.1 根室市厚床*=1.0 別海町常盤=1.0 別海町本別海*=0.9 根室市牧の内*=0.9 標茶町塘路*=0.8 浜中町霧多布*=0.6	43° 46.3' N	147° 12.7' E	39km	M: 4.7
47	11 22 14	東京都多摩西部 35° 47.7' N 139° 14.0' E 62km M: 3.2 山梨県 1 富士河口湖町船津=1.0 山中湖村山中*=0.6 笛吹市境川町藤壘*=0.5 大月市御太刀*=0.5	35° 47.7' N	139° 14.0' E	62km	M: 3.2
48	12 06 31	青森県東方沖 41° 27.8' N 141° 29.1' E 79km M: 3.6 青森県 2 東通村小田野沢*=1.7 1 東通村砂子又*=1.0 野辺地町野辺地*=0.9 野辺地町田狭沢*=0.9 むつ市川内町*=0.8 五戸町古館=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.4 函館市新浜町*=1.1 函館市日ノ浜町*=0.7	41° 27.8' N	141° 29.1' E	79km	M: 3.6
49	12 09 12	岡山県北部 35° 10.9' N 133° 25.3' E 8km M: 2.5 鳥取県 1 鳥取日野町根雨*=0.5	35° 10.9' N	133° 25.3' E	8km	M: 2.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
59	16 09 03	オホーツク海南部 青森県 1 東通村小田野沢*=1.1	46° 43.9' N	145° 54.9' E	438km	M: 5.1
60	16 22 30	沖縄本島近海 沖縄県 1 豊見城市翁長*=0.9 糸満市潮崎町*=0.5 那覇市港町*=0.5 南城市玉城前川=0.5	26° 05.6' N	127° 30.3' E	24km	M: 3.3
61	17 17 29	浦河沖 北海道 1 新ひだか町静内山手町=0.8 新ひだか町静内御幸町*=0.5 浦河町築地*=0.5	42° 02.5' N	142° 34.5' E	61km	M: 3.7
62	17 17 51	岩手県沿岸北部 岩手県 2 遠野市松崎町*=2.0 普代村銅屋*=1.8 川井村川井*=1.6 八幡平市田頭*=1.5 盛岡市玉山区薮川*=1.5 1 宮古市茂市*=1.4 山田町大沢*=1.4 田野畑村田野畑=1.4 野田村野田*=1.4 花巻市大迫総合支所*=1.4 久慈市川崎町=1.2 川井村田代*=1.2 花巻市東和町*=1.2 遠野市宮守町*=1.2 宮古市田老*=1.1 田野畑村役場*=1.1 盛岡市玉山区渋民*=1.1 大槌町新町*=1.0 釜石市中妻町*=1.0 葛巻町葛巻元木=1.0 釜石市只越町=0.9 葛巻町消防分署*=0.9 岩泉町岩泉*=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 宮古市五月町*=0.8 葛巻町役場*=0.8 花巻市大迫町=0.8 一関市千厩町*=0.8 宮古市鉾ヶ崎=0.7 久慈市長内町*=0.7 山田町八幡町=0.7 住田町世田米*=0.7 九戸村伊保内*=0.6 宮古市長沢=0.6 二戸市福岡=0.6 大船渡市猪川町=0.6 岩手洋野町種市=0.6 盛岡市馬場町*=0.6 盛岡市山王町=0.5 花巻市石鳥谷町*=0.5 青森県 1 八戸市内丸*=0.9 青森南部町苔米地*=0.7 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5 気仙沼市唐桑町*=0.5	39° 45.4' N	141° 49.8' E	58km	M: 3.9
63	17 19 41	茨城県南部 茨城県 1 取手市寺田*=1.2 つくば市小基*=1.1 鉾田市当間*=0.9 土浦市常名=0.8 桜川市岩瀬*=0.8 筑西市門井*=0.7 つくば市谷田部*=0.7 土浦市下高津*=0.7 筑西市舟生=0.7 坂東市役所*=0.6 桜川市真壁*=0.5 下妻市本城町*=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.0 栃木市旭町=0.6 茂木町小井戸*=0.6 群馬県 1 邑楽町中野*=0.6	36° 02.1' N	140° 06.1' E	63km	M: 3.5
64	17 20 12	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑠*=1.0 根室市落石東*=0.8 別海町常盤=0.5	42° 44.7' N	146° 14.3' E	52km	M: 4.2
65	18 02 01	日高支庁中部 北海道 2 浦幌町桜町*=1.7 本別町北2丁目=1.5 1 本別町向陽町*=1.4 十勝大樹町生花*=1.3 足寄町南1条*=1.1 三笠市若松町*=1.0 幕別町忠類錦町*=1.0 安平町早来北進*=0.7 浦河町野深=0.6 豊頃町茂岩本町*=0.6 安平町追分柏が丘*=0.6 帯広市東6条*=0.6 浦河町潮見=0.5	42° 28.3' N	142° 52.7' E	98km	M: 3.9
66	18 03 58	沖縄本島近海 沖縄県 1 久米島町山城=0.6 久米島町仲泊*=0.6	26° 21.5' N	126° 51.2' E	17km	M: 2.9
67	18 05 11	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 大月市御太刀*=0.5	35° 31.6' N	138° 59.4' E	21km	M: 2.3
68	18 19 58	沖縄本島近海 鹿児島県 2 伊仙町伊仙*=1.8 和泊町国頭=1.5 知名町知名*=1.5 1 天城町平土野*=1.3 和泊町和泊*=1.3 瀬戸内町請島*=1.1 瀬戸内町与路島*=0.9 瀬戸内町加計呂麻島*=0.7 徳之島町亀津*=0.7 与論町茶花*=0.6	27° 28.4' N	128° 37.2' E	44km	M: 3.9
69	19 08 51	三陸沖 北海道 1 函館市泊町*=0.5 青森県 1 八戸市内丸*=0.5 宮城県 1 登米市豊里町*=0.8	39° 31.4' N	144° 25.1' E	57km	M: 5.0
70	19 10 11	大分県西部 大分県 1 中津市耶馬溪町*=1.0	33° 22.2' N	130° 53.5' E	11km	M: 2.3
71	19 11 40	山梨県東部・富士五湖 山梨県 1 大月市御太刀*=0.5	35° 32.4' N	138° 58.7' E	20km	M: 2.4
72	19 12 05	紀伊水道 和歌山県 1 海南市下津*=1.1 海南市日方*=0.9 有田市初島町*=0.9	34° 08.8' N	135° 07.5' E	7km	M: 2.6
73	19 14 32	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*=1.1 銚子市川口町=0.9 旭市高生*=0.9 旭市萩園*=0.9 香取市仁良*=0.9 多古町多古=0.6	35° 32.0' N	141° 14.7' E	42km	M: 4.4
74	20 08 52	三陸沖 岩手県 1 山田町大沢*=0.5	39° 05.6' N	143° 17.6' E	27km	M: 4.6
75	20 09 35	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.5	29° 50.7' N	129° 57.0' E	7km	M: -,-

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
76	20 10 53	北海道東方沖 北海道	43° 37.2' N	146° 33.0' E	68km	M: 4.2 1 根室市牧の内*0.6 根室市瑠璃*0.6 根室市落石東*0.5 標津町北2条*0.5
77	20 11 52	三陸沖 岩手県	39° 05.4' N	143° 21.5' E	26km	M: 5.4 2 矢巾町南矢幅*1.9 盛岡市玉山区薮川*1.6 1 八幡平市野駄*1.4 普代村銅屋*1.3 山田町大沢*1.2 盛岡市玉山区洪民*1.2 野田村野田*1.1 二戸市福岡=1.1 陸前高田市高田町*1.1 大槌町新町*1.0 滝沢村鶴飼*1.0 盛岡市山王町=0.9 八幡平市田頭*0.9 二戸市浄法寺町*0.9 花巻市東和町*0.8 花巻市大迫町=0.8 花巻市石鳥谷町*0.8 八幡平市大更=0.7 宮古市五月町*0.7 遠野市松崎町*0.7 雫石町千刈田=0.5 釜石市中妻町*0.5
		宮城県				2 登米市迫町*1.5 1 栗原市金成*1.4 登米市米山町*1.2 登米市南方町*1.2 涌谷町新町=1.1 登米市中田町=1.0 登米市登米町*1.0 栗原市若柳*1.0 栗原市一迫*0.9 大崎市古川三日町=0.9 石巻市前谷地*0.9 石巻市桃生町*0.9 南三陸町志津川=0.8 宮城美里町木間塚*0.8 大河原町新南*0.8 石巻市門脇*0.8 栗原市志波姫*0.7 宮城加美町中新田*0.7 大崎市古川北町*0.7 大崎市松山*0.6 大崎市田尻*0.6 栗原市高清水*0.6 丸森町鳥屋*0.6 気仙沼市笹が陣*0.6 栗原市栗駒=0.6 東松島市矢本*0.6 栗原市鶯沢*0.5
		青森県				1 五戸町古館=0.9 東北町上北南*0.9 東通村小田野沢*0.8 さいらいせ町中下田*0.7 七戸町森ノ上*0.6
		秋田県				1 大仙市刈和野*0.5 大仙市高梨*0.5
78	20 12 44	与那国島近海 沖縄県	24° 09.0' N	122° 27.0' E	70km	M: 5.0 1 与那国町役場*1.2 竹富町船浮=0.9 与那国町祖納=0.7 竹富町大原=0.5
79	20 23 08	十勝支庁中部 北海道	42° 41.4' N	143° 38.0' E	13km	M: 3.2 1 浦幌町桜町*1.2
80	21 00 49	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 47.9' N	130° 48.1' E	7km	M: 2.1 1 鹿児島空港=0.5
81	21 02 24	大阪府北部 京都府 大阪府	34° 53.1' N	135° 31.4' E	9km	M: 3.2 1 大山崎町円明寺*1.0 亀岡市安町=1.0 亀岡市余部町*0.7 八幡市八幡*0.7 宇治市宇治琵琶=0.5 1 豊能町余野*1.2 高槻市立第2中学校*1.0 島本町若山台*1.0 守口市京阪本通*0.8 寝屋川市役所*0.8 高槻市桃園町=0.8 高槻市消防本部*0.8 箕面市箕面=0.7 箕面市粟生外院*0.7 能勢町今西*0.7 吹田市内本町*0.6 茨木市東中条町*0.6 能勢町役場*0.5
		兵庫県				1 三田市下里*0.5
82	21 11 14	新潟県上中越沖 石川県	37° 07.8' N	137° 42.0' E	14km	M: 3.4 1 輪島市鳳至町=0.7
83	21 11 34	長野県南部 長野県	35° 56.3' N	137° 38.9' E	8km	M: 2.4 1 木曾町新開*0.8
84	21 21 21	日高支庁東部 北海道	42° 20.3' N	142° 59.6' E	55km	M: 3.6 1 幕別町忠類錦町*1.4 浦幌町桜町*1.4 十勝大樹町生花*1.1 十勝池田町西1条*1.0 浦河町野深=0.9 浦河町築地*0.9 浦河町潮見=0.8 更別村更別*0.8 本別町向陽町*0.8 新心だか町静内山手町=0.6 足寄町南1条*0.6 豊頃町茂岩本町*0.5 本別町北2丁目=0.5 鹿追町東町*0.5
85	22 01 09	青森県西方沖 北海道	41° 02.7' N	139° 03.4' E	33km	M: 4.2 1 上ノ国町小砂子*0.7
		青森県				1 深浦町深浦=1.3
86	22 07 32	熊本県熊本地方 熊本県	32° 24.5' N	130° 38.4' E	3km	M: 1.7 2 八代市坂本町*1.5
87	22 10 58	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 49.2' N	137° 04.3' E	10km	M: 2.4 1 郡上市明宝*0.7
88	22 18 50	トカラ列島近海 鹿児島県	29° 15.2' N	129° 22.4' E	81km	M: 3.9 1 奄美市笠利町里*0.6
89	22 19 42	日向灘 宮崎県	32° 19.1' N	132° 08.6' E	21km	M: 3.7 1 高鍋町上江*0.8 宮崎都農町役場*0.7
90	23 10 06	福島県沖 宮城県 福島県	37° 11.5' N	142° 08.7' E	37km	M: 4.1 1 岩沼市桜*0.5 1 葛尾村落合関下*1.2
91	23 16 24	三陸沖 岩手県	39° 12.1' N	143° 47.6' E	29km	M: 5.2 2 盛岡市玉山区薮川*1.6 1 山田町大沢*0.8 二戸市福岡=0.7
		宮城県				1 栗原市金成*1.4 登米市迫町*1.1 登米市登米町*1.0 涌谷町新町=0.8 登米市米山町*0.8

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
92	23 16 37	<p>登米市南方町*0.8 栗原市若柳*0.7 石巻市前谷地*0.7 石巻市桃生町*0.7 大崎市古川三日町*0.6 大河原町新南*0.6 南三陸町志津川*0.6 宮城美里町木間塚*0.6 栗原市志波姫*0.5</p> <p>宮城県沖 岩手県</p> <p>4 陸前高田市高田町*3.5 3 山田町大沢*3.3 大船渡市大船渡町=3.1 大船渡市猪川町=3.0 釜石市中妻町*3.0 北上市二子町*3.0 遠野市松崎町*3.0 矢巾町南矢幅*2.9 盛岡市玉山区薮川*2.8 大槌町新町*2.8 一関市千蔵町*2.8 宮古市五月町*2.7 遠野市宮守町*2.7 住田町世田米*2.6 釜石市只越町=2.6 花巻市東和町*2.6 盛岡市玉山区洪民*2.5 八幡平市田頭*2.5 平泉町平泉*2.5 野田村野田*2.5</p> <p>2 川井村川井*2.4 花巻市大迫町=2.4 奥州市江刺区*2.4 金ヶ崎町西根*2.3 藤沢町藤沢*2.3 宮古市鎌ヶ崎=2.3 奥州市胆沢区*2.3 普代村銅屋*2.3 一関市花泉町*2.3 二戸市福岡=2.2 滝沢村鶴鶴*2.2 奥州市水沢区佐倉河*2.2 八幡平市野駄*2.2 紫波町日詰*2.2 北上市柳原町=2.2 盛岡市山王町=2.2 一関市舞川=2.1 川井村田代*2.1 大船渡市盛町*2.1 宮古市長沢=2.1 山田町八幡町=2.1 花巻市石鳥谷町*2.1 奥州市前沢区*2.1 二戸市浄法寺町*2.1 八幡平市大更=2.0 花巻市材木町*2.0 奥州市水沢区大鐘町=2.0 花巻市大迫総合支所*2.0 岩手町五日市*2.0 宮古市田老*1.9 西和賀町沢内川舟*1.9 盛岡市馬場町*1.9 宮古市茂市*1.9 奥州市衣川区*1.9 一戸町高善寺*1.9 一関市大東町=1.9 一関市山目*1.9 一関市東山町*1.9 軽米町軽米*1.8 葛巻町葛巻元木=1.7 八幡平市叭田*1.7 久慈市川崎町=1.6 西和賀町川尻*1.6 一関市川崎町*1.6 九戸村伊保内*1.6 久慈市長内町*1.5 二戸市石切所*1.5</p> <p>1 岩泉町岩泉*1.4 岩手洋野町種市=1.3 雫石町千刈田=1.3 西和賀町沢内太田*1.3 葛巻町役場*1.1 葛巻町消防分署*1.1 田野畑村田野畑=1.0 田野畑村役場*1.0 岩手洋野町大野*1.0</p> <p>宮城県</p> <p>4 気仙沼市赤岩=3.7 気仙沼市笹が陣*3.5 3 栗原市金成*3.0 石巻市桃生町*3.0 気仙沼市唐桑町*2.9 栗原市若柳*2.8 南三陸町歌津*2.8 栗原市栗駒=2.5 登米市迫町*2.5 石巻市門脇*2.5</p> <p>2 涌谷町新町=2.4 登米市中田町=2.4 南三陸町志津川=2.3 栗原市一迫*2.2 栗原市志波姫*2.2 登米市東和町*2.2 登米市米山町*2.2 大崎市田尻*2.2 栗原市高清水*2.1 登米市登米町*2.1 登米市南方町*2.1 大崎市古川三日町=2.1 岩沼市桜*2.1 東松島市矢本*2.1 栗原市築館*2.0 宮城美里町北浦*2.0 宮城美里町木間塚*2.0 大崎市古川北町*2.0 石巻市北上町*2.0 石巻市相野谷*2.0 石巻市前谷地*2.0 色麻町四籠*1.9 大崎市松山*1.9 本吉町津谷*1.9 石巻市鮎川浜*1.9 塩竈市旭町*1.9 栗原市瀬峰*1.9 大河原町新南*1.8 仙台宮城野区苦竹*1.8 石巻市泉町=1.8 女川町女川浜*1.8 宮城加美町中新田*1.8 名取市増田*1.8 石巻市雄勝町*1.7 山元町浅生原*1.7 大崎市鹿島台*1.7 栗原市花山*1.7 宮城加美町小野田*1.6 蔵王町円田*1.6 大崎市鳴子*1.6 東松島市小野*1.6 利府町利府*1.6 仙台青葉区作並*1.6 角田市角田*1.6 亘理町下小路*1.5 大衡村大衡*1.5 大崎市岩出山*1.5 1 仙台空港=1.4 宮城川崎町前川*1.4 宮城加美町宮崎*1.3 丸森町鳥屋*1.3 仙台青葉区大倉=1.3 仙台宮城野区五輪=1.3 登米市石越町*1.2 仙台若林区遠見塚*1.2 仙台北区将監*1.2 石巻市大瓜=1.2 大郷町粕川*1.2 仙台青葉区落合*1.1 柴田町船岡=1.1 大和町吉岡*1.1 仙台太白区山田*1.0 七ヶ浜町東宮浜*1.0 大崎市三本木*1.0 富谷町富谷*1.0 白石市亘理町*0.9 村田町村田*0.9 登米市津山町*0.9 仙台青葉区雨宮*0.8 松島町松島=0.6 多賀城市中央*0.5</p> <p>青森県</p> <p>2 八戸市南郷区*2.2 青森南部町苦米地*2.0 五戸町古館=2.0 東北町上北南*1.9 階上町道仏*1.9 おいらせ町中下田*1.9 東通村小田野沢*1.9 青森南部町平*1.9 八戸市内丸*1.7 八戸市湊町=1.7 七戸町森ノ上*1.7 六戸町犬落瀬*1.6 おいらせ町上明堂*1.5 野辺地町田狭沢*1.5</p> <p>1 野辺地町野辺地*1.4 五戸町倉石中市*1.3 東通村砂子又*1.3 七戸町七戸*1.3 外ヶ浜町蟹田*1.2 十和田市西十二番町*1.2 三沢市桜町*1.2 田子町田子*1.2 八戸市島守=1.1 十和田市西二番町*1.1 東北町塔ノ沢山*1.0 横浜町林ノ脇*0.9 つがる市市稲垣町*0.9 十和田市奥瀬*0.9 青森南部町沖田面*0.9 むつ市金曲=0.9 むつ市大畑町中島*0.8 田舎館村田舎館*0.7 平川市猿賀*0.7 青森市浪岡*0.7 板柳町板柳*0.7 横浜町寺下*0.7 三戸町在府小路*0.7 平川市柏木町*0.6 六ヶ所村尾駈=0.6 つがる市市木造*0.6 中泊町小泊*0.6 つがる市柏*0.6 蓬田村蓬田*0.6 新郷村戸来*0.6 大間町大間*0.5 藤崎町西豊田*0.5</p> <p>秋田県</p> <p>2 秋田市雄和妙法*2.1 井川町北川尻*1.9 大仙市高梨*1.8 大仙市大曲花園町*1.7 大仙市刈和野*1.7 八郎潟町大道*1.6 由利本荘市岩谷町*1.5 横手市大雄*1.5 秋田市河辺和田*1.5</p> <p>1 由利本荘市前郷*1.4 由利本荘市西目町沼田*1.4 秋田市山王=1.3 大仙市北長野*1.3 東成瀬村椿川*1.2 秋田美郷町土崎*1.2 仙北市西木町上桧木内*1.2 秋田市雄和女米木=1.2 大瀧村中央*1.1 秋田市消防庁舎*1.1 由利本荘市岩城内道川*1.1 湯沢市川連町*1.1 大仙市協和境野田*1.1 仙北市角館町東勝楽丁=1.1 能代市上町*1.1 仙北市角館町小勝田*1.1 五城目町西磯ノ目=1.1 横手市平鹿町浅舞*1.0 湯沢市沖鶴=1.0 東成瀬村田子内*1.0 秋田美郷町六郷東根=1.0 秋田美郷町六郷*1.0 秋田美郷町飯詰*1.0 大仙市神宮寺*1.0 湯上市昭和久保*1.0 大仙市太田町太田*1.0 にかほ市平沢*1.0 大館市桜町*0.9 大館市中城*0.9 大仙市南外*0.9 横手市雄物川町今宿=0.9 横手市中央町*0.9 横手市大森町*0.9 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*0.9 仙北市西木町上荒井*0.9 羽後町西馬音内*0.9 由利本荘市石脇=0.9 湯上市飯田川下虻川*0.8 横手市山内土淵*0.8 湯上市天王*0.8 藤里町藤琴*0.8 大館市比内町扇田*0.8 仙北市田沢湖生保内上清水*0.8 由利本荘市矢島町矢島町*0.8 由利本荘市鳥海町伏見*0.7 湯沢市佐竹町*0.7 にかほ市象潟町浜ノ田*0.7 北秋田市花園町=0.7 由利本荘市尾崎*0.7 小坂町小坂砂森*0.6 横手市安田柳堤地内*0.6 大仙市協和境唐松岳*0.6 横手市十文字町*0.6 由利本荘市東由利老方*0.6 三種町鶴川*0.6 秋田市八橋運動公園*0.6 能代市二ツ井町上台*0.6 八峰町八森中浜*0.5 横手市増田町増田*0.5 大館市早口*0.5</p>	38° 53.7' N	142° 31.9' E	39km	M: 5.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		山形県 2 酒田市亀ヶ崎=1.6 三川町横山*=1.6 酒田市飛鳥*=1.5 1 酒田市本町*=1.4 酒田市山田*=1.2 遊佐町遊佐=1.2 尾花沢市若葉町*=1.1 河北町谷地=1.0 米沢市林泉寺*=0.9 大蔵村肘折*=0.8 戸沢村古口*=0.8 鶴岡市道田町*=0.7 西川町大井沢*=0.5 福島県 2 国見町藤田*=1.6 葛尾村落合閣下*=1.6 1 相馬市中村*=1.4 郡山市湖南町*=1.3 須賀川市八幡町*=1.3 桑折町東大隅*=1.3 玉川村小高*=1.3 田村市大越町*=1.3 南相馬市鹿島区*=1.3 郡山市朝日=1.2 須賀川市八幡山*=1.2 二本松市針道*=1.2 川俣町五百田*=1.2 田村市滝根町*=1.2 本宮市本宮*=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 福島市五老内町*=1.1 須賀川市岩瀬支所*=1.1 天栄村下松本*=1.1 泉崎村泉崎*=1.1 福島伊達市保原町*=1.1 福島市松木町=1.0 郡山市開成*=1.0 福島伊達市梁川町*=1.0 檜葉町北田*=1.0 浪江町幾世橋=1.0 二本松市油井*=0.9 浅川町浅川*=0.9 田村市都路町*=0.9 本宮市糠沢*=0.9 福島市桜木町*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 平田村永田*=0.8 田村市船引町=0.8 田村市常葉町*=0.8 二本松市郭内*=0.8 いわき市三和町=0.8 大熊町下野上*=0.8 飯館村伊丹沢*=0.8 南相馬市原町区三島町=0.8 富岡町本岡*=0.7 白河市新白河*=0.7 福島伊達市月館町*=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 小野町中通*=0.6 小野町小野新町*=0.6 川内村下川内=0.5 葛尾村落合閣下*=0.5 北海道 1 釧路市音別町直別*=1.0 標津町北2条*=0.9 函館市新浜町*=0.8 別海町常盤=0.8 函館市泊町*=0.7 根室市落石東*=0.7 別海町本別海*=0.5 弟子屈町弟子屈*=0.5 根室市瑤瑠瑠*=0.5 茨城県 1 土浦市常名=0.5 栃木県 1 茂木町小井戸*=0.7				
93	24 02 14	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 陸前高田市高田町*=0.6 1 気仙沼市赤岩=1.0 気仙沼市笹が陣*=0.8	38° 54.0' N	142° 30.8' E	38km	M: 3.9
94	24 05 08	茨城県南部 栃木県 1 小山市神鳥谷*=0.5	36° 18.6' N	140° 00.9' E	73km	M: 3.1
95	24 05 48	広島県南西部 広島県 1 広島佐伯区湯来町運動広場*=1.4 広島安芸区中野*=0.8 海田町上市*=0.8 坂町役場*=0.7 広島佐伯区利松*=0.6 広島中区羽衣町*=0.6 広島西区已斐*=0.6 呉市宝町=0.5 呉市焼山*=0.5	34° 26.2' N	132° 23.4' E	18km	M: 3.0
96	24 08 26	岩手県内陸南部 岩手県 秋田県 1 西和賀町川尻*=0.7 1 東成瀬村椿川*=1.2	39° 10.4' N	140° 50.8' E	7km	M: 3.0
97	24 09 41	日高支庁東部 北海道 1 幕別町忠類錦町*=0.8	42° 19.7' N	143° 00.2' E	52km	M: 3.3
98	24 10 32	奄美大島北西沖 鹿児島県 1 天城町平土野*=1.3 伊仙町伊仙*=1.3 瀬戸内町加計呂麻島*=0.9 瀬戸内町請島*=0.8 瀬戸内町与路島*=0.7 和泊町国頭=0.7 和泊町和泊*=0.6 天城町当部=0.5	27° 59.8' N	128° 25.1' E	83km	M: 4.4
99	24 18 15	能登半島沖 石川県 2 輪島市門前町走出*=1.6 1 穴水町大町*=0.9 志賀町香能*=0.7 輪島市鳳至町=0.7	37° 15.9' N	136° 40.7' E	7km	M: 3.2
100	25 06 09	台湾付近 沖縄県 1 与那国町役場*=1.4 与那国町祖納=0.7 竹富町船浮=0.5	24° 02.3' N	122° 16.6' E	28km	M: 5.1
101	25 22 51	根室半島南東沖 北海道 2 根室市瑤瑠瑠*=1.7 1 根室市落石東*=1.0	43° 17.6' N	146° 26.0' E	45km	M: 4.0
102	25 23 03	大分県西部 福岡県 4 東峰村宝珠山*=3.8 3 上毛町垂水*=3.3 東峰村小石原*=3.2 赤村内田*=3.2 嘉麻市上山田*=3.2 朝倉市杷木池田*=3.0 福岡川崎町田原*=2.9 上毛町東下*=2.9 嘉麻市上臼井*=2.8 大任町大行事*=2.8 宗像市東郷*=2.7 飯塚市川島=2.6 田川市中央町*=2.6 添田町添田*=2.6 行橋市今井*=2.6 うきは市浮羽町*=2.6 築上町椎田*=2.5 福岡空港=2.5 飯塚市立岩*=2.5 豊前市吉木*=2.5 春日市原町*=2.5 2 吉富町広津*=2.4 みやこ町犀川本庄*=2.4 矢部村北矢部*=2.4 飯塚市長尾*=2.3 みやこ町勝山上田*=2.3 福智町弁城*=2.2 嘉麻市岩崎*=2.2 みやこ町豊津*=2.2 うきは市吉井町*=2.2 築上町築城*=2.2 糸田町役場*=2.2 嘉麻市大隈町*=2.1 黒木町北木屋=2.1 黒木町今*=2.1 行橋市中央*=2.1 飯塚市新立岩*=2.1 桂川町土居*=2.1 大野城市曙町*=2.1 飯塚市綱分*=2.0 宗像市江口神原*=2.0 北九州門司区大里*=2.0 筑前町篠隈*=2.0 宮若市宮田*=1.9 宮若市福丸*=1.9 朝倉市堤*=1.9 朝倉市宮野*=1.9 福岡中央区天神*=1.9 福岡南区塩原*=1.8 荻田町京町*=1.8 筑前町下高場=1.8 筑前町新町*=1.8 久山町久原*=1.8 久留米市田主丸町*=1.8 大刀洗町富多*=1.8 福岡博多区博多駅前*=1.7 水巻町頃末*=1.7 荻田町若久=1.7 久留米市津福本町=1.7 朝倉市菩提寺*=1.7 鞍手町中山*=1.7 新宮町緑ヶ浜*=1.7 筑紫野市二日市西*=1.7 星野村役場*=1.7 北九州若松区桜町*=1.7 直方市新町*=1.6 北九州小倉南区横代東町*=1.6 中間市長津*=1.6 みやま市山川町*=1.6 飯塚市勢田*=1.5 小竹町勝野*=1.5 中間市中間*=1.5 香春町高野*=1.5 福智町金田*=1.5 大牟田市昭和町*=1.5 粕屋町仲原*=1.5 筑後市山ノ井*=1.5 北九州八幡西区相生町*=1.5 福岡広川町新代*=1.5 1 宇美町宇美*=1.4 志免町志免*=1.4 福津市中央*=1.4 北九州小倉北区大手町*=1.4	33° 22.1' N	130° 53.5' E	12km	M: 4.7

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		北九州八幡東区桃園=1.4 遠賀町今古賀*=1.4 久留米市小森野町*=1.4 久留米市北野町*=1.4 柳川市本町*=1.4 福岡城南区神松寺*=1.3 飯塚市忠隈*=1.3 篠栗町篠栗*=1.3 八女市吉田*=1.3 八女市本町*=1.3 八女市上陽町*=1.3 小郡市小郡*=1.3 福岡古賀市駅東*=1.3 福津市手光=1.3 福津市津屋崎*=1.3 福岡中央区大濠=1.3 北九州八幡東区春の町*=1.3 福岡東区千早*=1.2 北九州戸畑区新池*=1.2 大木町八町牟田*=1.2 北九州小倉南区若園*=1.2 福岡西区今宿*=1.2 芦屋町幸町*=1.2 福岡那珂川町西隈*=1.2 福岡中央区舞鶴*=1.1 柳川市大和町*=1.1 福岡早良区百道浜*=1.1 大川市酒見*=1.1 太宰府市観世音寺*=1.1 須恵町須恵*=1.1 福智町赤池*=1.1 柳川市三橋町*=1.0 立花町原島*=1.0 みやま市瀬高町*=1.0 岡垣町野間*=1.0 志摩町初=1.0 久留米市城島町*=1.0 久留米市三潁町*=1.0 みやま市高田町*=0.9 福岡西区玄界島=0.8 宗像市大島*=0.8 大牟田市笹林=0.8 大牟田市有明町*=0.8 前原市前原東*=0.7 前原市前原西*=0.7 福智町上野=0.6 二丈町深江*=0.6 福岡早良区板屋=0.6 久留米市城南町*=0.5 4 中津市三光*=4.1 日田市田島*=3.6 日田市三本松=3.5 中津市耶馬溪町*=3.5 3 中津市豊田町*=3.4 中津市山国町*=3.3 中津市上宮永=3.1 日田市前津江町*=3.1 日田市大山町*=3.0 九重町後野上*=2.8 中津市本耶馬溪町*=2.7 日田市天瀬町*=2.7 珍珠町帆足=2.7 中津市植野*=2.6 日田市中津江村柳野*=2.5 2 宇佐市上田*=2.4 由布市湯布院町川北*=2.4 豊後高田市御玉*=2.2 豊後高田市香々地*=2.2 由布市湯布院町川上*=2.2 姫島村役場*=2.1 杵築市山香町*=2.0 佐伯市上浦*=2.0 宇佐市院内町*=1.9 国東市国見町伊美*=1.9 豊後高田市真玉*=1.8 由布市庄内町*=1.8 国東市国見町西方寺=1.7 竹田市荻町*=1.7 宇佐市安心院町*=1.6 国東市田深*=1.5 別府市鶴見=1.5 日田市上津江町*=1.5 竹田市直入町*=1.5 1 佐伯市蒲江=1.3 佐伯市春日町*=1.3 佐伯市中村南=1.2 国東市鶴川=1.1 杵築市南杵築*=1.1 日田市中津江村合瀬=0.8 大分市長浜=0.7 津久見市立花町*=0.5 豊後大野市三重町=0.5 山口県 3 防府市西浦*=2.5 2 山口市秋徳東*=2.1 下関市清末陣屋*=2.1 山陽小野田市日の出*=2.1 山口市阿知須*=2.0 山口市小郡下郷*=2.0 山口市龜山町*=1.8 山口市周布=1.8 下関市竹崎=1.8 宇部市船木*=1.7 阿東町徳佐*=1.7 宇部市常盤町*=1.6 阿武町奈古*=1.6 下関市菊川町田部*=1.6 宇部市東須恵*=1.6 上関町長島*=1.5 田布施町役場*=1.5 平生町平生*=1.5 山口市徳地堀*=1.5 下関市豊浦町浄水場*=1.5 萩市土原=1.5 山口市秋徳二島*=1.5 防府市寿=1.5 下松市大手町*=1.5 1 周南市富田*=1.4 下関市豊田町一ノ俣=1.4 下関市豊浦町川棚=1.4 田布施町下田布施=1.3 萩市下田万*=1.3 光市中央*=1.2 柳井市南町*=1.2 美祢市秋芳町秋吉*=1.2 下関市豊北町角島*=1.2 宇部市野中=1.2 周南市岐山通り*=1.1 長門市新別名*=1.1 周防大島町東和総合支所*=1.1 岩国市横山*=1.1 岩国市玖珂町阿山*=1.1 下関市役所*=1.1 岩国市玖珂総合支所*=1.1 萩市須佐*=1.1 阿東町生雲*=1.0 周防大島町久賀*=1.0 周防大島町小松*=1.0 周南市桜馬場通り*=1.0 萩市江向*=1.0 萩市福井*=1.0 長門市日置*=1.0 山陽小野田市鴨庄*=1.0 周防大島町平野*=0.9 周南市呼坂*=0.9 岩国市由宇町*=0.9 柳井市大島*=0.9 美祢市大嶺町*=0.8 岩国市今津=0.8 岩国市周東町下久原*=0.8 萩市見島*=0.8 長門市三隅*=0.8 和木町和木*=0.7 光市岩田*=0.7 岩国市錦町広瀬*=0.7 岩国市美川町高ヶ原*=0.7 周防大島町西安下庄*=0.6 美祢市美東町大田*=0.5 下関市豊田町殿敷*=0.5 下関市豊北町滝部*=0.5 周南市鹿野上*=0.5 島根県 2 益田市常盤町*=1.9 吉賀町六日市*=1.5 1 津和野町日原*=1.2 益田市美都町都茂*=1.0 島根美郷町都賀本郷*=0.9 益田市水分町*=0.6 広島県 1 江田島市沖美町*=1.5 1 大竹市小方*=1.3 廿日市市津田*=1.3 広島西区己斐*=1.2 広島佐伯区利松*=1.2 呉市安浦町*=1.0 広島佐伯区湯来町運動広場*=1.0 東広島市黒瀬町=1.0 広島安芸区中野*=0.6 呉市宝町=0.6 呉市倉橋町支所*=0.6 広島中区上八丁堀=0.5 廿日市市吉和*=0.5 熊本県 2 天草市五和町*=2.1 阿蘇市波野*=2.0 産山村山鹿*=1.9 玉名市天水町*=1.9 菊池市旭志*=1.8 和水町江田*=1.8 熊本小国町宮原*=1.8 阿蘇市内牧*=1.8 植木町岩野*=1.7 山鹿市老人福祉センター*=1.7 山鹿市菊鹿町*=1.7 阿蘇市一の宮町*=1.6 玉名市横島町*=1.6 山鹿市鹿本町*=1.6 山鹿市鹿央町*=1.6 南小国町赤馬場*=1.6 上天草市大矢野町=1.6 南関町関町*=1.5 1 熊本市京町=1.4 玉名市岱明町*=1.4 山鹿市山鹿*=1.4 合志市竹迫*=1.4 宇城市松橋町=1.3 和水町板橋*=1.3 上天草市松島町*=1.3 南阿蘇村中松=1.2 玉名市中尾*=1.2 菊池市七城町*=1.2 長洲町長洲*=1.2 宇城市豊野町*=1.2 熊本高森町高森*=1.1 南阿蘇村河陽*=1.1 荒尾市宮内出目*=1.1 大津町引水*=1.1 益城町宮園*=1.1 玉東町木葉*=1.0 大津町大津*=1.0 菊陽町久保田*=1.0 人吉市城本町=1.0 菊池市泗水町*=0.9 芦北町芦北=0.9 宇城市不知火町*=0.9 合志市御代志*=0.8 熊本市東町*=0.8 宇城市三角町*=0.8 山都町浜町*=0.8 八代市坂本町*=0.7 熊本美里町永富*=0.7 八代市平山新町=0.6 八代市松江城町*=0.6 宮崎県 2 高千穂町三田井=1.5 1 高千穂町寺迫*=1.2 延岡市北川町川内名白石*=1.0 延岡市北方町卯*=1.0 延岡市古城町*=0.9 日之影町岩井川*=0.6 延岡市北方町末=0.5 宮崎都農町役場*=0.5 愛媛県 1 八幡浜市五反田*=0.5 佐賀県 1 基山町宮浦*=1.4 みやま町北茂安*=1.4 みやま町三根*=1.4 神埼市千代田*=1.2 佐賀市川副*=1.1 神埼市神埼*=1.0 神埼市春振*=1.0 太良町多良=0.9 佐賀市駅前中央=0.9 佐賀市富士町*=0.7 唐津市西城内=0.7 佐賀市栄町*=0.6 長崎県 1 諫早市多良見町*=1.2 諫早市森山町*=1.1 南島原市深江町*=1.0 島原市有明町*=0.9 雲仙市国見町=0.9 南島原市口之津町*=0.8 島原市下折橋町*=0.6 雲仙市小浜町雲仙=0.6 南島原市北有馬町*=0.6 雲仙市愛野町*=0.5 南島原市加津佐町*=0.5 鹿町町下歌ヶ浦*=0.5 長崎市長浦町=0.5 諫早市堂崎町*=0.5				
103	25 23 24	大分県西部 福岡県 2 東峰村宝珠山*=2.0 1 朝倉市杷木池田*=0.6 東峰村小石原*=0.6 大分県 1 日田市三本松=1.0	33° 22.0' N	130° 53.1' E	12km	M: 2.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
104	25 23 44	大分県西部 福岡県 大分県	33° 22.4' N	130° 54.5' E	11km	M: 2.9
		1 東峰村宝珠山*=0.7 1 日田市三本松=0.8				
105	25 23 45	大分県西部 福岡県 大分県	33° 22.5' N	130° 54.6' E	11km	M: 3.1
		1 東峰村小石原*=1.2 東峰村宝珠山*=1.2 嘉麻市上山田*=1.1 大任町大行事*=0.9 飯塚市立岩*=0.8 田川市中央町*=0.7 福岡川崎町原*=0.5 1 中津市耶馬溪町*=1.0 日田市三本松=1.0				
106	26 16 49	宮城県沖 宮城県	38° 54.4' N	142° 30.3' E	39km	M: 3.8
		1 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市笹が陣*=0.9				
107	27 02 05	奈良県 奈良県	34° 21.2' N	136° 06.4' E	8km	M: 3.9
		3 東吉野村小川*=2.5 2 黒滝村寺戸*=2.2 御杖村菅野*=2.0 宇陀市大宇陀区迫間*=1.9 奈良川上村迫*=1.7 曾爾村今井*=1.5 1 吉野町上市*=1.4 高取町観音寺*=1.3 奈良市月ヶ瀬尾山*=1.3 宇陀市菟田野区松井*=1.3 五條市二見*=1.2 天川村沢谷*=1.1 宇陀市榛原区下井足*=0.9 宇陀市榛原区消防学校*=0.9 大淀町桧垣本=0.7 下市町下市*=0.6 桜井市池之内=0.6 五條市大塔町藤*=0.6 宇陀市室生区大野*=0.6 五條市本町*=0.6 田原本町役場*=0.5 奈良市針町*=0.5				
		三重県 2 津市美杉町八知*=1.7 大台町江馬*=1.6 1 三重大紀町滝原*=1.4 三重紀北町長島*=1.2 伊賀市上野丸之内*=1.2 亀山市西丸町*=1.0 名張市鴻之台*=1.0 三重大紀町大内山*=0.9 三重紀北町十須=0.8 伊賀市馬場*=0.8 松阪市飯高町宮前*=0.6 伊賀市小田町*=0.6 津市一志町田尻*=0.5 津市芸濃町椋本*=0.5				
		滋賀県 1 東近江市市川原町*=1.1 甲賀市信楽町*=0.7 滋賀日野町河原*=0.7 愛荘町安孫子*=0.6 甲賀市甲賀町大久保*=0.5 甲賀市甲賀町相模*=0.5				
		京都府 1 南山城北大河原*=0.6				
		大阪府 1 大阪和泉市府中町*=0.6				
		和歌山県 1 新宮市新宮=1.0 橋本市東家*=0.5				
108	27 04 15	大分県西部 福岡県 大分県	33° 22.7' N	130° 54.8' E	11km	M: 3.4
		2 東峰村小石原*=1.5 1 東峰村宝珠山*=1.3 大任町大行事*=1.1 田川市中央町*=1.1 嘉麻市上山田*=1.0 朝倉市杷木池田*=0.9 大刀洗町富多*=0.9 飯塚市立岩*=0.8 うきは市浮羽町*=0.8 赤村内田*=0.8 福岡川崎町原*=0.8 久留米市津福本町=0.8 久留米市小森野町*=0.6 久留米市田主丸町*=0.6 添田町添田*=0.6 上毛町垂水*=0.6 香春町高野*=0.5 うきは市吉井町*=0.5 嘉麻市岩崎*=0.5 嘉麻市上臼井*=0.5				
		2 中津市耶馬溪町*=1.7 1 日田市三本松=1.1 中津市上宮永=0.7 日田市天瀬町*=0.6				
109	27 07 14	石川県能登地方 石川県	37° 17.0' N	136° 47.3' E	10km	M: 2.7
		1 穴水町大町*=0.9 輪島市門前町走出*=0.5				
110	27 09 12	宮城県沖 宮城県	38° 53.8' N	142° 30.0' E	41km	M: 3.8
		1 気仙沼市赤岩=0.5 気仙沼市笹が陣*=0.5				
111	27 13 07	福島県沖 福島県	37° 23.9' N	141° 24.4' E	63km	M: 4.0
		2 葛尾村落合閣下*=1.8 川内村上川内早渡*=1.6 葛尾村落合落合*=1.6 1 本宮市糠沢*=1.4 川内村下川内=1.4 浪江町幾世橋=1.4 田村市都路町*=1.3 楢葉町北田*=1.2 田村市常葉町*=1.1 田村市大越町*=1.1 相馬市中村*=1.0 小野町小野新町*=1.0 田村市船引町=1.0 川内村上川内小山平*=1.0 二本松市針道*=1.0 いわき市三和町=0.9 二本松市油井*=0.9 川俣町五百田*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 南相馬市原町区三島町=0.8 富岡町本岡*=0.8 白河市新白河*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 大熊町下野上*=0.7 新地町谷地小屋*=0.6 須賀川市八幡山*=0.5 玉川村小高*=0.5 二本松市郭内*=0.5				
		宮城県 1 石巻市桃生町*=0.5 岩沼市桜*=0.5				
112	27 13 55	和歌山県北部 和歌山県	34° 09.3' N	135° 19.2' E	5km	M: 2.1
		1 紀美野町下佐々*=0.9				
113	27 16 34	千葉県西北部 千葉県	35° 30.0' N	140° 12.7' E	42km	M: 2.7
		1 千葉中央区都町*=0.7				
114	27 18 00	日向灘 宮崎県	32° 07.3' N	132° 03.2' E	9km	M: 4.0
		1 延岡市古城町*=0.5 宮崎市霧島=0.5				
115	27 18 29	長崎県南西部 長崎県	32° 58.9' N	129° 53.7' E	12km	M: 2.6
		1 東彼杵町蔵本*=0.6 大村市玖島*=0.6 長崎市長浦町=0.5				
116	27 20 42	岩手県内陸南部 岩手県	39° 11.1' N	140° 56.9' E	7km	M: 4.2
		2 北上市二子町*=1.9 西和賀町川尻*=1.6 奥州市胆沢区*=1.6 金ヶ崎町西根*=1.5 1 花巻市東和町*=1.4 北上市柳原町=1.4 花巻市材木町*=1.3 奥州市水沢区佐倉河*=1.1 奥州市水沢区大鐘町=1.0 花巻市石鳥谷町*=1.0 奥州市江刺区*=0.9 矢巾町南矢幅*=0.8 西和賀町沢内太田*=0.8 花巻市大迫町=0.7 平泉町平泉*=0.6 盛岡市玉山区菰川*=0.5				

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
117	28 03 48	秋田県 1 大仙市高梨*=1.0 仙北市西木町上桧木内*=0.8 東成瀬村椿川*=0.7 横手市大雄*=0.6				
		福島県沖 福島県 1 田村市常葉町*=1.1 川内村下川内=1.0 二本松市針道*=0.9 田村市都路町*=0.9 川俣町五百田*=0.9 楢葉町北田*=0.8 白河市新白河*=0.6 小野町中通*=0.5 田村市船引町=0.5 二本松市郭内*=0.5 浪江町幾世橋=0.5	37° 02.6' N	141° 11.1' E	70km	M: 3.6
118	28 06 55	青森県東方沖 青森県 2 東通村小田野沢*=1.5 1 東通村砂子又*=1.0 むつ市金曲=0.5 北海道 1 函館市泊町*=1.2 函館市日ノ浜町*=0.6	41° 35.5' N	141° 55.4' E	64km	M: 3.7
119	28 09 25	紀伊水道 和歌山県 1 和歌山市一番丁*=0.8	34° 13.6' N	135° 08.5' E	8km	M: 2.0
120	28 09 35	長崎県南西部 佐賀県 3 武雄市武雄町昭和*=2.5 2 白石町有明*=2.1 嬉野市不動山=2.1 嬉野市下宿乙*=2.1 武雄市山内*=2.1 上峰町坊所*=1.9 太良町多良=1.8 白石町福田*=1.8 吉野ヶ里町三田川*=1.5 多久市北多久町*=1.5 白石町福富*=1.5 武雄市武雄町武雄*=1.5 1 唐津市相知*=1.4 唐津市北波多*=1.4 佐賀鹿島市納富分*=1.4 みやき町北茂安*=1.4 佐賀市三瀬*=1.3 江北町山口*=1.3 伊万里市立花町*=1.2 有田町立部*=1.2 みやき町三根*=1.2 神埼市神埼*=1.2 嬉野市塩田*=1.1 佐賀市川副*=1.1 佐賀市大和*=1.0 唐津市竹木場*=1.0 大町町大町*=1.0 佐賀市駅前中央=0.8 唐津市西城内=0.8 基山町宮浦*=0.7 佐賀市栄町*=0.7 佐賀市富士町*=0.6 唐津市巖木町*=0.6 長崎県 3 東彼杵町蔵本*=2.9 長崎市長浦町=2.8 大村市玖島*=2.7 平戸市志々伎町*=2.6 川棚町中組*=2.6 2 西海市西彼町*=2.4 諫早市東小路町=2.1 鹿町町下歌ヶ浦*=2.0 西海市西海町*=2.0 長崎市神浦夏井町*=1.9 佐世保市千尽町=1.9 佐々町本田原*=1.9 諫早市森山町*=1.7 平戸市岩の上町=1.6 平戸市田平町*=1.6 佐世保市八幡町*=1.6 雲仙市国見町=1.6 松浦市志佐町*=1.5 1 佐世保市世知原町*=1.4 平戸市鏡川町*=1.4 江迎町長坂*=1.4 諫早市多良見町*=1.4 雲仙市愛野町*=1.4 西海市大瀬戸町*=1.3 西海市崎戸町*=1.3 波佐見町宿*=1.2 長崎市元町*=1.2 諫早市堂崎町*=1.1 西海市大島町*=1.1 佐世保市吉井町*=1.1 長与町嬉里*=1.0 雲仙市小浜町雲仙=0.9 雲仙市吾妻町*=0.9 平戸市生月町*=0.8 雲仙市千々石町*=0.8 長崎市布巻町*=0.8 諫早市高来町*=0.7 五島市岐宿町*=0.7 壱岐市郷ノ浦町*=0.6 新上五島町榎津*=0.6 新上五島町有川*=0.6 新上五島町若松*=0.5 南島原市北有馬町*=0.5 諫早市飯盛町*=0.5 福岡県 1 柳川市本町*=1.4 福岡中央区大濠=1.3 大木町八町牟田*=1.3 久留米市津福本町=1.3 久留米市小森野町*=1.2 二丈町深江*=1.2 志摩町初=1.1 新宮町緑ヶ浜*=1.0 福岡賀賀市駅東*=1.0 福岡空港=1.0 福岡西区今宿*=1.0 福岡早良区板屋=1.0 前原市前原東*=0.8 筑前町下高場=0.8 みやま市瀬高町*=0.8 前原市前原西*=0.8 福岡博多区博多駅前*=0.8 嘉麻市上臼井*=0.7 大牟田市昭和町*=0.7 筑紫野市二日市西*=0.7 福岡東区千早*=0.7 久山町久原*=0.7 福岡中央区舞鶴*=0.7 福岡那珂川町西隈*=0.7 直方市新町*=0.7 春日市原町*=0.6 飯塚市忠隈*=0.6 嘉麻市岩崎*=0.6 久留米市北野町*=0.6 宗像市東郷*=0.6 柳川市三橋町*=0.6 みやま市山川町*=0.5 福岡城南区神松寺*=0.5 福岡西区玄界島=0.5 飯塚市長尾*=0.5 熊本県 1 山鹿市老人福祉センター*=1.0 荒尾市宮内出目*=0.8 和水町江田*=0.7	32° 58.8' N	129° 53.7' E	12km	M: 4.0
121	28 10 14	長崎県南西部 佐賀県 2 嬉野市下宿乙*=1.6 1 武雄市武雄町昭和*=1.1 太良町多良=0.6 嬉野市不動山=0.6 長崎県 2 大村市玖島*=1.5 1 長崎市長浦町=1.3 東彼杵町蔵本*=1.1 川棚町中組*=0.9 平戸市志々伎町*=0.8 長崎市元町*=0.7 西海市西彼町*=0.7 長与町嬉里*=0.6 諫早市東小路町=0.5 諫早市森山町*=0.5 雲仙市国見町=0.5 雲仙市愛野町*=0.5	32° 58.8' N	129° 54.1' E	12km	M: 3.3
122	28 20 00	長崎県南西部 長崎県 2 大村市玖島*=1.7 長崎市長浦町=1.5 東彼杵町蔵本*=1.5 1 川棚町中組*=1.2 西海市西彼町*=1.2 佐世保市八幡町*=0.6 長崎市神浦夏井町*=0.6 諫早市多良見町*=0.6 平戸市志々伎町*=0.6 西海市西海町*=0.6 諫早市東小路町=0.5 佐賀県 1 嬉野市下宿乙*=1.3 太良町多良=0.9 嬉野市不動山=0.8	32° 58.8' N	129° 53.7' E	12km	M: 3.3
123	28 20 02	長崎県南西部 長崎県 1 長崎市長浦町=1.1	32° 58.8' N	129° 53.5' E	11km	M: 2.7
124	29 01 20	宮城県沖 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.5	38° 54.0' N	142° 30.8' E	38km	M: 3.6
125	29 06 13	千葉県南部 千葉県 2 館山市長須賀=1.5 1 君津市久留里市場*=1.2 南房総市岩糸*=1.1 市原市姉崎*=1.0 大多喜町大多喜*=1.0 館山市北条*=0.9 千葉中央区都町*=0.8 南房総市富浦町青木*=0.8 南房総市白浜町白浜*=0.8 富津市下飯野*=0.8 鴨川市横渚*=0.7 勝浦市墨名=0.6 勝浦市新官*=0.6 鴨川市八色=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.5	35° 11.7' N	139° 56.9' E	117km	M: 3.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 東京新宿区上落合*0.9 東京新宿区百人町*0.9 伊豆大島町岡田*0.9 東京国際空港=0.8 東京大田区多摩川*0.8 東京大田区本羽田*0.6 東京世田谷区三軒茶屋*0.6 八王子市堀之内*0.5 神奈川県 2 川崎川崎区宮前町*1.5 1 横浜緑区白山*1.2 横浜中区山手町=1.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.0 川崎中原区小杉町*1.0 三浦市城山町*0.9 箱根町湯本*0.9 横須賀市光の丘=0.8 厚木市中町*0.8 相模原市上溝*0.7 神奈川大井町金子*0.6 真鶴町真鶴*0.6 秦野市曾屋=0.6 秦野市平沢*0.6 横須賀市坂本町*0.5 鎌倉市御成町*0.5 清川村煤ヶ谷*0.5 川崎中原区小杉陣屋町=0.5 川崎宮前区宮前平*0.5 中井町比奈窪*0.5 栃木県 1 茂木町小井戸*1.2 宇都宮市明保野町=0.5 山梨県 1 大月市御太刀*0.8 富士河口湖町船津=0.8 静岡県 1 東伊豆町奈良本*1.1 熱海市網代=0.7 熱海市泉*0.7				
126	29 14 25	大分県西部 福岡県	33° 22.5' N	130° 53.9' E	11km	M: 2.6
127	30 01 21	長崎県南西部 長崎県	32° 58.7' N	129° 53.4' E	13km	M: 3.9
		3 長崎市長浦町=2.5 2 東彼杵町蔵本*2.4 西海市西彼町*1.9 大村市玖島*1.7 平戸市志々伎町*1.6 1 佐世保市干尽町=1.4 鹿町町下歌ヶ浦*1.4 諫早市森山町*1.4 佐々町本田原*1.3 西海市西海町*1.3 平戸市岩の上町=1.2 平戸市田平町*1.2 松浦市志佐町*1.2 諫早市東小路町=1.2 諫早市多良見町*1.2 長崎市神浦夏井町*1.1 雲仙市愛野町*1.1 佐世保市八幡町*1.0 雲仙市国見町=0.9 平戸市鏡川町*0.9 長崎市元町*0.8 佐世保市世知原町*0.8 長与町嬉里*0.8 雲仙市小浜町北本町*0.8 西海市大瀬戸町*0.7 雲仙市吾妻町*0.7 雲仙市千々石町*0.6 佐世保市吉井町*0.6 波佐見町宿*0.6 江迎町長坂*0.6 諫早市高来町*0.5 西海市崎戸町*0.5 雲仙市小浜町雲仙=0.5 佐賀県 2 白石町有明*2.1 白石町福田*1.9 武雄市武雄町昭和*1.9 嬉野市下宿乙*1.9 上峰町坊所*1.9 太良町多良=1.8 武雄市北方*1.7 嬉野市不動山=1.5 1 武雄市武雄町武雄*1.4 佐賀鹿島市納富分*1.4 江北町山口*1.4 白石町福富*1.4 吉野ヶ里町三田川*1.4 みやき町北茂安*1.3 みやき町三根*1.3 武雄市山内*1.3 唐津市北波多*1.2 佐賀市川副*1.2 多久市北多久町*1.2 嬉野市塩田*1.1 佐賀市三瀬*1.1 みやき町中原*1.0 佐賀市大和*1.0 伊万里市立花町*0.8 佐賀市駅前中央*0.8 佐賀市栄町*0.8 佐賀市富士町*0.5 唐津市西城内=0.5 唐津市竹木場*0.5 福岡県 1 柳川市本町*1.4 福岡中央区大濠=1.3 大木町八町牽田*1.3 久留米市津福本町=1.3 志摩町初=1.2 久留米市小森野町*1.2 久留米市城島町*1.2 二丈町深江*1.1 福岡早良区板屋=1.0 新宮町緑ヶ浜*1.0 福岡古賀市駅東*1.0 福岡西区今宿*1.0 福岡空港=0.9 みやま市瀬高町*0.9 直方市新町*0.9 福岡博多区博多駅前*0.9 嘉麻市上臼井*0.8 筑前町下高場=0.8 久留米市北野町*0.8 柳川市三橋町*0.8 前原市前原西*0.7 飯塚市忠隈*0.7 福岡東区千早*0.7 福岡中央区舞鶴*0.7 久山町久原*0.7 筑紫野市二日市西*0.7 前原市前原東*0.7 春日市原町*0.6 宗像市東郷*0.6 飯塚市立岩*0.6 飯塚市長尾*0.6 柳川市大和町*0.5 福岡那珂川町西隈*0.5 志免町志免*0.5 福岡広川町新代*0.5 嘉麻市岩崎*0.5 筑前町篠隈*0.5 福岡南区塩原*0.5 大牟田市昭和町*0.5 熊本県 1 山鹿市老人福祉センター*0.7				
128	30 06 18	種子島近海 鹿児島県	30° 55.3' N	130° 22.9' E	125km	M: 3.5
		1 屋久島町宮之浦*0.6				
129	30 13 21	福島県沖 福島県 茨城県 栃木県	36° 59.9' N	141° 00.7' E	87km	M: 3.5
		1 白河市新白河*0.5 1 高萩市安良川*0.8 水戸市千波町*0.5 水戸市金町=0.5 1 茂木町小井戸*0.9				

● 付表 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成 20 年（2008 年）7 月～平成 21 年（2009 年）6 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成21年（2009年）											
6月	89	30	7	3						129	
5月	75	27	8	1						111	
4月	73	19	9	2						103	
3月	59	26	5							90	
2月	70	27	6	7						110	
1月	62	28	5	1						96	
平成21年計	428	157	40	14						639	
平成20年（2008年）											
12月	79	35	15	1						130	
11月	68	29	4	2						103	
10月	94	26	10	3						133	
9月	77	40	13		1					131	11日 十勝沖（震度5弱）
8月	86	38	9	3						136	平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震の余震 (震度2:10回、震度1:20回)
7月	116	36	11	2	2		1			168	5日 茨城県沖（震度5弱） 8日 沖永良部島付近（震度5弱） 24日 岩手県沿岸北部（震度6弱） 平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震の余震 (震度3:6回、震度2:15回、震度1:42回)
過去1年計	948	361	102	25	3		1			1440	(平成20年7月～平成21年6月)

（参考）昨年同月の最大震度別地震回数

6月	367	135	54	12	1			1		570	平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震とその余震 (震度6強:1回、震度5弱:1回、 震度4:10回、震度3:48回、 震度2:113回、震度1:312回)
----	-----	-----	----	----	---	--	--	---	--	-----	---

注)①「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

②地方公共団体等の震度計による震度の発表開始年月日。

平成9(1997)年11月10日 秋田県、埼玉県、横浜市（神奈川県）、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県

平成10(1998)年6月15日 群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県、愛媛県

10月15日 青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県、鹿児島県

平成11(1999)年7月21日 東京都、長野県

平成12(2000)年1月12日 栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）

3月28日 滋賀県

7月18日 富山県、香川県、大分県

平成13(2001)年3月22日 佐賀県 5月10日 山梨県、川崎市（神奈川県）

7月19日 高知県

12月12日 福島県

平成14(2002)年3月20日 岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県、仙台市（宮城県）

7月29日 北海道、長崎県

平成15(2003)年3月10日 沖縄県

平成16(2004)年5月26日 防災科学技術研究所（岩手県の一部、宮城県の一部、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、福井県、
8月9日 岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、
11月1日 岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大分県、宮崎県）

平成18(2006)年3月1日 防災科学技術研究所（北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、

群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、新潟県、富山県）

平成19(2007)年3月1日 防災科学技術研究所（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県）

● 付表 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 <平成 20 年（2008 年）7 月～平成 21 年（2009 年）6 月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
平成21年（2009年）								
6月	312	76	14	1		403	91	5日：十勝沖（M6.4）
5月	268	48	5			321	53	
4月	320	76	27	2		425	105	千島列島（ウルップ島東方沖）の地震活動 （M4.0～4.9：25回、M5.0～5.9：14回、 M6.0～6.9：2回） 奄美大島近海の地震活動 （M3.0～3.9：50回、M4.0～4.9：5回、 M5.0～5.9：2回）
3月	264	46	8			318	54	
2月	240	58	10			308	68	
1月	266	65	7		1	339	73	16日：千島列島東方（M7.4）
平成21年計	1670	369	71	3	1	2114	444	
平成20年（2008年）								
12月	303	68	18	4		393	90	4日：三陸沖（M6.1） 20日：関東東方沖（M6.6） 21日：福島県沖（M6.2） 28日：千島列島東方（M6.0）
11月	257	59	2			318	61	
10月	291	59	11			361	70	
9月	294	64	14		1	373	79	11日：十勝沖（M7.1）
8月	300	78	11			389	89	
7月	345	108	13	7		473	128	6日：千島列島（M6.1） 8日：沖永良部島付近（M6.1） 13日：フィリピン付近（M6.1） 19日：福島県沖（M6.9） 21日：小笠原諸島西方沖（M6.4） 21日：福島県沖（M6.1） 24日：岩手県沿岸北部（M6.8） 平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震の余震活動 （M3.0～3.9：35回、M4.0～4.9：10回）
過去1年計	3460	805	140	14	2	4421	961	（平成20年7月～平成21年6月）
（参考）昨年同月のM別地震回数								
6月	551	120	8	1	1	681	130	1日：フィリピン付近（M6.2） 14日：平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震（M7.2） 平成20年（2008年）岩手・宮城内陸地震の余震活動 （M3.0～3.9：274回、M4.0～4.9：58回、 M5.0～5.9：3回）

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。

●付表 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 21 年 6 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった（5 月もなし）。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 54 回（5 月は 24 回）であった。

平成 19 年 10 月～平成 21 年 6 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

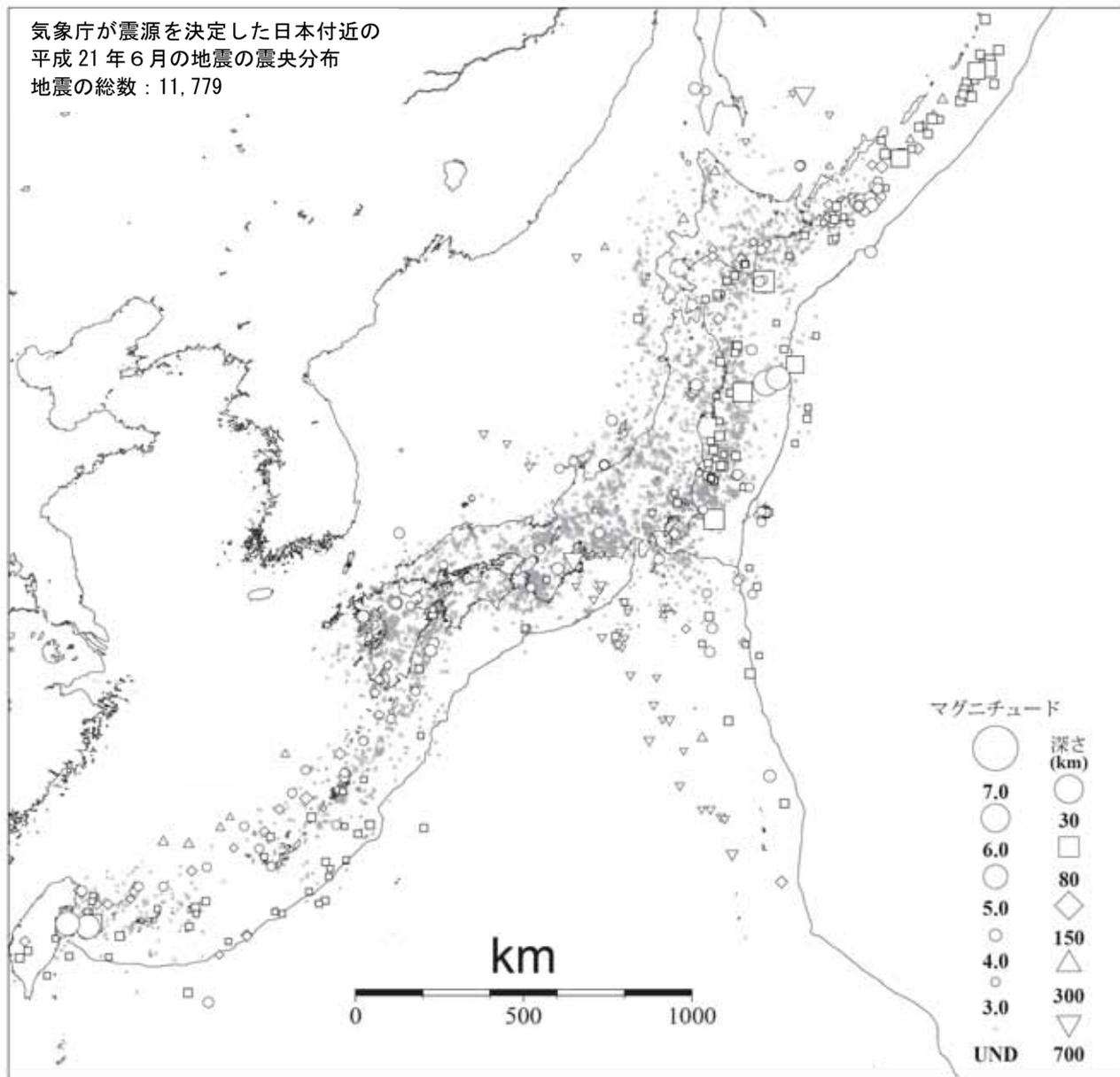
年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年合計
平成 19 年 (2007 年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成 20 年 (2008 年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成 21 年 (2009 年)	0(43)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)							0(228)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

気象庁は、平成 19 年 10 月より緊急地震速報の一般への提供を開始し、同年 12 月 1 日より、気象業務法の一部改正により、緊急地震速報を地震動の予報及び警報に位置付けて発表している。

なお、緊急地震速報では、気象庁が整備した地震計（全国約 200 箇所）と（独）防災科学技術研究所が整備した高感度地震観測網（Hi-net）の地震計（全国約 800 箇所）を利用している。

気象庁が震源を決定した日本付近の
平成 21 年 6 月の地震の震央分布
地震の総数 : 11,779



M3.0 以上の地震の震央を白抜きで示す。